

経済産業省令和4年度 フェムテック等サポートサービス実証事業 中間報告会資料



Presentation by PwC
2022/11/18

目次

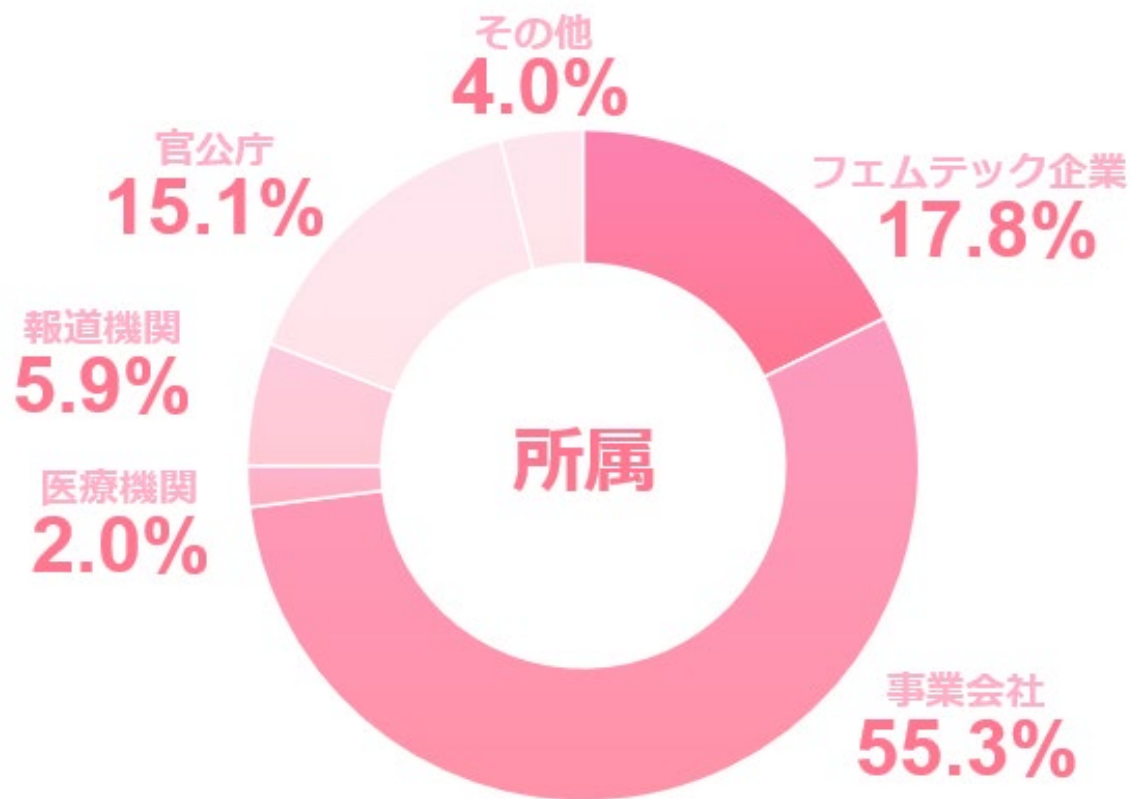
1. 参加者 デモグラフィック … P3
2. 実証事業一覧 … P5
3. 実証事業の紹介資料 … P12

1

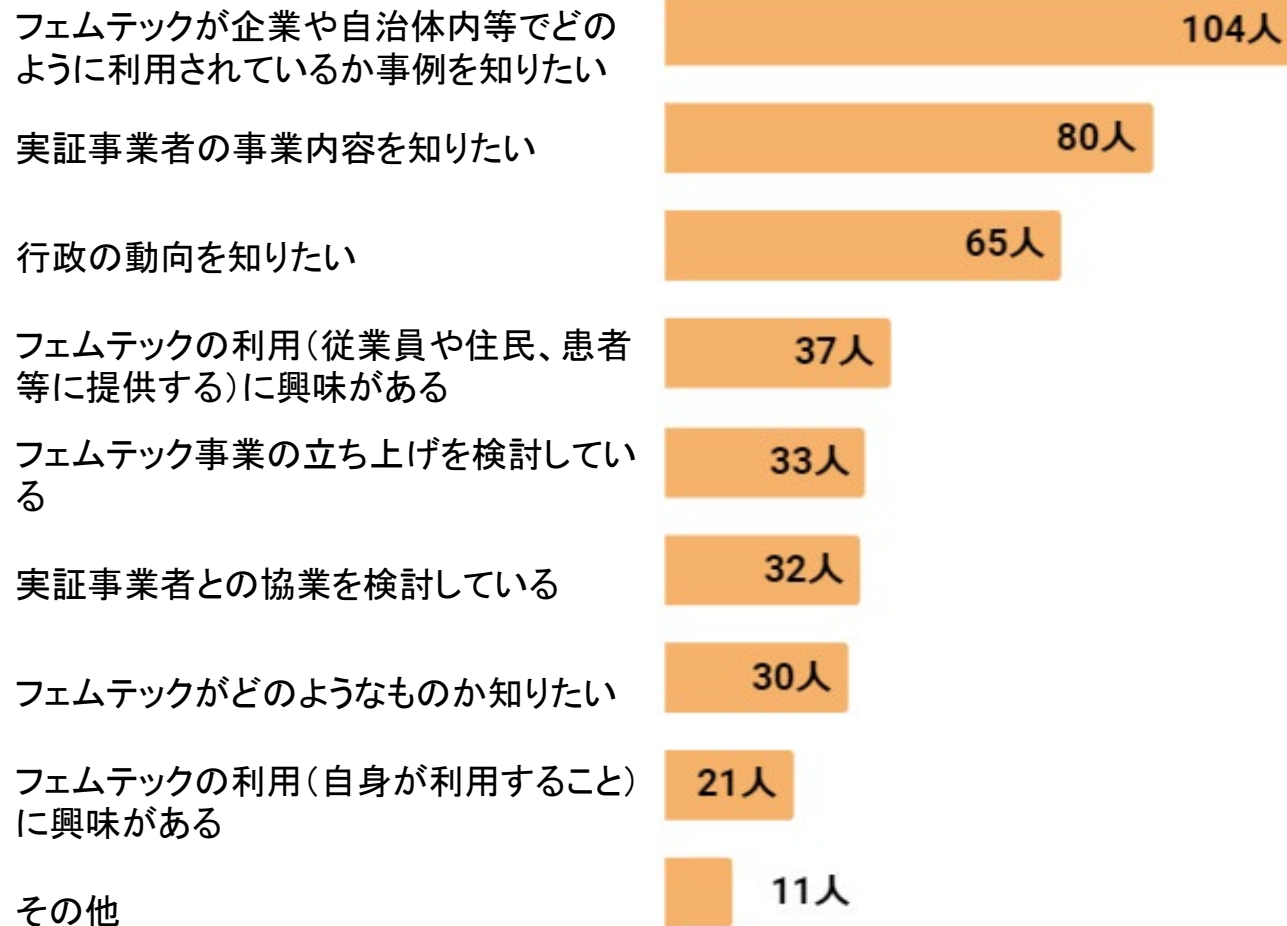
参加者デモグラフィック

参加者のペルソナ ※集計は11月18日10時時点

参加者の所属(n=152)



登録者の参加目的 ※複数回答可



2

実証事業一覧

経済産業省 令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 実証事業一覧

実証事業			事業テーマ							事業紹介 ページ
#	事業名	代表団体名	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
1	最短期間で最大の効果を上げる不妊治療プロトコルを提案するA I (人工知能)サービス	株式会社iCaret		●				●		P13~P22
2	セルフトレーニングをサポートする「ベリノス™」とトレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニング	アルプスアルパイン株式会社			●	●	●	●		P23~P33
3	妊活・不妊治療におけるパートナーシップ構築を目的としたコミュニケーション促進ソリューションの効果検証	vivola株式会社		●						P34~P45
4	ヘルスリテラシー向上(知識の獲得から行動改善まで)を通じた働く女性と組織の活性化をサポートする『トータルウェルネスプログラム』	株式会社SRACreative	●			●	●	●	●	P46~P65
5	働く更年期女性の睡眠を可視化したリトリートプログラム実証事業	沖縄セルラー電話株式会社				●				P66~P86
6	あらゆるトイレの個室にて生理用品を取得可能にするなど「生理ライフ」を快適にし、生理になる人のモビリティを向上	オモテテ株式会社	●	●			●	●	●	P87~P92
7	新入社員向け「女性特有の健康課題に関するeラーニングプログラム」の開発と検証	株式会社Kids Public	●	●			●	●		P93~P102
8	オンラインコミュニティを使った「女性特有の健康課題や働き方について語り合う」プラットフォームの構築・運用と情報発信事業	株式会社産業経済新聞社	●	●	●	●	●	●		P103~P114
9	就労妊婦等メンタルヘルス向上と離職防止のための、専門家「助産師」とAI(声解析)による継続的なサポート実証事業	株式会社じょさんしGLOBAL Inc.		●	●					P115~P126
10	助産師・保育士が24時間体制で産後の親子をサポートする産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートのニーズ検証と産後ケアの社会認知度向上の実証実験	株式会社水星		●	●					P127~P133
11	女性特有の出産育児のライフイベントや健康課題を乗り越え能力を最大限発揮できる新しい時代を実現する『TOTONOERU@(トノエル)』を活用したレジリエントな企業基盤構築支援事業ver.1』	株式会社天煌堂	●		●				●	P134~P154
12	未病状態のからだケア 素材～製品・サービス異業種連携でのワークショップを通じた行動変容プログラムの提供	東レ株式会社	●					●		P155~P160
13	データ収集プラットフォームを通じた企業のフェムテック導入促進事業	株式会社nanoni	●	●	●	●	●	●		P161~P188
14	不妊治療当事者のウェルビーイング向上のための心理ケア事業	株式会社ninpath		●						P189~P195
15	フェムテックを活用した企業・自治体の行動変容を促す「伴走型アクティブラーニング・プログラム」実証事業～gender learning innovation～	株式会社陽と人	●	●		●		●	●	P196~P207
16	アバターを活用した専門家による働く女性のウェルビーイング向上のためのサポート実証事業	株式会社BRING	●	●	●	●		●		P208~P222
17	身体症状と音声の分析を用いたヘルスケアとキャリア支援を繋ぐ仕組みづくり	一般社団法人ヘルスサポーターズイノベーション	●	●	●	●	●	●	●	P223~P237
18	運動後の爽快感が味わえる「次世代EMS」を活用した、働く女性のメンタルヘルス・パフォーマンス向上事業	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス	●			●			●	P238~P251
19	女性活躍を推進するための生理用品設備設置とコミュニケーションをデザインする教育事業	わたしの暮らし研究所株式会社	●					●	●	P252~P271

経済産業省 令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金
実証事業一覧 01~04

※ 実施体制は7/1時点で確定している団体を記載
※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本事業全体の推進に当たる団体を指す
※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本事業を支援する団体を指す

01 最短期間で最大の効果を上げる不妊治療プロトコルを提案するA I (人工知能)サービス							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●				●	
実施体制	代表団体	株式会社iCaret					
	参加団体	—					
	協力団体	・システムロード株式会社		・木場公園クリニック			
実証先	・当社内 ・ご協力医療機関 ・不妊治療に取り組んでいるカップル						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 生殖医療関連医師と医療機関 電子カルテ事業者 不妊治療に取り組むカップル 妊娠出産を検討している女性 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 大規模不妊治療データのデータ解析とA Iモデルの設計と構築 患者データを用いた不妊治療AIモデルの実証と評価 女性のライフステージにおける不妊治療AIモデル活用のインパクトの試算 			

02 セルフトレーニングをサポートする「ペリノス™」とトレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニング							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
			●	●	●	●	
実施体制	代表団体	アルプスアルパイン株式会社					
	参加団体	<ul style="list-style-type: none"> 学校法人 甲南女子大学 学校法人 行岡保健衛生学園 		<ul style="list-style-type: none"> In MuSE.合同会社 江川産婦人科 			
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社アルプス物流 地方自治体 		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社アルプスビジネスクリエーション(介護事業) 			
実証先	<ul style="list-style-type: none"> アルプスアルパイン株式会社(東京都) 株式会社アルプスビジネスクリエーション(東京都) 		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社アルプス物流(神奈川県) 全国の企業・自治体 				
対象者	産後、更年期による尿失禁症状に悩む女性従業員		実施概要	セルフトレーニングをサポートするサービス「ペリノス™」とトレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニングにおける運動の継続性を支援する効果的な施策等の実証			

03 妊活・不妊治療におけるパートナーシップ構築を目的としたコミュニケーション促進ソリューションの効果検証							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●					
実施体制	代表団体	vivola株式会社					
	参加団体	帝人株式会社					
	協力団体	-					
実証先	全国の妊活に取り組んでいる、不妊治療をしている個人						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 妊活に取り組んでいる、不妊治療をしている夫婦およびカップル 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 妊活、不妊治療における情報提供、およびカップル間の価値観の相違を可視化し、行動変容を促進するアプリの作成 上記のインプットとして、行動の阻害要因に関する調査を実施 			

04 ヘルスリテラシー向上(知識の獲得から行動改善まで)を通じた働く女性と組織の活性化をサポートする『トータルウェルネスプログラム』							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●			●	●	●	●
実施体制	代表団体	株式会社SRACreative					
	参加団体	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社MYPLATE 株式会社SEVENRICH Accounting 			<ul style="list-style-type: none"> 株式会社nemuli CLINIC TEN SHIBUYA 		
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社TesTee 株式会社THE COACH 			<ul style="list-style-type: none"> 株式会社BonBon 株式会社Assatte 		
実証先	全国の企業・組織						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 女性社員・男性社員・管理職 PMS・PMDD/生理トラブル/更年期障害に課題を抱える就業女性 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 医師共同制作のヘルスリテラシーテストの実施 個人(女性社員、男性社員・管理職)/組織のヘルスリテラシー向上に向けた課題の抽出 上記課題の改善に向けたアクションの提案(対個人/対組織)、サービス導入のサポート実施 			

経済産業省 令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金
実証事業一覧 05~08

※ 実施体制は7/1時点で確定している団体を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本事業を支援する団体を指す

05 働く更年期女性の睡眠を可視化したリトリートプログラム実証事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
				●			
実施体制	代表団体	沖縄セルラー電話株式会社					
	参加団体	●株式会社ACCELStars		●HerLifeLab株式会社			
	協力団体	Naoko女性クリニック					
実証先	●株式会社沖縄銀行(沖縄県)		●株式会社琉球銀行(沖縄県)		●沖縄セルラー電話株式会社(沖縄県)		
対象者	不眠に悩む更年期の女性従業員		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> 不眠症状者を睡眠データが計測できるウェアラブルデバイスを活用して特定し、オンラインとオフラインの併用によるハイブリッド型リトリートプログラムにて解決 症状に応じて婦人科によるオンライン相談が可能 				

06 あらゆるトイレの個室にて生理用品を取得可能にするなど「生理ライフ」を快適にし、生理になる人のモビリティを向上							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●			●	●	●
実施体制	代表団体	オモテテ株式会社					
	参加団体	-					
	協力団体	-					
実証先	全国						
対象者	オフィス利用者		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> トイレ内に設置するハードウェアと在庫等を管理するアプリケーションを連動した「unfre. (アプリ)」サービスの開発 導入先企業へ、設置前後でアンケート・インタビュー調査を実施 				

07 新入社員向け「女性特有の健康課題に関するeラーニングプログラム」の開発と検証							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●			●	●	
実施体制	代表団体	株式会社Kids Public					
	参加団体	-					
	協力団体	-					
実証先	全国の新入・若手社員を抱える企業						
対象者	新卒入社1~3年目(もしくは社会人歴3年目まで)の男女社員		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> 女性の健康課題に関するeラーニングツールの開発 対象者により上記のeラーニングを期間内に計2回実施 オンライン相談(産婦人科オンライン、小児科オンライン)を希望する参加者へ提供 				

08 オンラインコミュニティを使った「女性特有の健康課題や働き方について語り合う」プラットフォームの構築・運用と情報発信事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●	●	●	
実施体制	代表団体	株式会社産業経済新聞社					
	参加団体	さんぎょうい株式会社					
	協力団体	—					
実証先	全国の個人						
対象者	女性特有の健康課題や働き方の問題に関して興味関心のある女性・男性		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> オンラインコミュニティ「フェムトーク」の構築と運用 「フェムトーク」運用により得られた知見等についてメトロポリターナで情報発信、読者アンケート企画の実施 同上の知見等について、産経新聞紙面で情報発信 同上の知見等についてのセミナー開催 				

経済産業省 令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金
実証事業一覧 09～12

※ 実施体制は7/1時点で確定している団体を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本事業を支援する団体を指す

09 就労妊婦等メンタルヘルス向上と離職防止のための、 専門家「助産師」とAI(声解析)による継続的なサポート実証事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●	●				
実施体制	代表団体	株式会社じよさんしGLOBAL Inc.					
	参加団体						
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> リスク計測テクノロジーズ株式会社 豊島株式会社 株式会社メンタルサポート研究所 倉成 央博士(臨床心理士) 		<ul style="list-style-type: none"> 江村 和世 医師(精神科医) やまがたてるえ (助産師・チャイルドファミリーコンサルタント) 			
実証先	全国の就労妊婦等を抱える企業、他民間企業/自治体						
対象者	従業員(就労妊婦含む)およびそのパートナー、直属の上司		実施概要 企業向けに4つの事業(①就労妊婦等向けオンライン相談、②就労妊婦等とパートナーに向けたセミナー、③就労妊婦等の直属上司の支援、④結果のフィードバックセミナー)を提供				

10 助産師・保育士が24時間体制で産後の親子をサポートする産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートのニーズ検証と産後ケアの社会認知度向上の実証実験							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●	●				
実施体制	代表団体	株式会社水星					
	参加団体	—					
	協力団体	—					
実証先	HOTEL CAFUNE(神奈川県川崎市)						
対象者	産後直後～12カ月程度の首都圏近郊在住の女性とそのパートナー 女性とその家族		実施概要 ・宿泊型産後ケアサービスの提供とその後の継続的なサポートの構築 ・上記による女性のQOL向上への有用性検証 ・産後ケアの社会認知度向上に向けた調査と情報発信				

11 女性特有の出産育児のライフイベントや健康課題を乗り越え能力を最大限発揮できる新しい時代を実現する「『TOTONOERU@（トノエル）』を活用したレジリエントな企業基盤構築支援事業ver.1」								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●		●				●	
実施体制	代表団体	株式会社天煌堂						
	参加団体	株式会社actor						
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> CICJapan合同会社 VentureCafeTokyo 		<ul style="list-style-type: none"> 日本生命保険相互会社 				
実証先	<ul style="list-style-type: none"> CICJapan合同会社(東京都) VentureCafeTokyo(東京都) 		<ul style="list-style-type: none"> 日本生命保険相互会社(成田支社) 					
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 女性従業員 男女管理職 		実施概要 ・月経における課題、出産・育児におけるパフォーマンスの課題の解決に資する起電する衣類「3e-EARTHING衣類」の提供 ・職場のコミュニケーション課題の解決に資する脳医科学診断とコーチングプログラム「ノウセツ」の提供					

12 未病状態のからだケア 素材～製品・サービス異業種連携でのワークショップを通じた行動変容プログラムの提供								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●					●		
実施体制	代表団体	東レ株式会社						
	参加団体	<ul style="list-style-type: none"> あすか製薬株式会社 株式会社ネクイノ 		<ul style="list-style-type: none"> プレミア・ウェルネスサイエンス株式会社 株式会社 東レシステムセンター 				
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人メディカル・フェムテック・コンソーシアム 滋賀医科大学 北原照代特任准教授 昭和大学薬学部 佐藤均教授 						
実証先	<ul style="list-style-type: none"> 東レ株式会社(東京地) あすか製薬株式会社(東京都) 		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ネクイノ(大阪府) プレミア・ウェルネスサイエンス株式会社(東京都) 					
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 従業員(男女問わず) 月経関連の不調を有する20～30代の女性従業員 		実施概要 ・東レ株式会社と参加企業へ被験者抽出のためのアンケート実施 ・被験者へワークショップ(①ヘルスリテラシー向上セミナーと専門家との座談会、②製品・サービスの体験)を提供 ・デジタル・ウェルネスプラットフォーム(DWP)の社会実装					

経済産業省 令和4年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金
実証事業一覧 13～16

※ 実施体制は7/1時点で確定している団体を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本事業を支援する団体を指す

13 データ収集プラットフォームを通じた企業のフェムテック導入促進事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●	●	●	
実施体制	代表団体	株式会社nanoni					
	参加団体	-					
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社カラダメディカ 株式会社グッドアンドカンパニー 株式会社グレイスグループ 株式会社ジネティックラボ 		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ジョコネ。 株式会社TENGAヘルスケア 株式会社TRULY 株式会社Vitalogue Health 		<ul style="list-style-type: none"> vivola株式会社 株式会社ファミメディコ Mederi株式会社 株式会社uni'que 	
実証先	全国の企業						
対象者	国内の企業1000社		実施概要	企業のフェムテック検討状況についてヒアリングを実施し、経営アジェンダとの関連性を可視化			

14 不妊治療当事者のウェルビーイング向上のための心理ケア事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●					
実施体制	代表団体	株式会社ninpath					
	参加団体	-					
	協力団体	-					
実証先	全国の自治体						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療中～治療前後の住民を抱える自治体 仕事と治療の両立に悩む女性とそのパートナー 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 自治体を通じて、不妊治療中～治療前後の住民に対して、下記のスマートフォンアプリを用いて心理ケア支援サービスを提供 スマートフォンアプリ「ninpathケア」の機能(メンタル状態のモニタリング・セルフケア、医師等へのうつリスク通知、オンラインカウンセリング)を追加 			

15 フェムテックを活用した企業・自治体の行動変容を促す「伴走型アクティブラーニング・プログラム」実証事業～gender learning innovation～							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●		●		●	●
実施体制	代表団体	株式会社陽と人					
	参加団体	株式会社ライフサカス					
	協力団体	-					
実証先	全国の自治体、大企業、中小企業 等						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 経営マネジメント層 人事部門 新規事業開発部門 女性従業員 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> アンケートとヒアリングを行い、プログラム構築の前提となるフェムテックに関する各社のニーズを整理 上記結果を踏まえ、アクティブラーニングの手法を取り入れた新しい学び方のプログラムを設計・構築、実証 			

16 アバターを活用した専門家による働く女性のウェルビーイング向上のためのサポート実証事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●		●	
実施体制	代表団体	株式会社BRING					
	参加団体	一般社団法人 女性の健康推進協会					
	協力団体	-					
実証先	全国の働く女性および男性						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 20代～50代の働く女性 妊娠・出産・子育ての中の働く女性とパートナー デリケートな課題を抱える働く女性とパートナー 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 健康に関する情報発信を通じたオンラインコミュニティ形成 助産師によるアバター相談カウンセリングを提供し、相談時等のアバター活用の優位性を検証 			

経済産業省 令和4年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金
実証事業一覧 17~19

※ 実施体制は7/1時点で確定している団体を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本事業を支援する団体を指す

17 身体症状と音声の分析を用いたヘルスケアとキャリア支援を繋ぐ仕組みづくり							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●	●	●	●
実施体制	代表団体	一般社団法人ヘルスサポーターズイノベーション					
	参加団体	-					
	協力団体	日本生命 佐賀支社		明治安田生命 佐賀支社		佐賀市役所	
実証先	<ul style="list-style-type: none"> ・日本生命(佐賀県) ・明治安田生命(佐賀県) ・佐賀市役所(佐賀県) 						
対象者	女性従業員	実施概要 <ul style="list-style-type: none"> ・音声計測によるその日の心の状態見える化するツール実装 ・健康・妊娠や働き方に関するランチtimeウェビナー開催 ・ヨガやマインドフルネス、心身の不調をケアするオンラインレッスン開催 ・健康・子育てやキャリアに関する専門家へのチャット・オンライン相談提供 					

18 運動後の爽快感が味わえる「次世代EMS」を活用した、働く女性のメンタルヘルス・パフォーマンス向上事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●			●			●
実施体制	代表団体	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス					
	参加団体	株式会社おせっかい倶楽部、ポーラ化成工業株式会社					
	協力団体	上馬整形外科クリニック					
実証先	都心のメンタルヘルスに課題を有する働く女性						
対象者	メンタルヘルス(PMSや更年期の課題・症状含む)に課題感を抱いている働く女性	実施概要 <ul style="list-style-type: none"> ・大きな筋肉を効率的に刺激する次世代EMSが働く女性のメンタルヘルス課題を解消し、パフォーマンス・well-beingに貢献することを臨床試験により科学的に実証 ・次世代EMSを一定期間使用した試験参加者へのデプスインタビュー 					

19 女性活躍を推進するための生理用品設備設置とコミュニケーションをデザインする教育事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●					●	●
実施体制	代表団体	わたしの暮らし研究所株式会社					
	参加団体	-					
	協力団体	ふしぎデザイン株式会社		株式会社丸和		株式会社山崎製作所	
実証先	全国の企業、地方自治体、教育機関						
対象者	従業員(男女問わず) 管理職 生理用品設備導入企業 小学生、中学生、高校生、大学生	実施概要 <ul style="list-style-type: none"> ・共創するための女性活躍推進セミナー実施 ・トイレへの生理用品設備設置支援 ・導入企業間のコミュニティ運営、情報発信 ・青少年教育で活用できる教育ツール作成 					

3

実証事業の紹介資料

01.

最短期間で最大の効果を上げる不妊治療プロトコルを
提案するA I (人工知能)サービス
(代表団体：株式会社iCaret)



経産省 令和4年度
「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」

中間報告会

2022年11月18日

株式会社 iCaret





Artificial Intelligence
×
Reproductive Medicine

最短期間で最大の効果を上げる不妊治療プロトコルを提案する
AI(人工知能)サービスの開発



川原 泰
(産婦人科医師 研究者)

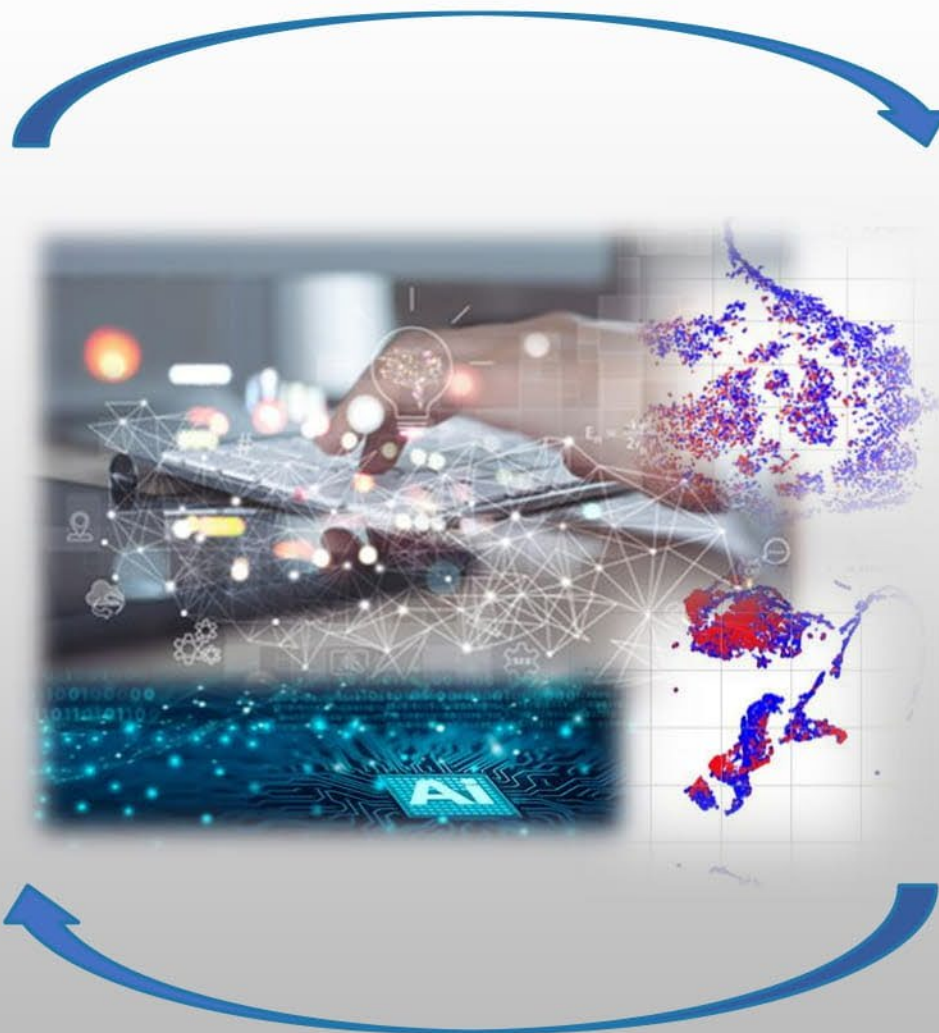


鈴木 豊太郎
(コンピューターサイエンティスト)

事業概要

生殖医療を行っている医療機関および電子カルテ事業者のご協力のもと、過去の膨大な治療データを匿名化・暗号化した後に各種機械学習手法を適用し、個別化・最適化された治療プロトコルを提案するAIの開発を行っています。

不妊治療クリニック



事業目標

人工知能(AI)により最適な治療法を割り出す

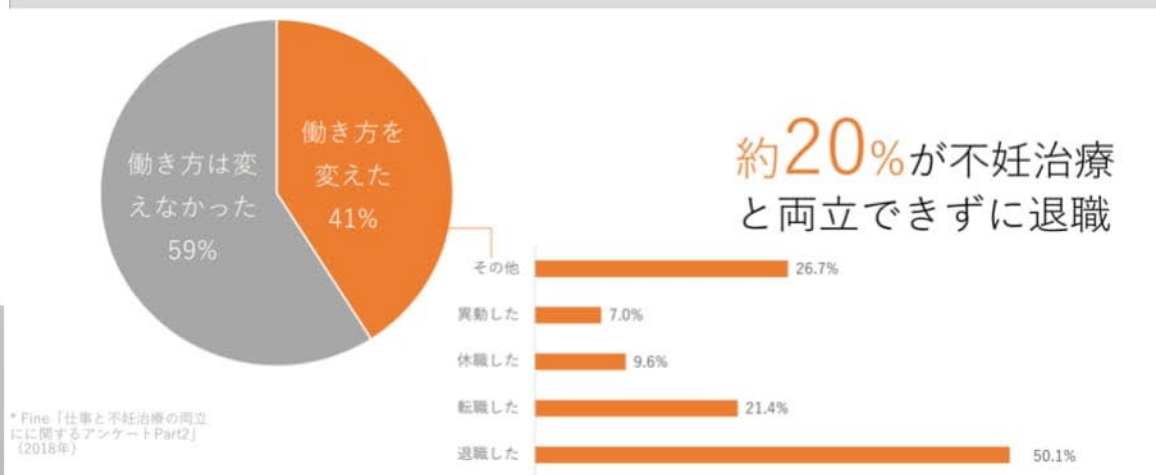
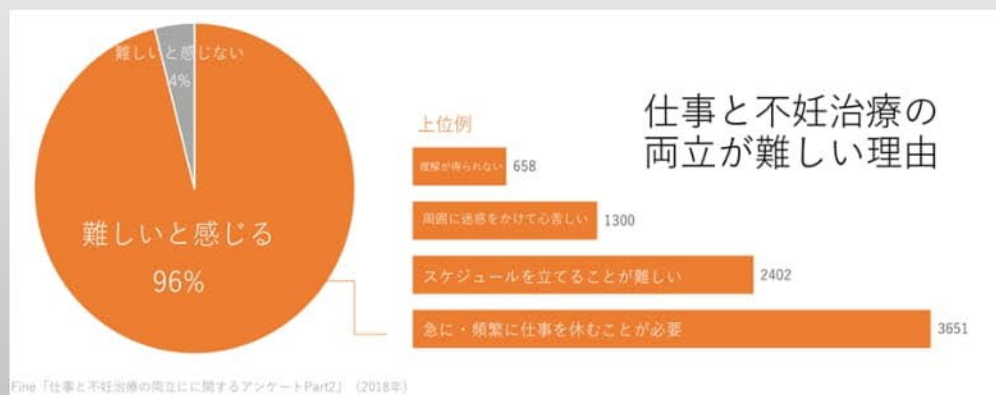
不妊治療の全体像を見えるようにすることで患者カップルのストレスを低減し仕事との両立をサポートする。



最短時間で最大の治療効果をもよおさせる治療プロトコルの提案により治療期間を短縮する。

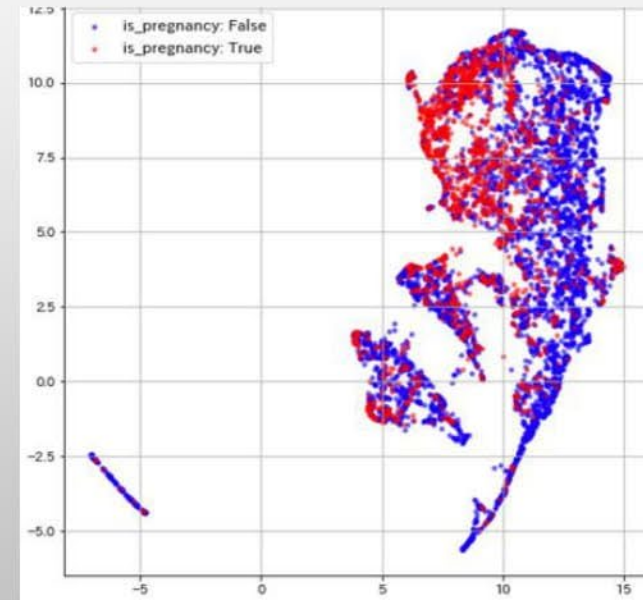
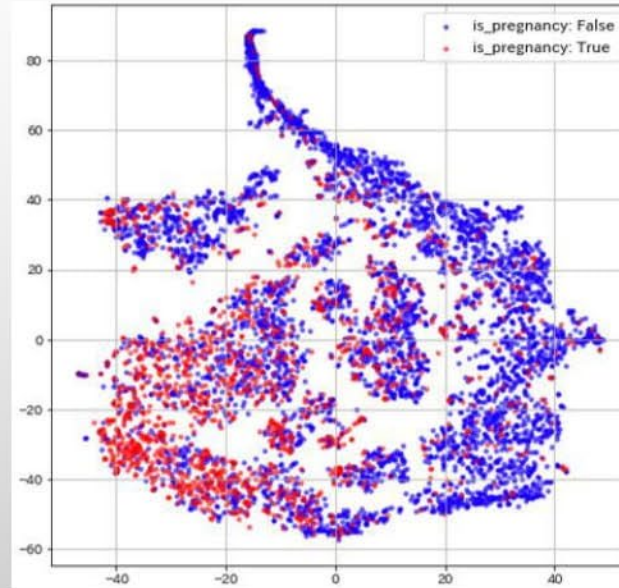
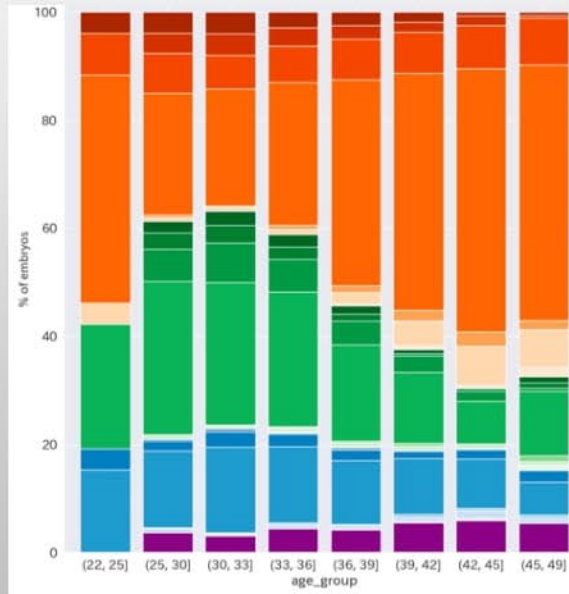
事業設計の背景：日本の不妊治療の現状

- ・新生児の**14.3人に1人**は体外受精児（2019年 厚生労働省）*
- ・体外受精児は**年6万598人**誕生（2019年 日本産婦人科学会）*
- ・体外受精の**総治療周期数は年45万8101件**（2019年 日本産婦人科学会）*



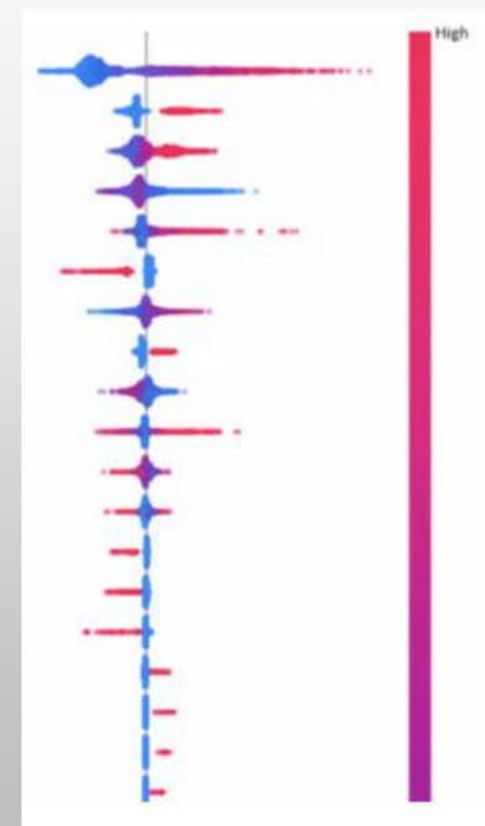
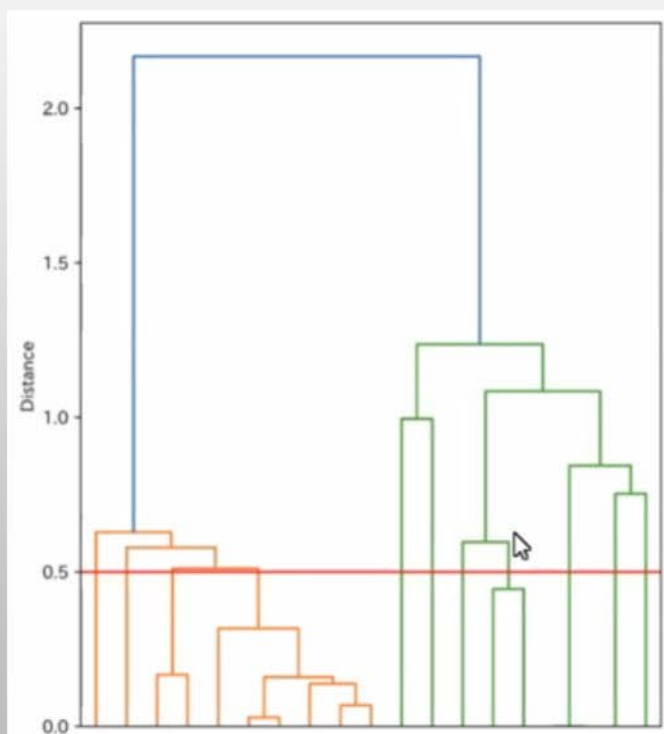
- *厚生労働省 不妊治療と仕事の両立サポートハンドブック
- †日本産婦人科学会 ARTデータブック2019年度版
- NPO 法人 Fine(ファイン) 「不妊治療の保険適用に際しての要望事項」（2021年）

大規模不妊治療データの解析およびAIモデルの設計



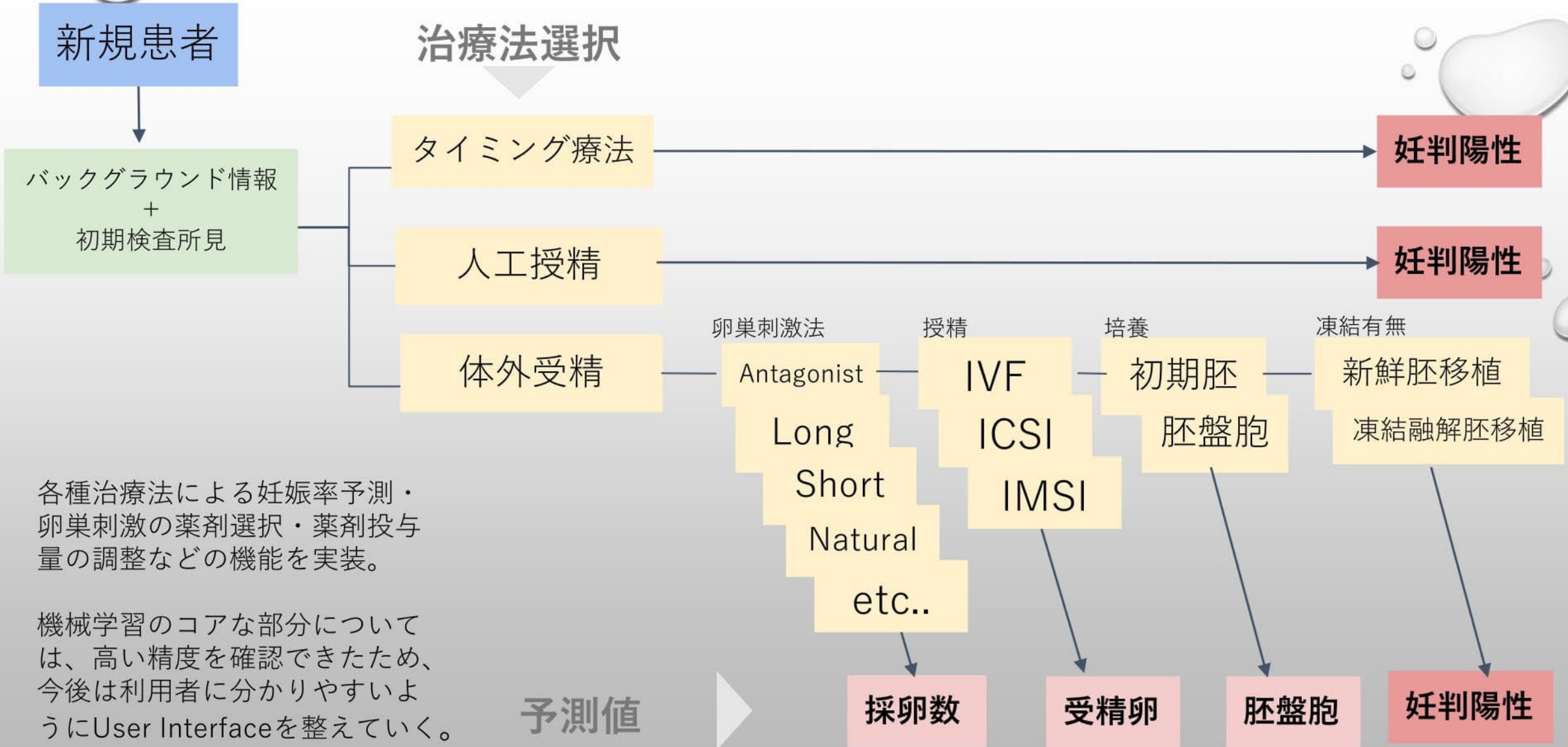
電子カルテのデータを匿名化・暗号化した上で抽出し、統計的解析と相関分析、および機械学習に向けた特徴量の設計を行った。

大規模不妊治療データを用いたAIモデルの構築と実証



患者固有の様々な情報が、各種治療の効果にどのような影響を与えるかを分析し、様々な手法を用いたAIモデルの構築と最適化チューニングを行った。

不妊治療全体の概要図



各種治療法による妊娠率予測・
卵巣刺激の薬剤選択・薬剤投与
量の調整などの機能を実装。

機械学習のコアな部分について
は、高い精度を確認できたため、
今後は利用者に分かりやすいよ
うにUser Interfaceを整えていく。

予測値

採卵数

受精卵

胚盤胞

妊判陽性

今後の目標

1. 電子カルテ事業者との連携を深め、本事業で開発したAIをより使いやすいシステムに整えて行く。
2. 生殖医療の高度な経験を持つ医師に、AIモデルの評価とさらなる要望を伺い、システムの精度を高め、機能の拡充を図っていく。
3. モニターを募集し、働く女性のライフステージにおけるインパクトの試算を進める。
4. 医療機器としての認証を目指し、手続を進めて行く。

実施事項		2022年					2023年			
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①大規模不妊治療データのデータ解析及びAIモデルの設計	1.1 データ変換									
	1.2 統計的解析									
	1.3 相関分析									
	1.4 機械学習に向けた特徴量設計									
②大規模不妊治療データを用いたAIモデルの構築と実証	2.1 様々な手法を用いたAIモデル構築									
	2.2 モデルの最適化チューニング									
③不妊治療AIモデルを用いた新たな患者データを用いた実証及び評価	3.1 新データのデータ変換、統計的解析									
	3.2 2で構築したAIモデルを用いた推論									
	3.3 電子カルテ事業者及び医療機関を交えた妥当性評価									
④女性のライフステージにおけるインパクトの試算	4.1 働く女性へのインパクトの評価方法の検討と確立									



02.

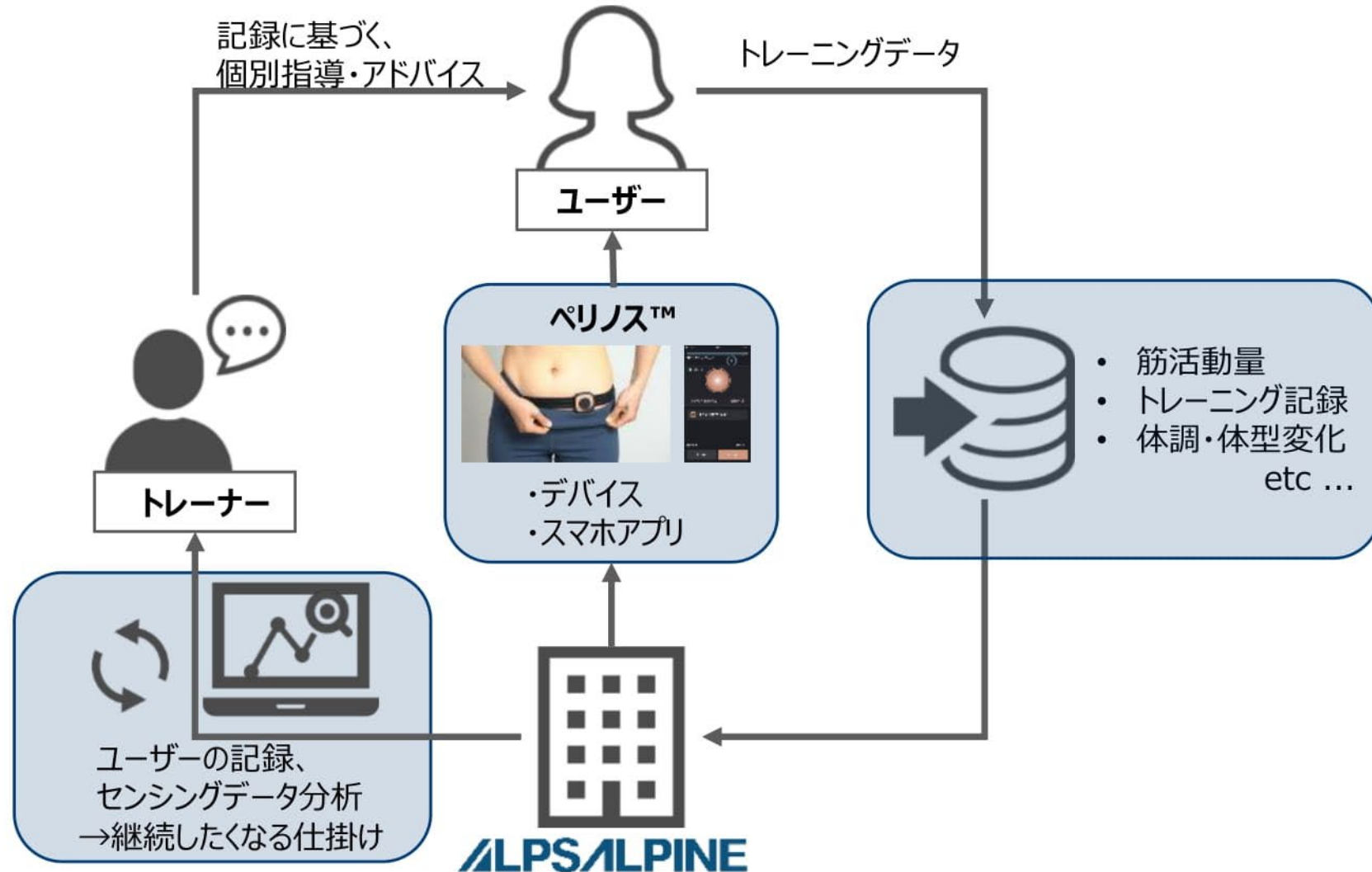
セルフトレーニングをサポートする「ペリノス™」と
トレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニング
(代表団体：アルプスアルパイン株式会社)

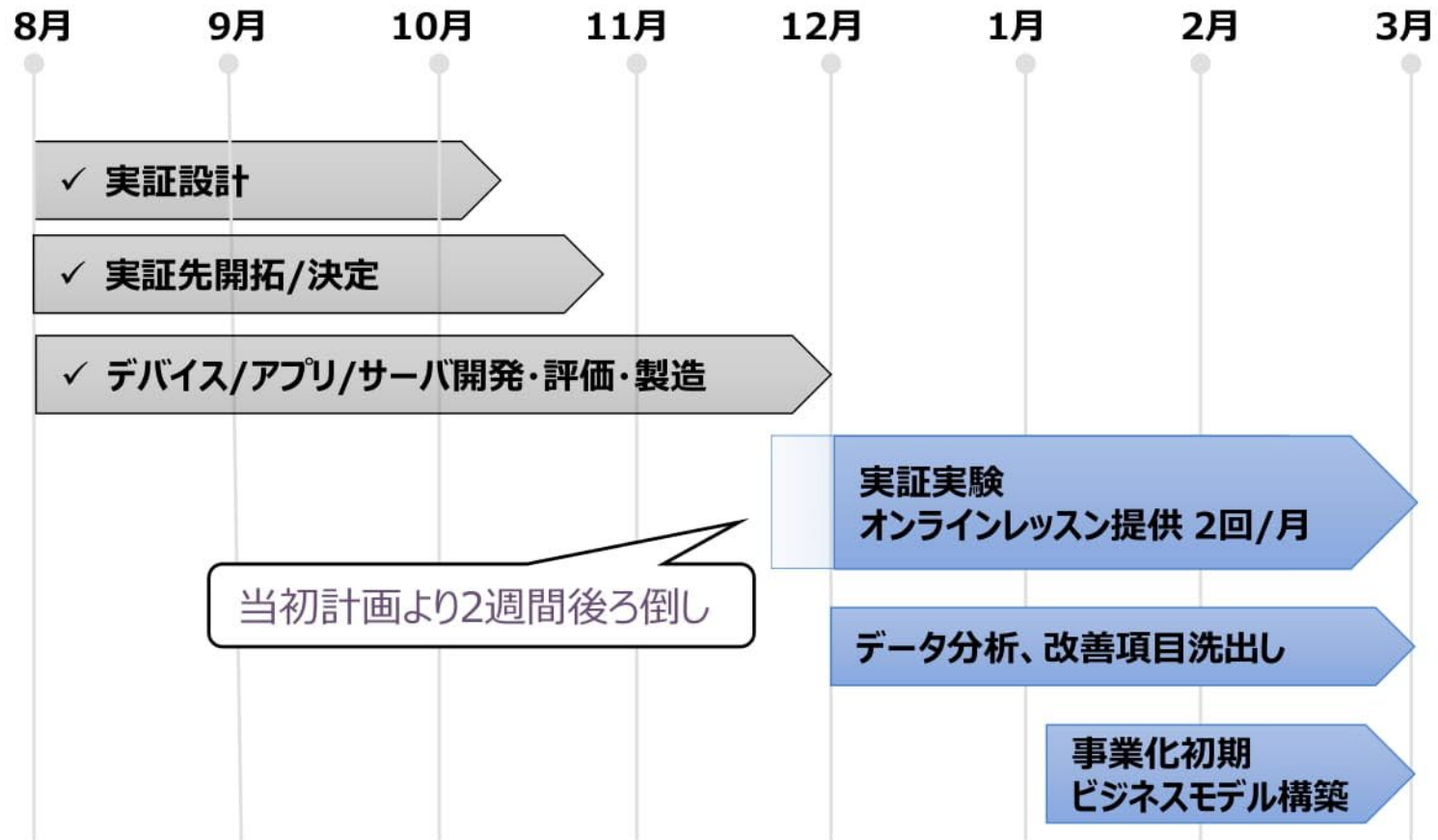
セルフトレーニングをサポートする
「ペリノス™」とトレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニング

アルプスアルパイン（株）
営業企画室
松野、玉澤

ALPSALPINE
Perfecting the Art of Electronics

センシングデバイスとスマホアプリを使い 骨盤底筋トレーニングを最適頻度で継続させ、効果を最大化するサービス





事業計画に基づき実施したこと

〈開発〉

- ✓ 筋電センサデバイス
- ✓ スマホアプリ
- ✓ サーバー開発



〈実証設計〉

- ✓ 全7回のプログラム作成
- ✓ 運営に必要な契約検討

参加者公開用のレッスнтаイトル (仮) *

1 回目*

「姿勢と呼吸を意識した骨盤底筋の運動」*

2 回目*

「呼吸を深めるための上半身のストレッチ」*

3 回目*

「骨盤底筋の動かし方を深める」*

4 回目*

「様々な姿勢での骨盤底筋トレーニング 四つ這い編」*

5 回目*

「四つ這いのトレーニングと骨盤底筋トレーニング」*

6 回目*

「様々な姿勢での骨盤底筋トレーニング 立位編」*

7 回目*

「いろいろな動作と骨盤底筋トレーニング」*

〈実証先開拓〉

- ✓ モニター募集斡旋協力依頼
- ✓ 募集用WEBサイト開設



実施したこと

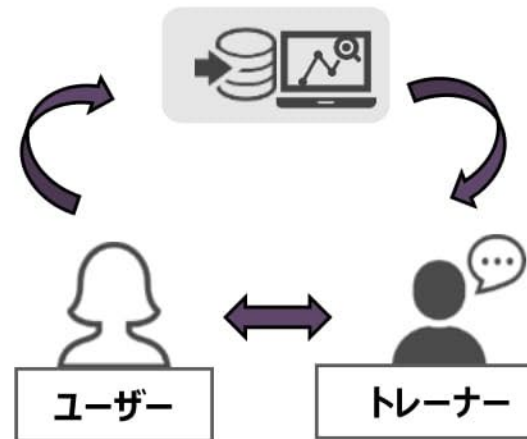
- ✓ 筋電センサデバイス
 - 前回の実証実験の結果を踏まえて、ベルト装着部を改善し密着性向上



- ✓ スマホアプリ
 - つまづきポイントを都度確認し、トレーナーレッスンで補完するサイクル設計
 - 「やったこと」が認められることで継続の自信につなげる工夫



- ✓ サーバー開発
 - ユーザ/トレーナーにデータをフィードバックする価値を検証する
 - デモ環境構築



わかってきたこと・課題

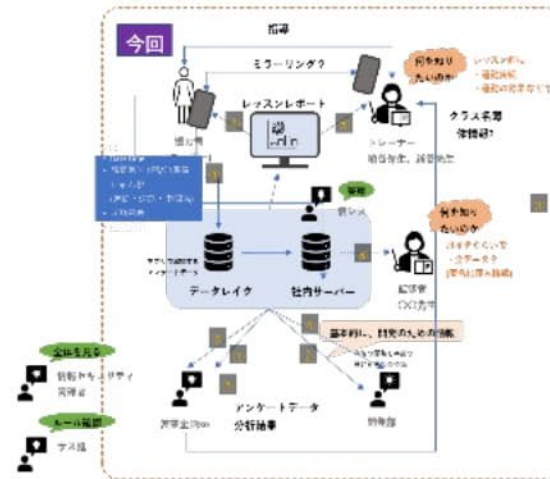
- 継続モチベーションの仕掛けどころの難しさ
- センサ+スマホアプリ+トレーナーレッスンが補完し合う事で、トレーニングの質を高められる仮説



トレーナーヒアリング・被験者アンケートで、検証

実施したこと

- ✓ 全7回のプログラム作成
 - 最終回に苦手ポーズで力が入られるゴールを目指したプログラム作成
 - 指導時に必要な機能
- ✓ 運営に必要な契約検討
 - 被験者情報提供に関する同意書、トレーナーとの契約書作成
 - データフローに従ったセキュリティ環境構築



わかってきたこと・課題

- トレーナーのニーズ、ペリノス™の役割と開発要件
- 個人情報の取り扱いとセキュリティ対策

➡ 事業設計へ反映

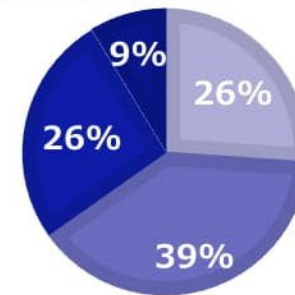
実施したこと

- ✓ モニター募集斡旋協力依頼
 - 協力いただいた企業/大学：21社
- ✓ 募集用WEBサイト開設
 - 被験者が直接コンタクトできる環境設定
 - 応募者結果
人数：69名、企業数：41社



骨盤底筋トレーニングの関心度合い

- 初めて聞いた
- 以前より知っていたが、トレーニング経験はない
- 過去にトレーニングをしたことがあるが、続けられなかった
- 今も継続している



わかってきたこと・課題

- 「フェムテック」「尿失禁」など、言葉の浸透率と抵抗感
- 女性個人の、関心度の高さ

➡ 企業ヒアリング・被験者アンケートで、課題深掘り

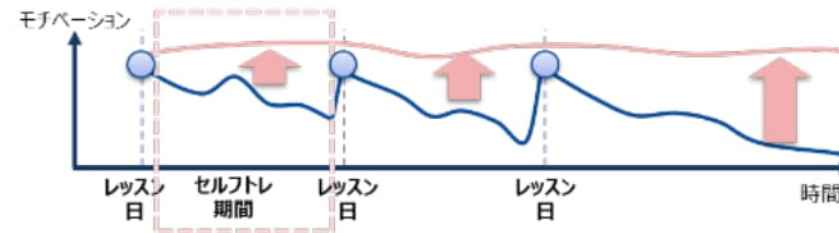
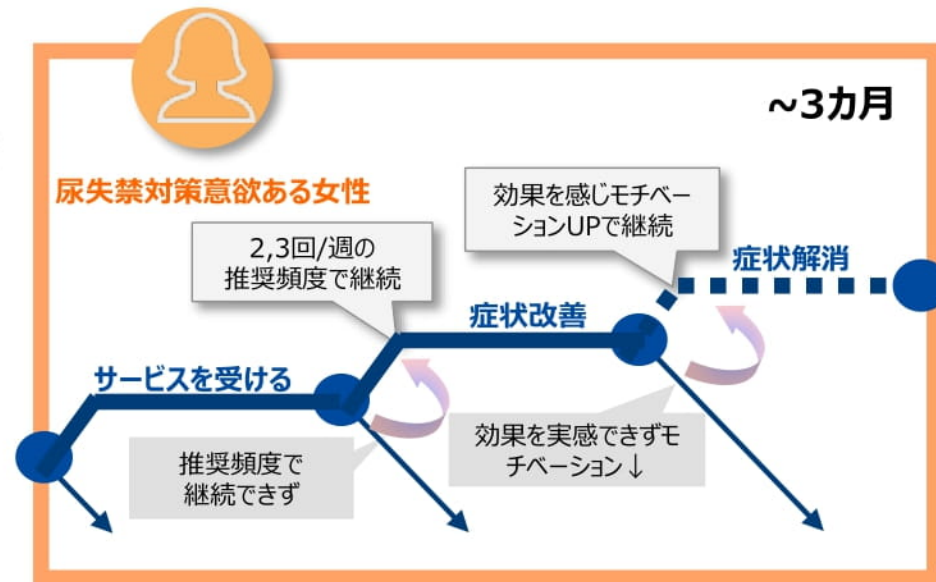
目的

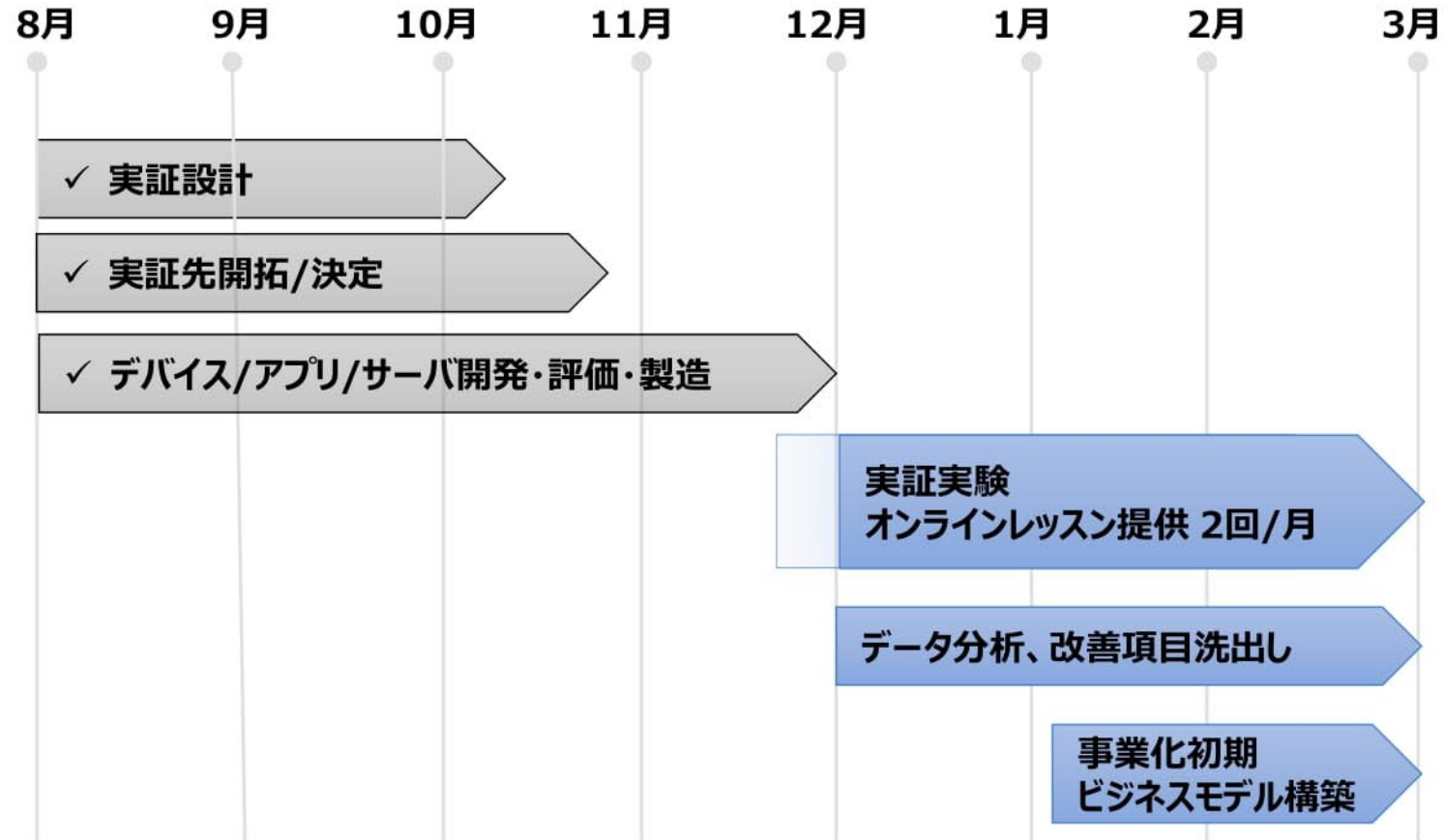
トレーニングを最適頻度かつ一定期間継続した利用者(A)が、非利用者(B)に対し、症状が改善することを確認する

人数 60名

方法

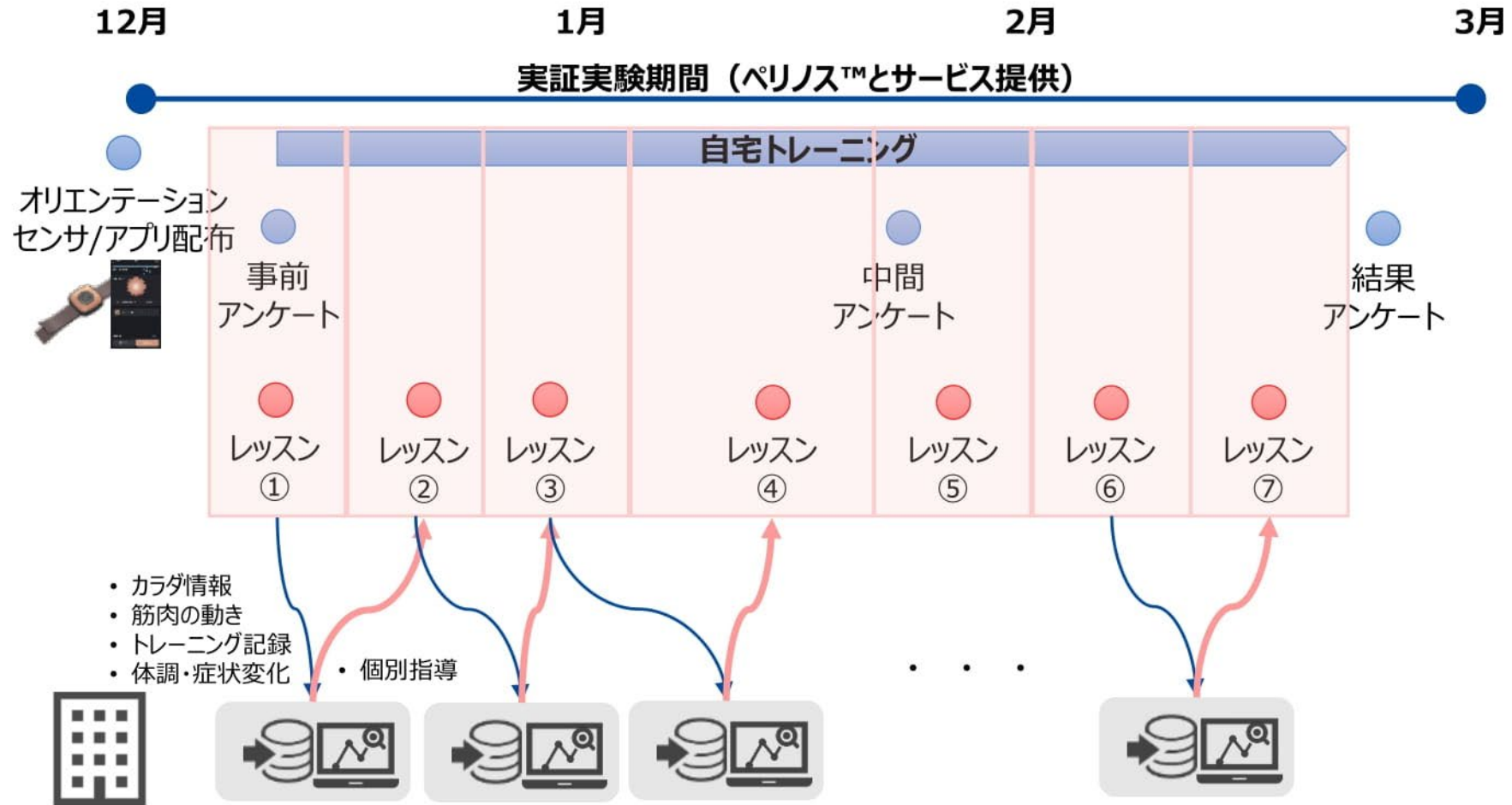
	A	B
トレーナー指導(2回/月)	○	○
センシングデバイス	○	×
運動記録	○	○
トレーナー個別指導	○	×





12月1日～
オリエンテーション実施し、実証実験・レクソンプログラム開始

今後実施すること
被験者へ提供するサービスの計画



分析内容

トレーニングデータ：継続的に推奨頻度でトレーニング実施有無

アンケート：個人の変化点分析とA/Bグループの改善度合いの差異

03.

妊活・不妊治療におけるパートナーシップ構築を目的とした
コミュニケーション促進ソリューションの効果検証
(代表団体：vivola株式会社)

令和4年度 経済産業省
「フェムテック等サポートサービス実証事業補助金」

妊活・不妊治療におけるパートナーシップ構築を目的とした コミュニケーション促進ソリューションの効果検証



vivola **TEIJIN**

中間報告資料

2022年11月18日

Agenda

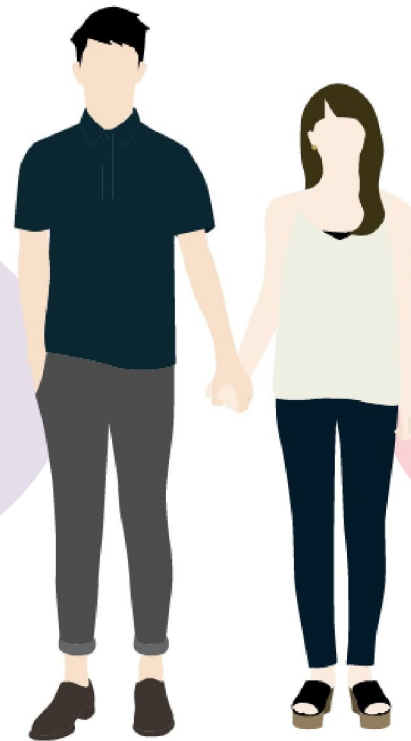
- | 当初の事業計画
- | 事業計画に基づき実施したこと
- | 事業を実施して分かってきたことや課題
- | 今後実施すること

当初の事業計画

| 妊活・不妊治療中の男女におけるパートナーシップ構築のためのコミュニケーション促進ソリューションを検証

vivola

不妊治療中の
夫婦・カップル



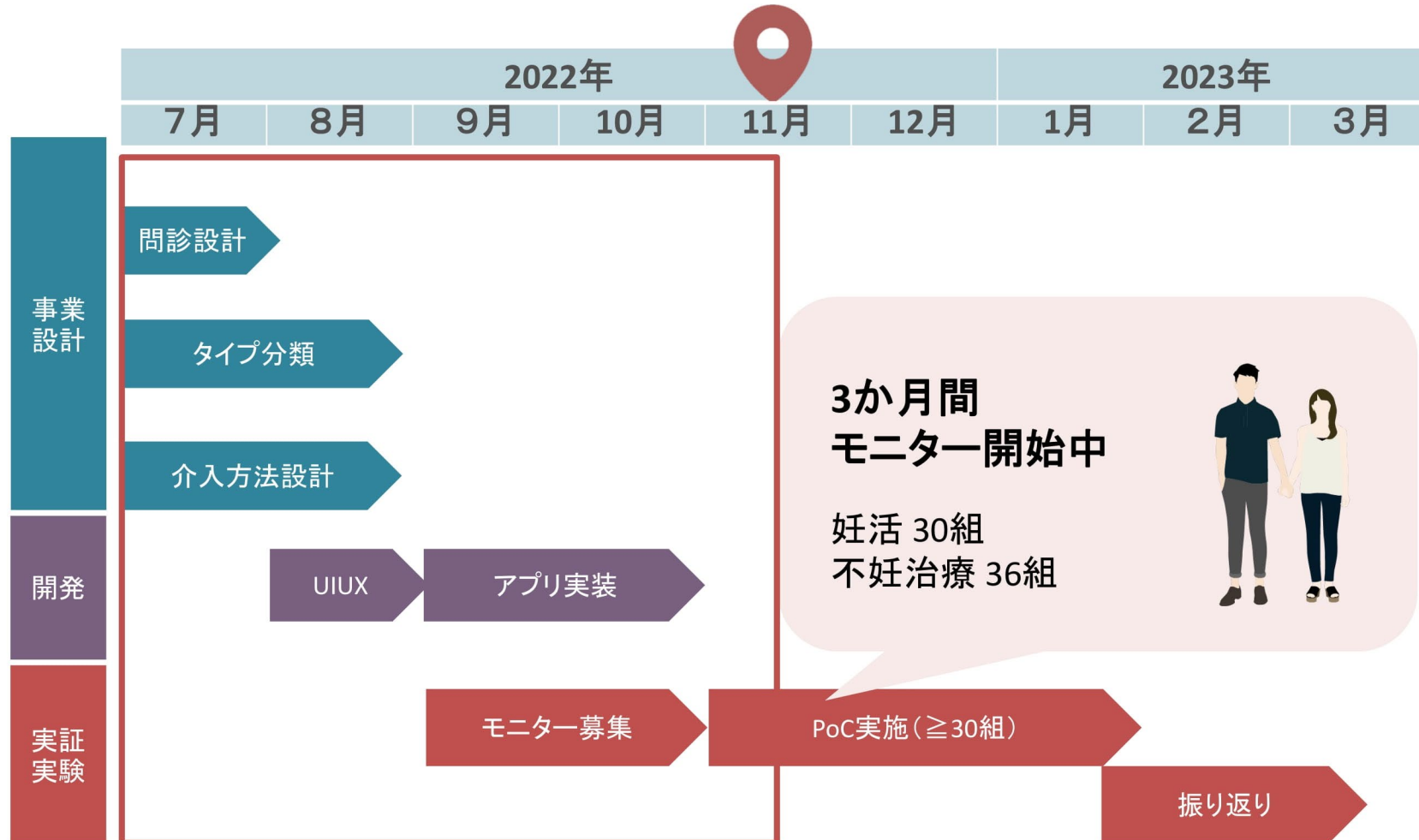
TEIJIN

妊活ビギナーの
夫婦・カップル

vivola **TEIJIN**

スケジュール

事業計画通り、事業設計、開発を完了し、11月よりモニター検証を開始中



事業計画に基づき実施したこと

不妊領域

計画どおり

不妊治療パートナーシップ支援アプリの開発

コンテンツ

- ① 生殖リテラシーテスト (CFKS-J)
- ② パートナーとのコミュニケーション診断/アドバイス
- ③ 治療状況に合わせた週1コラム配信/アクション把握

コミュニケーション診断

診断結果共有

週次配信

コラム紹介

翌週アクション把握



事業計画に基づき実施したこと

不妊領域

計画どおり

実証実験の開始（11/1～）

| 期間

- 3ヶ月間

| モニター

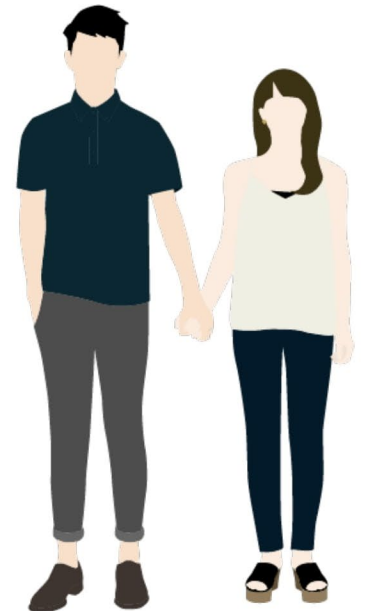
- 36組（72名）
- 条件
 - 不妊治療中
 - 11月に体外受精を実施

| 内容

1. モニター募集
2. 実証実験の概要説明
3. アンケート実施（事前）
4. ウェブアプリ登録～利用
5. アンケート実施（事後）

| 評価

- アプリ利用記録
- アンケート（事前・事後）



事業計画に基づき実施したこと

妊活領域

計画どおり

妊活コミュニケーション支援アプリの開発

コンテンツ

- ① 妊活に対するお互いの価値観を可視化する質問票
- ② 男女間の日常的な妊活コミュニケーション場面
- ③ 生殖リテラシーの向上のクイズ

監修体制



平山 史朗 先生

東京プロダクティブカウンセリング
センター代表
日本生殖心理学会
(副理事長)



鈴木 早苗 先生

実践女子短期大学日本語
コミュニケーション学科非常勤講師
日本不妊カウンセリング学会認定
不妊カウンセラー



金藤 美樹穂 様

株式会社F Treatment元代表。
女性のライフイベント領域にて新規事業
立上げと拡大に従事。
女性ホルモンバランスプランナー、上級妊
活マイスター



事業計画に基づき実施したこと

妊活領域

計画どおり

実証実験の開始（11/7～）

期間

- 3ヶ月間

モニター

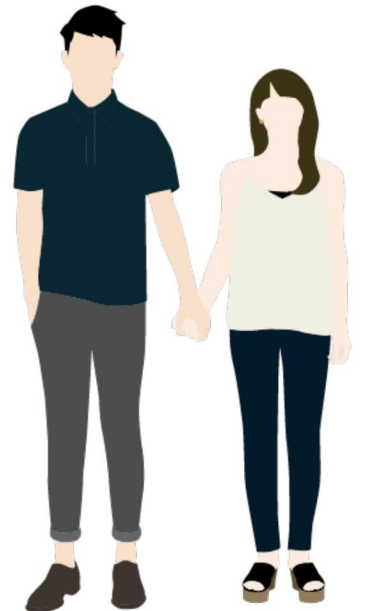
- 35組（70名）
- 条件
 - 妊活開始から1年未満
 - 不妊治療経験なし
 - 36歳以下（女性）
 - 共働き、など

内容

1. モニター募集
2. 実証実験の概要説明
3. アンケート実施（事前）
4. ウェブアプリ登録～利用
5. アンケート実施（事後）

評価

- アプリ利用記録
 - コンテンツ
 - アクセスログ
- アンケート（事前・事後）



事業を実施して分かってきたことや課題

| アプリ開発

前例研究が少ない

- 妊活/不妊治療共に男女間コミュニケーションについての研究が世界的にも少ない

センシティブな話題についての介入

- 男女間での意識差
- 診断結果の共有範囲

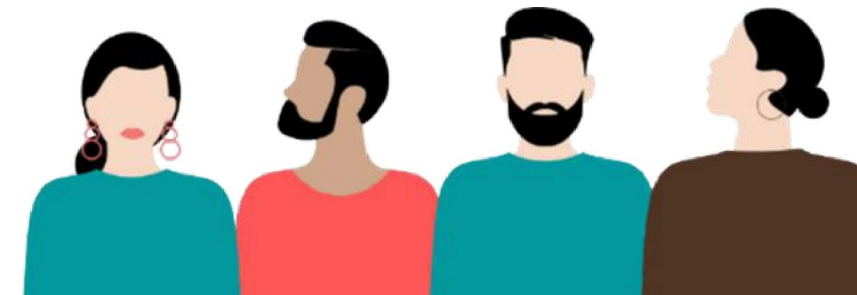
プロダクトの立ち位置

- 妊娠確率が上がるという誤解を与えない工夫
- 理解が得られない場合もある

| 実証実験

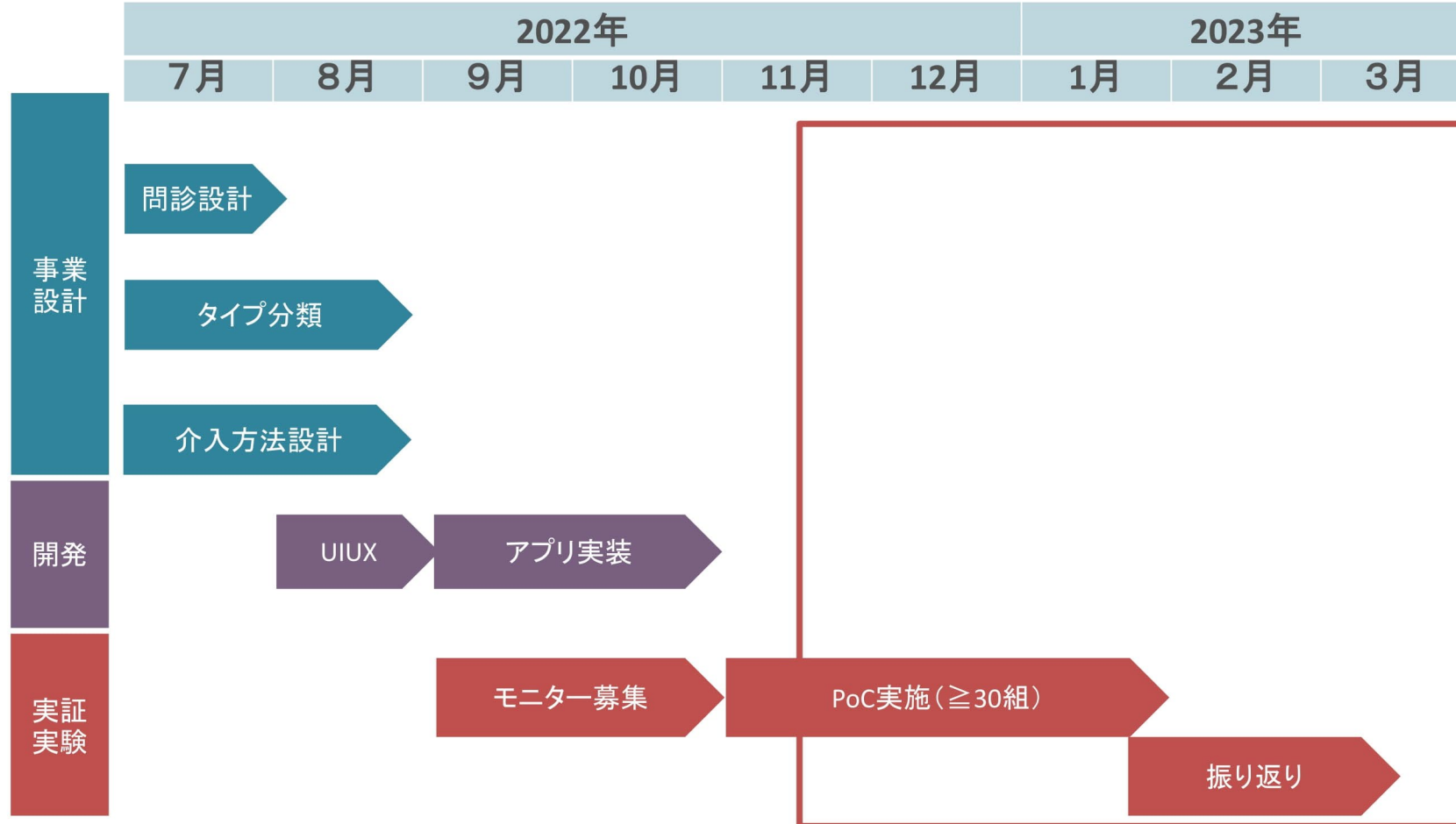
モニターリのクルーティング

- 条件に合致するモニター集め
- 長期の検証期間
- 離脱の軽減のための施策



今後のスケジュール

引き続きモニター実施、アクセス解析、アプリ改善点等を検討予定



今後実施すること

| アプリ関連

ユーザーデータの分析

- アクセスログ
- アンケート結果

コンテンツの改修・調整

- UI/UXの改善

| 実証実験

リテンション施策

モニターとのコミュニケーション

- 離脱理由の収集
- 改善ポイントなど

アンケートの収集と分析



04.

ヘルスリテラシー向上(知識の獲得から行動改善まで)を
通じた働く女性と組織の活性化をサポートする

『トータルウェルネスプログラム』

(代表団体：株式会社SRACreative)

ヘルスリテラシー向上(知識の獲得から行動改善まで)を通じた 働く女性と組織の活性化をサポートする『トータルウェルネスプログラム』

中間報告

SEVENRICH GROUP
株式会社 SRACreative



目指す姿 女性特有の不調に関するヘルスリテラシーが普及した状態

女性社員だけでなく、男性社員・管理職のヘルスリテラシーが高い状態。そして、組織内で不調を抱える社員の改善をサポートする持続的な仕組みや、効果検証を通じた「成果の見える化」が出来ている状態

ヘルスリテラシー

① 正しい知識を持つ



② 改善に向けた行動をする



女性社員

- ・ **リテラシーテストや研修**など、**全社施策**として全員が参加し、**自分の症状を客観的に知る機会**を持つ（自身の現状を把握）。
- ・ 自身の症状に対して**適切なセルフケアの知識**を持ち、**具体的な行動の実践**が出来ている
- ・ リテラシーが高い社員が増え、「**仕事のパフォーマンスを上げる**」ための**自律的な意識、スタンス**が定着し始めている



男性社員/管理職

- ・ **生理/PMS/更年期障害**などの症状に対する**正しい知識**を持ち、自身の物差しで判断せず「**一人ひとり症状が異なるもの**」と理解する
- ・ そして、**社員一人ひとりとの対話**を通じて、本人の望む形での「**仕事との向き合い方、働き方**」を**サポート**出来ている

(例：全員が「生理休暇」が欲しいわけではなく「通院のための一時的な離席」や「リモートワーク」などが理想の人もいる)



企業(人事)

- ・ 一人ひとりの知識の獲得、改善に向けた行動の実施、改善効果の検証ができるよう、施策を全体設計、運用できている。「**女性社員の不調改善し、自分らしく働くことのサポート**」を通じて、**働き方の多様性、リテンション、チームワークの強化、生産性の向上、企業ブランドケアアップ**など、会社の「**成果**」に繋がっているのを実感している

弊社が提供するトータルサポートの全体像

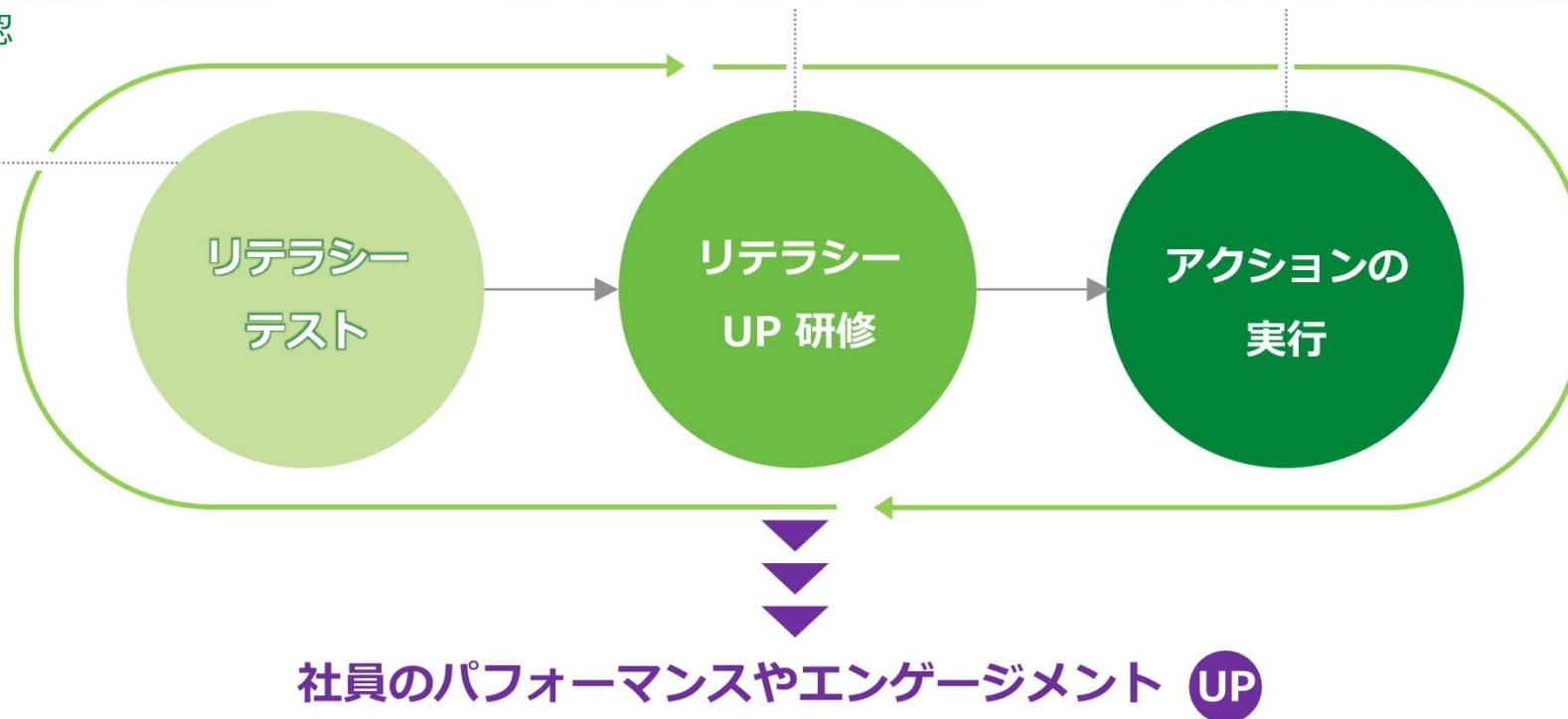
人事のパートナーとして、社員全員のリテラシーUPのためのトータルソリューションを提供。
女性の不調をきっかけに、多様な健康課題を持つ社員の理解、協力し合う職場へ

女性の心と身体の健康

女性社員、男性社員、管理職別に
リテラシーテストを実施。
他社スコアと比較して自社の
立ち位置を確認

テストの結果を踏まえ、対象者別
(女性社員/ 男性社員/ 管理職)に
理解を深める研修を設計、実施

例えば、女性社員向けに心/食事/運動/
睡眠サポートや検診受診やピル処方な
どのソリューションを提供



STEP1 リテラシーテスト

女性社員向けと男性社員および管理職向けの二種類のテストを実施。
プログラム導入前時点のリテラシーを把握します

対象

- 女性社員
- 男性社員
- 管理職

目的

不調に対する
正しい知識を持つ

改善に向けた
行動をする

内容（女性社員向けの場合）

※男性社員 & 管理職向けは一部内容を変えて実施

- **自身の症状チェック**
(PMS/PMDD、生理トラブル、更年期障害)
 - 症状を放置することの**リスク**
 - **各症状における正しいセルフケア**
 - **不調がもたらす労働損失、仕事への影響**
-
- **自身のセルフメディケーション・ケア実施度**
 - 上記の各症状に対する正しいセルフケアのうち、自身がどの程度出来ているかを確認
 - 例えば、適切な運動、バランスの取れた食事、十分な睡眠、ストレスの発散など
 - **周囲に求めるコミュニケーション**

STEP2 リテラシーUP研修

リテラシーテストの結果も踏まえ、医学的に正しい知識や実際の女性社員の回答を学べる
リテラシーUP研修を実施します

女性社員

- **リテラシーUP研修**

- ※リテラシーテストの詳細解説

- 不調が起こる原因・メカニズム
(PMS/PMDD、生理トラブル、更年期障害)
- PMS/PMDD、生理トラブル、更年期障害の対処法
- 病院との正しい関わり方
(かかりつけ医を持つなど) など

管理職・男性社員

- **リテラシーUP研修**

- ※リテラシーテストの詳細解説

- **コミュニケーション/メンタリング研修**
(女性社員の回答結果を踏まえて)



STEP3 ソリューション提案（女性向け）

さらに詳しいセルフケアの実施状況確認の上、各領域の専門家が個人の課題改善に寄り添い、「知識の提供」だけにとどまらず「実行・改善」までを一気通貫でサポートします

心

コーチング/ワークショップ

- コミュニケーション/内省の機会の提供 1on1コーチング

身体

運動/食事/睡眠/検診・ピル処方

- **運動/トリートメント**
オンライントレーニング・オフィスへの出張鍼
- **食事**
女性に必要な栄養素を詰め込んだ「宅食サービス」
※社食としても提供可
食事指導・栄養セミナー
- **睡眠**
睡眠分析～製品提案～伴走支援のトータルサポート
- **診断/処方**
検診、オンライン診断+ ピル処方
- **フェムケア/セルフケア**
病院に行かず自分で出来るQOL向上のためのセルフケア製品の提案・提供



導入後の効果検証

最後にSTEP1のリテラシーテストに近い内容を再度質問の上、状況の改善効果を測ります

女性社員

管理職・男性社員

不調に対する
正しい知識を持つ

- 不調が起こる原因・メカニズムは理解できたか？
- 上記の対処法や、病院との正しい関わり方は理解できたか？

- 女性の不調について、原因・メカニズムは理解できたか？
- 職場で求められるコミュニケーションについて理解できたか？

改善に向けた
行動をする

- 実際に不調があった方は、改善のための行動を取れたか？
- 行動してみた結果、体調の変化はあったか？

- 正しい知識を得た結果、変化はあったか？
- 実際に職場でのコミュニケーションに活かす場面はあったか？

本プログラムのポイント

以下の4つの強みにより、本事業の差別化を図ります

① 提供ソリューションの幅、 ラインナップの広さと深さ

不調に関する「知識のインプット/アドバイス」に留まらず、
**リテラシーテストの結果を受けて、すぐに利用開始
出来る具体的なアクション/ソリューションを提案。**
健康=身体ではなく、
心のケアに対するニーズも存在するため、
「心と身体」の両方にアプローチするソリューションを提供

② シームレスな連携

本プログラムは株式会社SRACreative主催の元、
Seven Rich Groupという**グループ企業に属する四社**
(株式会社LYL、株式会社MYPLATE、
株式会社Seven Rich Accounting、株式会社nemuli) や
既に事業連携の実績があるパートナー団体
(CLINIC TEN SHIBUYA) で構成。
**質の高いスピーディーな連携で、
豊富なソリューション提案が可能**

③ 個人向け・法人向け両方の実績を保有

全体設計を担う株式会社SRACreativeと株式会社LYLは
**法人向けのコーチング/コンサルティングプログラムの
導入実績あり。**ソリューション提供を行う
株式会社Seven Rich Accountingや株式会社MYPLATE、
CLINIC TEN SHIBUYAは**個人向けのプログラム**展開に加え、
ベンチャーを中心とした法人向けの導入実績あり

④ 経営・人事領域のプロフェッショナルによる、 経営/人事コンサルティングの提供

長年人事や経営コンサルタントを務めてきた
経営/組織のプロフェッショナルがプログラムの全体設計/
コンサルティング※を行うことにより、
企業成長との関連性を持たせた提案が可能
※ヘルスリテラシーテストから垣間見えた課題の抽出から、
研修内容の設計、提案、人事施策への提言など、
経営者・人事のパートナーとしてサポート

事業目標/KPI

定量的には、対象者×期間に応じて以下のように理解や行動を変えることを目指しています

	短期（1年後）	中期（2年後）	長期（3年後）
女性社員			
1. 研修参加率/リテラシーテスト参加率	60% または + 5%※4)	70% または + 10%	80% または + 10%
2. 不調に対するセルフケア 理解度	40% または +10%	60% または +20%	80% または +20%
3. セルフケア実施率※1)	40-50% または +10%	60-70% または +10%	80% または +10%
4. 婦人科受診勧奨の社員比率	30-40% または ▲10%	20-30% または ▲10%	15%以下 または ▲%
5. パフォーマンススコア※2) (WHO-HPQのスコア設問B9-11)	+ 20%	+ 10%	+ 5% (3年間で最大+35%)
男性社員 / 管理職			
1. 男性社員 / 管理職の「女性の不調に対する理解度」スコア	30% または + 5%	40% または + 10%	60% または + 20%
組織			
1. 女性社員が感じる「職場の女性特有の不調に対する理解度※3)」	60%	70%	80%
2. 女性社員のエンゲージメントスコア	- (短期的には影響なし)	+ 5%	+ 5%
3. 女性社員の心身不調を理由とした 休職者数・日数	- (短期的には影響なし)	▲5%	▲5%
4. 女性管理職比率	- (短期的には影響なし)	- (中期的には影響なし)	+ 5%

※1) 食事改善・運動・睡眠サポート/検診/処方等の対応状況

※2) 短期目標参考：丸紅 成果報告書【月経PG】オンラインピル外来実証調査 結果③プレゼンティーズムp19

※3) 現状約50%：日経BP総合研究所メディカル・ヘルスラボ生理快適プロジェクト調査

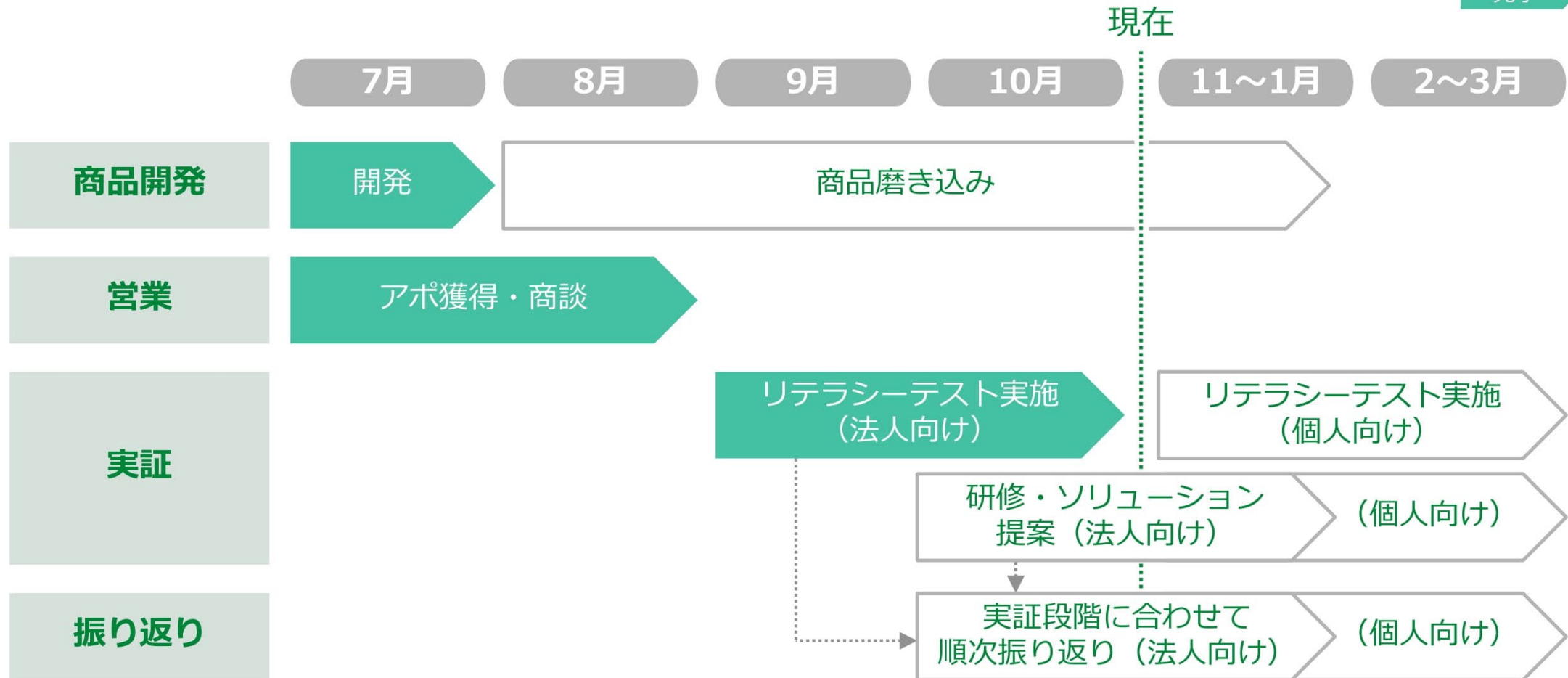
※4) +/-▲xx%は、対現状比

全体スケジュール

実証事業は以下のスケジュールにて進行中。

大きく分けて開発、アポ獲得・商談、リテラシーテスト実施の3工程が完了しました

定義：  進行中
 完了



7月～10月のトピックス

商品開発と企業への営業を終え、6社に対して順次テスト導入と振り返りを行っております

商品
開発

初期商品開発は完了。今後はテスト導入結果を踏まえながら磨き込みを図る

営業

テスト参画対象企業6社を獲得

テスト
導入

上記6社様に対し、順次テスト導入と振り返り（弊社内及び対参画対象企業）を実施。

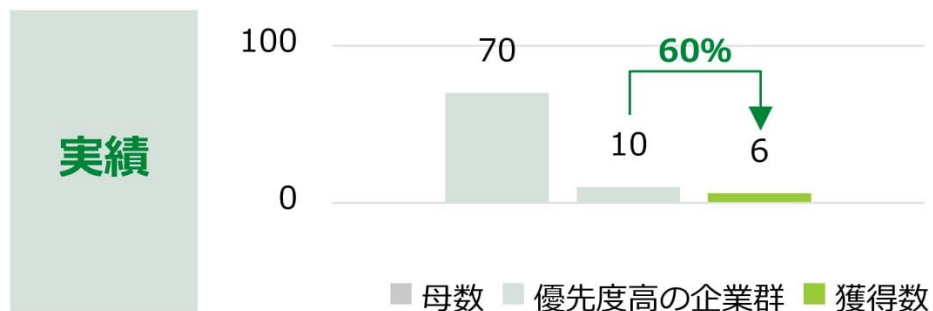
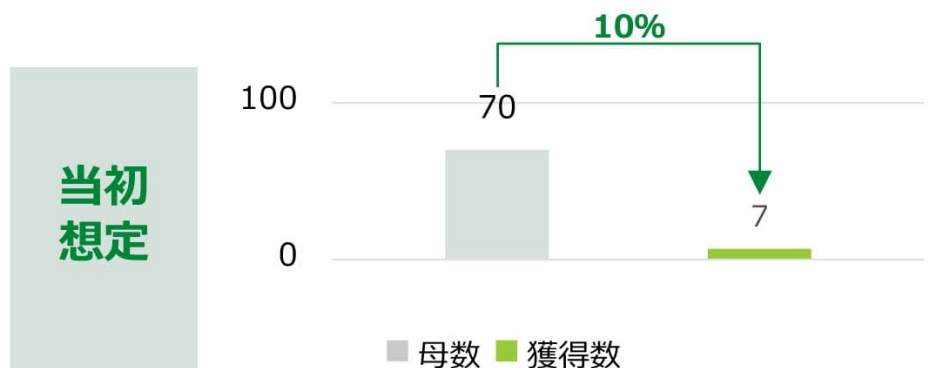


営業活動から見えてきたこと

当初は7社に対してテスト導入を行う予定でしたが、歩留まりは想定よりも高かったものの、予定よりも企業側の決裁に時間を要することが判明しました。スケジュールに鑑みて6社にて進める形としています

アプローチした社数と歩留まり

- 当初は、株式会社LYLと関係性のある企業70社にアプローチし、**歩留まり10%**にあたる**7社**を獲得する想定
- 実際は、70社のうちニーズや関係性から獲得可能性の高い**10社と商談し**、**6社**を獲得（**歩留まり60%**）



当初想定との差分

差分

- 優先度高の企業群とはいえ、**歩留まりは想定を大きく上回る**結果となった（10%→60%）
- 一方、各社の決裁に掛かる時間は**1~1.5か月**を想定していたところ、**1.5~3か月**を要した
- これは以下のような**取り組み自体の新規性と実証の性質**によるもので、早期の短縮は困難
 - **導入実績のない取り組みのため、社内の説得に時間が掛かった**（資料の準備や稟議など）
 - **一定以上の規模かつ男女のバランスが良い組織の選定と現場との調整**に時間が掛かった



対応

- 上記のため、実証に影響が出ないぎりぎりまで**営業活動を延長**
- うち、**決裁が下りた6社**で進める形とした
- 事業本格化の際は、上記の**決裁までのリードタイムを考慮の上で進める**

営業活動から見えてきたこと

参画企業からは、男性社員側のリテラシーへの課題感や、女性社員の不調時の我慢を軽減したいという声が挙げられました。一方で、今回参画されない企業もフェムテックへの意識は高まっている状況でした

主な参画理由



特に女性の不調に関する男性社員のリテラシーを上げたい。女性社員も20-30代の女性が多いため、生理や月経前症候群で我慢することだけが正解ではないことを知って欲しい

健康経営やWellbeingを打ち出し、社内でも色々取り組んではいるものの、健康意識の醸成から行動変容までを一気通貫して行うものはなかった。今回のサービスを通じて、どの程度パフォーマンスがアップするか試してみたい



女性活躍・健康経営の施策として、女性社員のリテラシーを上げることで不調の際の我慢を軽減してもらいたい

最近クライアントニーズとしてもフェムテック、女性の不調に関するニーズは高まっているため、男性社員も知識を付けて欲しい



主な不参画理由



前例がないため実施が難しい

社内で別の取り組みがあり、タイミング的に今は難しい



不妊治療など、他のテーマの方が現状社内での優先順位が高い

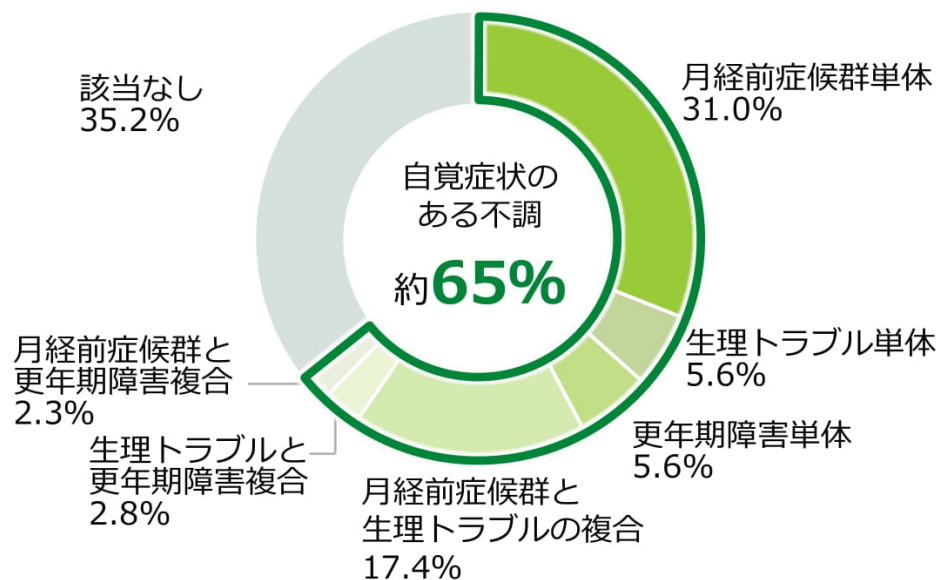
リテラシーテストから見えてきたこと

リテラシーテストの結果、女性特有の不調による自覚症状を抱える女性社員は全体の6割以上。特に月経前症候群は7割、生理トラブルはほぼ全員が一度受診を推奨する症状の重さでした

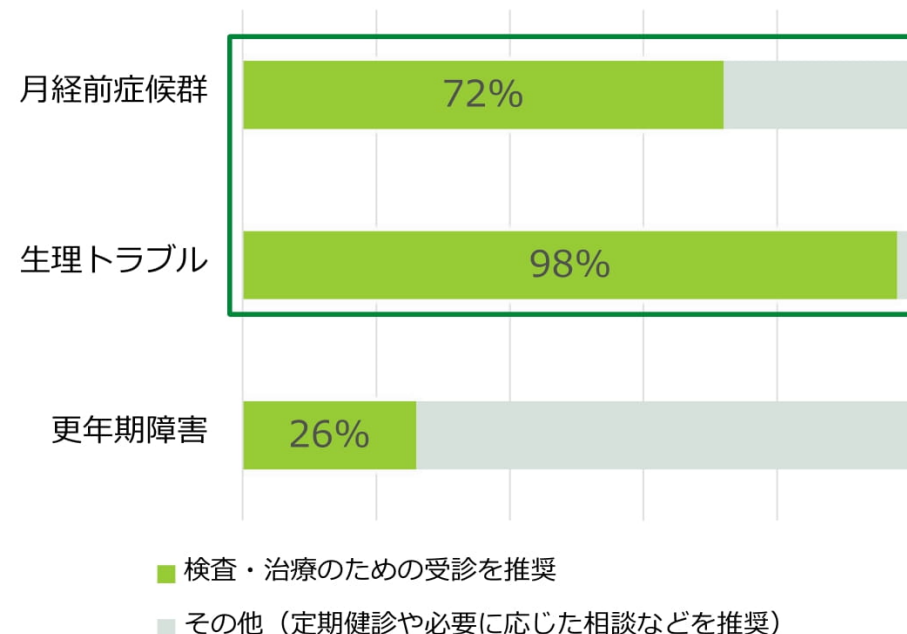
【自覚症状のある不調】

Q.あなたは月経前症候群（PMS、PMDD）、生理トラブル（月経困難症、過多月経）、更年期障害などの自覚症状はありますか？
特に自覚症状を強く感じているものをお選びください。

n=213人（女性回答）



受診を推奨する、重度の自覚症状者の割合※



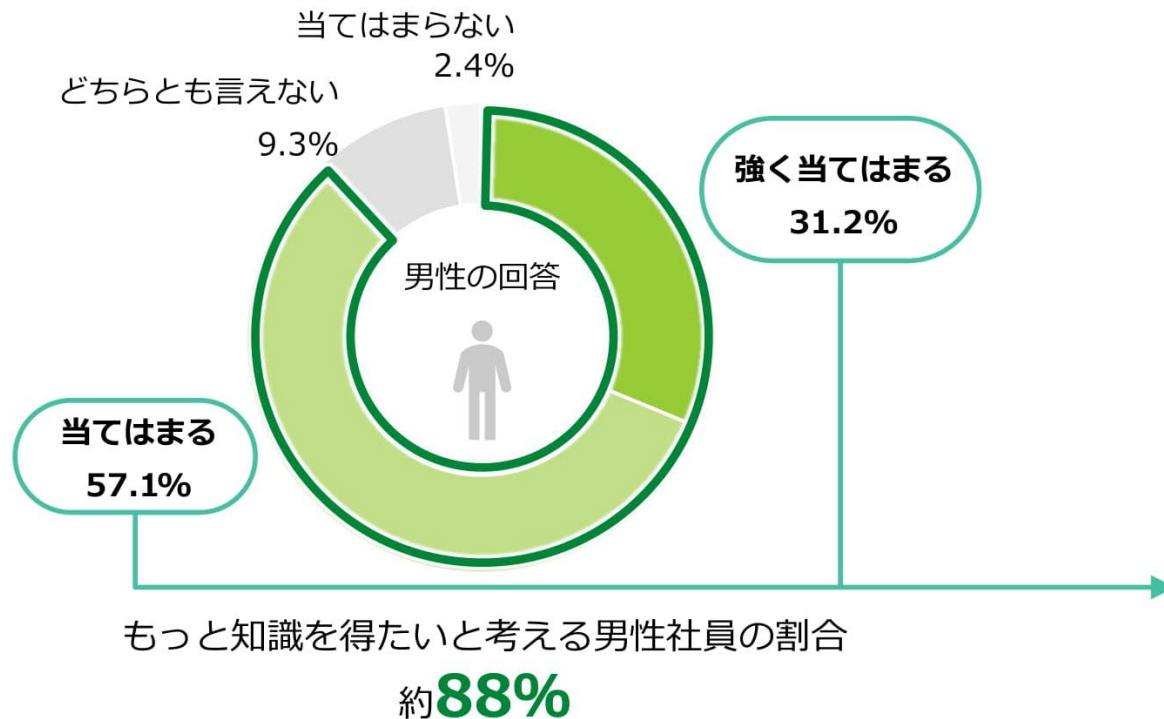
※各症状の重さ 算出方法 参考文献：・月経前症候群：日本産科婦人科学会雑誌第64巻第9号、・更年期障害：簡略更年期指数（SMI）北村内科クリニック・生理トラブル：Harada,T.et al. : Fertil. Steril. 2008;90 (5) : 1583-1588。受診を推奨するとした対象者は以下の通り。・月経前症候群：PMDD/重症PMS/中等症PMSの可能性のある対象者 ・生理トラブル：過多月経/月経困難症/不正出血/その他症状の可能性のある対象者 ・更年期障害：重症度を表すスコアが51点以上となった対象者

リテラシーテストから見えてきたこと

一方で男性側も、社内外の女性とのコミュニケーションに役立てるため、8割以上が女性の不調に関する正しい知識を得たいと考えていました

【男性視点】

Q.あなたは女性特有の不調（月経前症候群/生理トラブル/更年期障害）、不妊・不妊治療に関してもっと知識を得たいと感じますか？
n = 205人（男性回答）

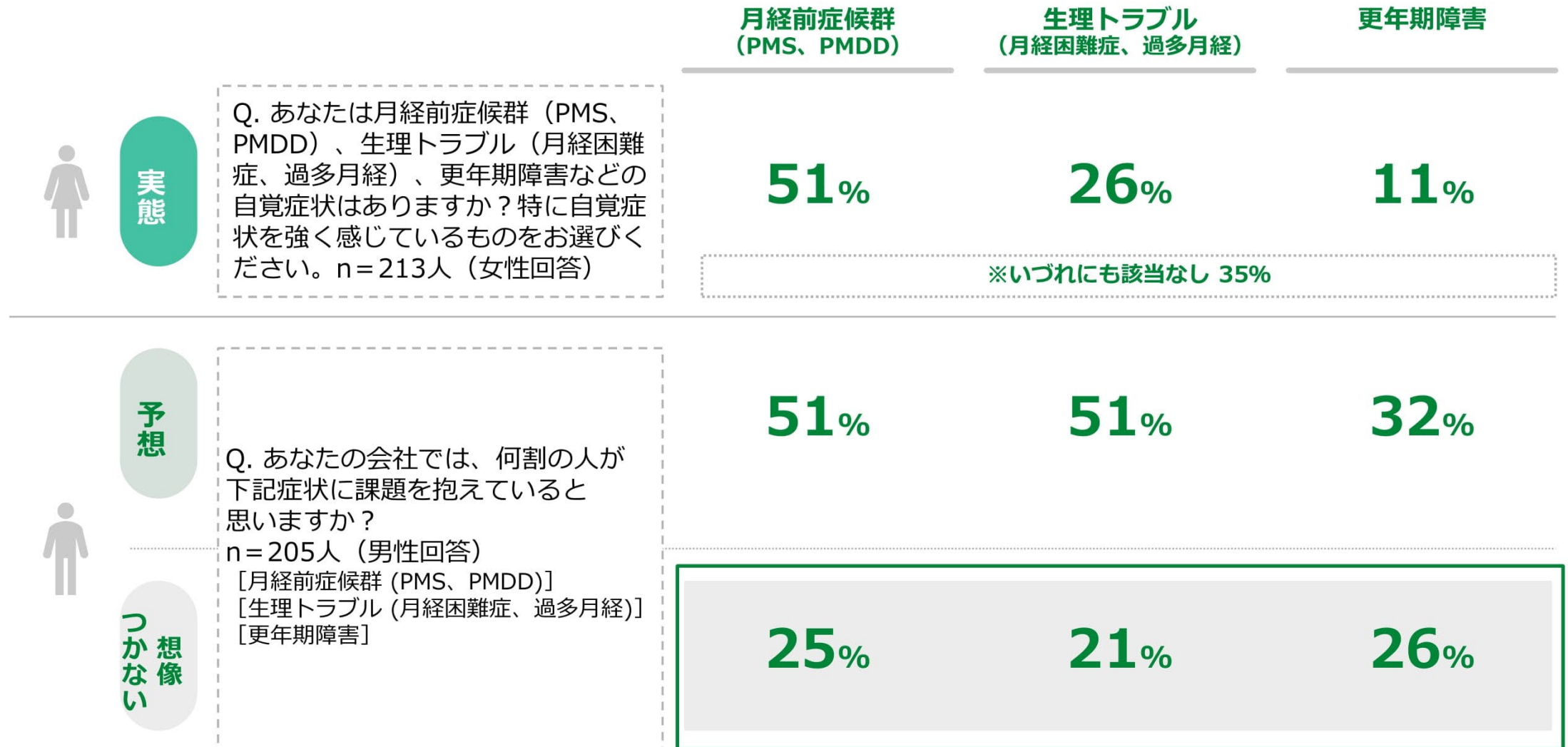


Q.選択された理由を教えてください。
（※「強く当てはまる」「当てはまる」を選択された方の理由を抜粋）

- 今まで意識することはなかったが、今回のアンケートを通じて**自分の理解のなさに驚いた**から
- 正直あまり話を聞く機会は少ないが、実際かなり困っている人は多いと思うので**理解をするだけでも今後のコミュニケーションが変わると感じている**からです
- 管理職として、すべての人に活躍してもらいたいと考えている中で、**配慮するための知識が乏しい**ため
- **知らないことにより相手を傷つけてしまったりする**可能性があるため
- 一緒に働く**女性メンバーのマネジメントの際に重要な知識**だと思うことと、**妻に対する理解を深めたい**と思うから
- **理解を深めることで社内外でのコミュニケーションが変わってくる**と思ったため
- **知った気になっていることが一番悪い**と思ったため
- 職場を共に過ごす仲間として、**理解した上で業務配慮**したいため

リテラシーテストから見えてきたこと

男性側の理解は実態と比較的遠からずではあったものの、不調を抱える女性の割合について全く想像がつかないという人も全体の4分の1を占めており、今後も理解促進の余地がある状況でした



リテラシーテストから見えてきたこと

実際の仕事への影響については、むしろ男性社員の方が高めに見積もる結果に。男性側が身構えすぎている部分もあれば、女性側が我慢しながら業務に当たってしまっている部分もありそうです

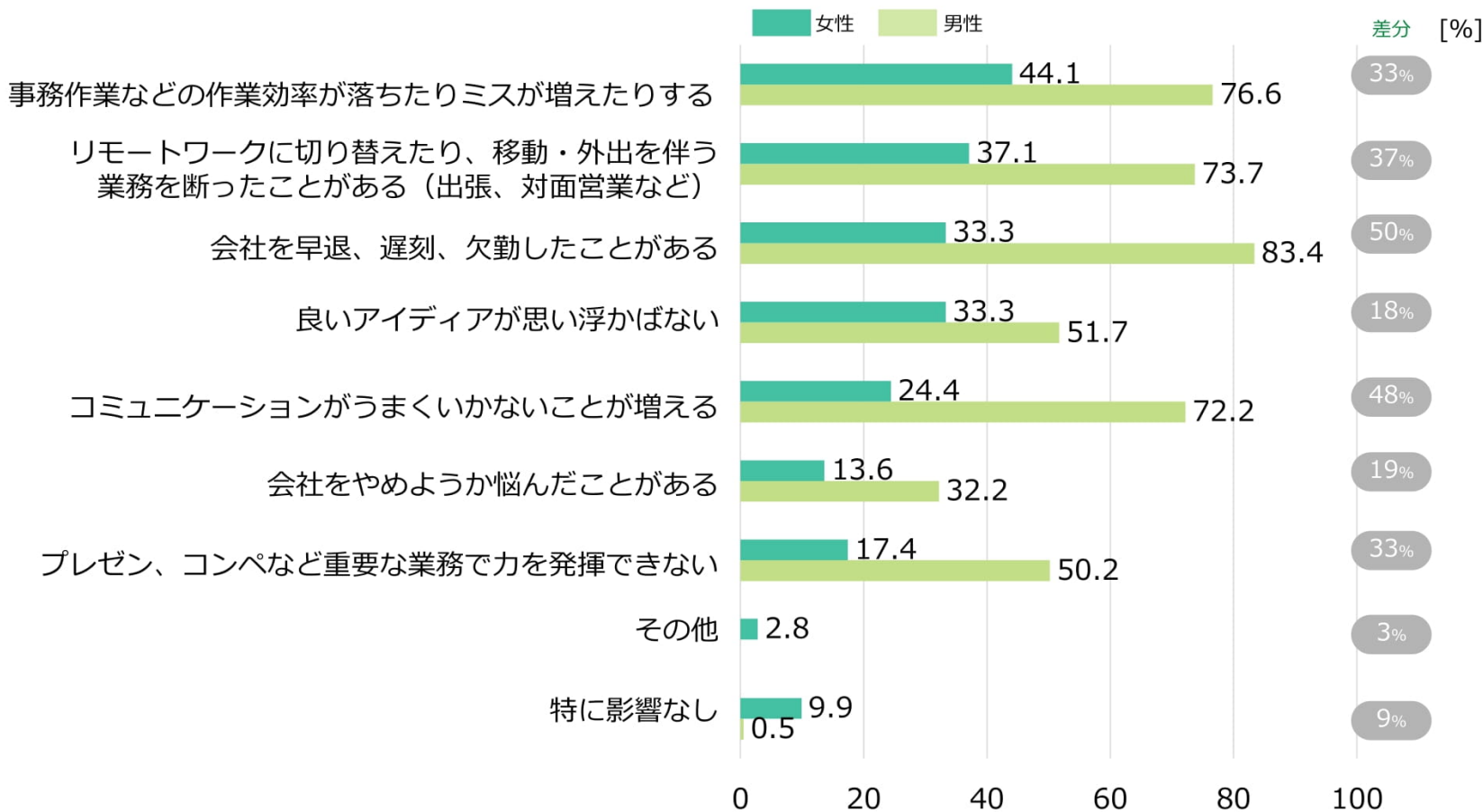


Q.女性特有の不調（月経前症候群/生理トラブル/更年期障害）によって仕事にどのような影響がありますか？
n=213人（女性回答）



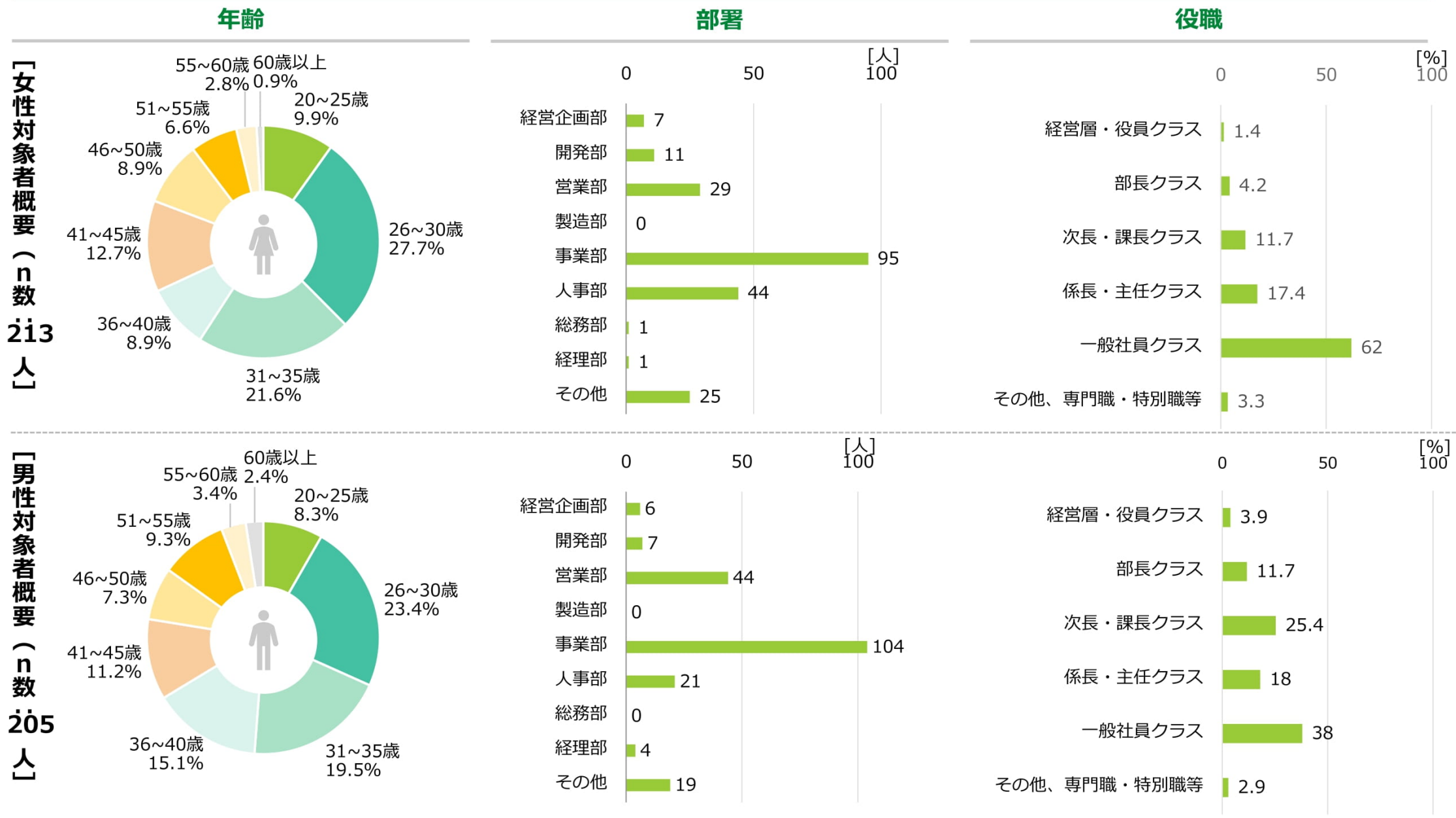
Q.あなたの会社の女性社員の声として、女性特有の不調（月経前症候群/生理トラブル/更年期障害）によって具体的にどのように仕事のパフォーマンスが下がると回答する声が多いと思いますか？n=205人（男性回答）

左記の中から、その他の定性コメントを抜粋



- PMSで辛くても、それを周囲に言うのは言い訳みたいに思えて言いにくい
- 身体のだるさや気持ちの沈みを感じるが表面化しないようにしている
- 普段より余裕がなくなりスタッフへの配慮や傾聴の姿勢が不足する
- イライラしやすい、眠くなる

(参考) リテラシーテストの対象について



会社紹介：株式会社SRACreative

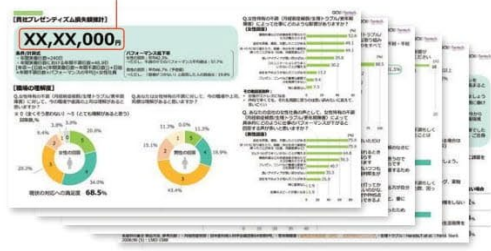
COMPASSIONATE LEADERSHIP

従業員・経営者それぞれが、自分や他者への理解を深め、思いやりをもって寄り添う企業風土を実現する経営

風土改革などの人事施策の検討材料に

リテラシーテストを元に企業様ごとにレポートを作成

企業様ごとに損失額推計をお出しします



企業ブランディングへの活用として

社内・外への発信で企業ブランディングの向上サポート



こやま ゆきこ
小山 侑子

「自走する」組織デザイン
株式会社 LYL 代表 /
SEVENRICH GROUP
QOLI 事業責任者※



都内某企業様
従業員数：約300名
(30代/女性)

代表メッセージ

「社員の心と身体の健康は持続的な企業成長においてとても大事」
企業の経営者や人事担当者の皆さんからよく伺います。

一方で健康支援施策は単発で終わってしまっていることが多いのが現状です。そうした課題を解決すべく、社員の皆さんの心と身体の健康に向けた意識～行動変容をトータルでサポートするサービスを開発しました。

社員一人ひとりの健康を支援し、経営者や人事の皆さんの活気のある組織づくりのパートナーを目指します。 ※株式会社 SRACreative 所属

人事担当者様の声

導入の決め手は女性社員だけでなく、男性社員に対するリテラシーアップへの施策がしっかりあること。

また、女性特有の不調について学ぶことをきっかけに、男性の更年期障害や不妊などの他の健康課題を知るきっかけになれば嬉しいです。

目指すのは女性社員だけでなく、男性社員・管理職のヘルスリテラシーが高い状態。
企業の継続的な女性活躍の風土づくりを支援し、企業のコンパッション経営・ブランド力の向上に貢献します

株式会社 SRACreative

所在地：〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町9-8
KN渋谷3ビル 2F (SEVENRICH GROUP内)

TEL：03-6455-0697

お問い合わせ：

qoli.info@lyl-coaching.com

公式サイトのCONTACTからも
お問い合わせ可能です。



<https://qoli.jp/>



人事担当者様へ

女性の不調に関する対策を検討している
企業様はお気軽にご相談ください！



05.

働く更年期女性の睡眠を可視化した
リトリートプログラム実証事業
(代表団体：沖縄セルラー電話株式会社)

【中間報告】 働く女性の睡眠改善プログラム 実証事業

沖縄セルラー電話株式会社
営業本部
ビジネス開発部

①事業の背景・目的

②実施内容

③事業の進捗報告

④実施スケジュール

事業の背景目的

働く女性の睡眠改善プログラム実証事業

【事業設計の背景】

世界的に様々な論文等では女性の多く（40歳～59歳）が不眠になると言われている。また不眠は働く女性にとって生産性を低下させる要因となっており、QOLの低下に繋がっている。
不眠の原因は様々であるが、「睡眠」を可視化することで、適切な対処をすることができる。

【事業目的】

働く女性の「睡眠」の可視化およびフェムテック企業監修のリトリートプログラムの実施により「不眠症」の原因の特定と改善を図り、働く女性が職場で最大限能力を発揮できる環境構築を目指す。

リトリートとは・・・ 忙しい毎日を忘れて心と体を休めリフレッシュすること

实施内容

専用のウェアラブルデバイスにて計測した睡眠データを基に
リトリートプログラムを実施し不眠症状の改善を図る。
参加者のうち80%以上の睡眠の改善を目指す。

ウェアラブルデバイスで睡眠データを計測
不眠症状を検知



検知したデータを基にプログラムを実施
不眠症状の改善を図る

心と身体の再構築をめざすリトリートプログラム



人生100年時代を
生きる健康と免疫



健康長寿、美しく輝くための
女性の統合医療



睡眠を助けるツボ、
お灸、セルフケアのコツ



自分でも楽に続けられる
ヨガと運動



交感神経を緩める
アロマ・マッサージ



不安を軽減させる
マインドフルネス



より良い睡眠習慣を
作るためのアドバイス



身体の変化と向き合い
輝きながら働くコツ



自分に気づきコーピング
(ストレス対処)に
役立つ色彩療法



専門家に気軽に相談でき、
悩みを共有できる仲間と
過ごす素敵な時間と空間



対象：事前問診/アンケートの結果を基に選定された30名

②実施内容（事業提供団体と役割）

事業提供団体	役割
沖縄セルラー電話株式会社	JOTOホームドクターアプリの提供
株式会社ACCELStars	睡眠データ計測用ウェアラブルデバイスの提供 睡眠データの分析
HerLifelab株式会社	リトリートプログラムの提供
Naoko女性クリニック	オンライン健康相談（※症状に応じて実施）



東京大学大学院医学研究科の上田教授が創業した
東大医学部発のスリープテックベンチャー企業



上田 泰己
創業者 / 取締役 CTO

睡眠健診

個々人の睡眠や生活習慣を把握し、睡眠の健康診断サービスを提供開始。
企業の安全衛生の観点から、健康経営をサポートして参ります。

2000年東大医学部卒。2004年に同大学院医学系研究科修了。2003年から理化学研究所チームリーダー等を経て2013年より東京大学大学院医学系研究科教授。現在、理化学研究所チームリーダー、東京大学大学院情報理工学系研究科教授などを兼務。専門はシステムズ薬理学・睡眠。受賞多数。

Web 問診（スマホから回答）



事前
問診

毎日
問診

※画面は開発中のものであり、実際の画面とは一部異なります

睡眠時のウェアラブルの装着



睡眠の量

睡眠のリズム

睡眠の質

個人レポート



- ☑ 毎日問診、ウェアラブル計測から主観と客観を時系列に可視化
- ☑ 行動と睡眠から行動変容を促すコメント
- ☑ 睡眠が著しく悪い方（なんらかの病態が疑われる方）には受診勧奨を実施

1日+7日の計8日間で測定



HerLifeLab株式会社 女性の健康を科学とハートで支援

2022年に設立した沖縄科学技術大学院大学 (OIST) 発の女性の健康を総合的にサポートを提供する会社です。

私たちは女性の真の健康する理解を広げ、クオリティーオブライフの向上をめざしています。

リトリートプログラムの専門家チーム



エリセーバオリガ
(えりせーばおりが)
CEO

医学博士、免疫学者。
自身の更年期を機に
女性の健康に関する研究に着手。



高宮城 直子
(たかみやぎなおこ)
メディカルアドバイザー

Naoko 女性クリニック院長。産婦人科専門医、女性ヘルスケア専門医、更年期に関するメノポーズカウンセラー。



破名城 初美
(はなしろはつみ)
アドバイザー

産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、色彩セラピスト。企業、大学等での各種セミナーを多数受持つ。



大城 千夏
(おおしろちなつ)
アドバイザー

鍼灸師、ヨガインストラクター、
愉氣マスター。

Naoko 女性クリニック

沖縄県浦添市経塚に所在する婦人科、漢方内科のクリニック
オンライン診療による受診も可能

太陽のように明るくサポート
月のように優しく寄りそう
クリニック

「婦人科には行きにくい」「診察が恥ずかしい」そんなイメージで足が遠のきがちな婦人科。私たちは、そんなイメージを変えたい！

あなたのお悩みにお答えする婦人科のかかりつけ医をめざします！



①事業の告知

<期間>
8月1日（月）～8月12日（金）



協力企業の人事部を通じ
対象となる女性社員へ告知

②事業へエントリー

<期間>
8月1日（月）～8月12日（金）



JOTOホームドクターアプリにて
健康課題の把握のための
事前問診/アンケートに回答頂き
事業へエントリー

③ウェアラブルデバイス着用

<期間>
8月26日（金）～9月2日（金）



選定された対象者に
ウオッチ型のウェアラブルデバイスを
睡眠時8日間着用いただきます。
※着用期間中、睡眠に関する
問診を毎日回答いただきます。

④睡眠データの抽出・分析

<期間>
9月5日（月）～9月30日（金）



着用いただいたデバイスを回収し
計測した睡眠データを
事業事務局にて分析します

⑤対象者に通知

<期間>
9月5日（月）～9月30日（金）



対象者に通知し
リトリートプログラムの
参加日程を連絡します

⑥オンラインセミナー

開催日程：9月中を予定
※別途ご案内します



専門家の先生による
「女性の健康に関するセミナー」に
オンラインで受講いただけます
※エントリー頂いた方全員が受講対象
セミナー動画はアーカイブにて
後日視聴することもできます。

⑦リトリートプログラム

<期間>
10月1日（土）～10月31日（月）

⑤にて対象となった
30名の方限定



専門家による
リトリートプログラムに参加

⑧オンライン相談

症状に応じて実施



症状に応じNaoko女性クリニック
高宮城先生とのオンライン相談を受診

⑨ウェアラブルデバイス着用

<期間>
11月1日（火）～11月30日（水）



リトリートプログラム/オンライン相談
終了後、睡眠の改善効果の計測のため
ウェアラブルデバイスを再度
睡眠時8日間着用いただきます
※着用期間中、睡眠に関する
問診を毎日回答いただきます。

⑩実施後アンケート回答

<期間>
11月1日（火）～11月30日（水）



リトリートプログラム実施後
プログラムによる睡眠の改善について
アンケートにて回答いただきます

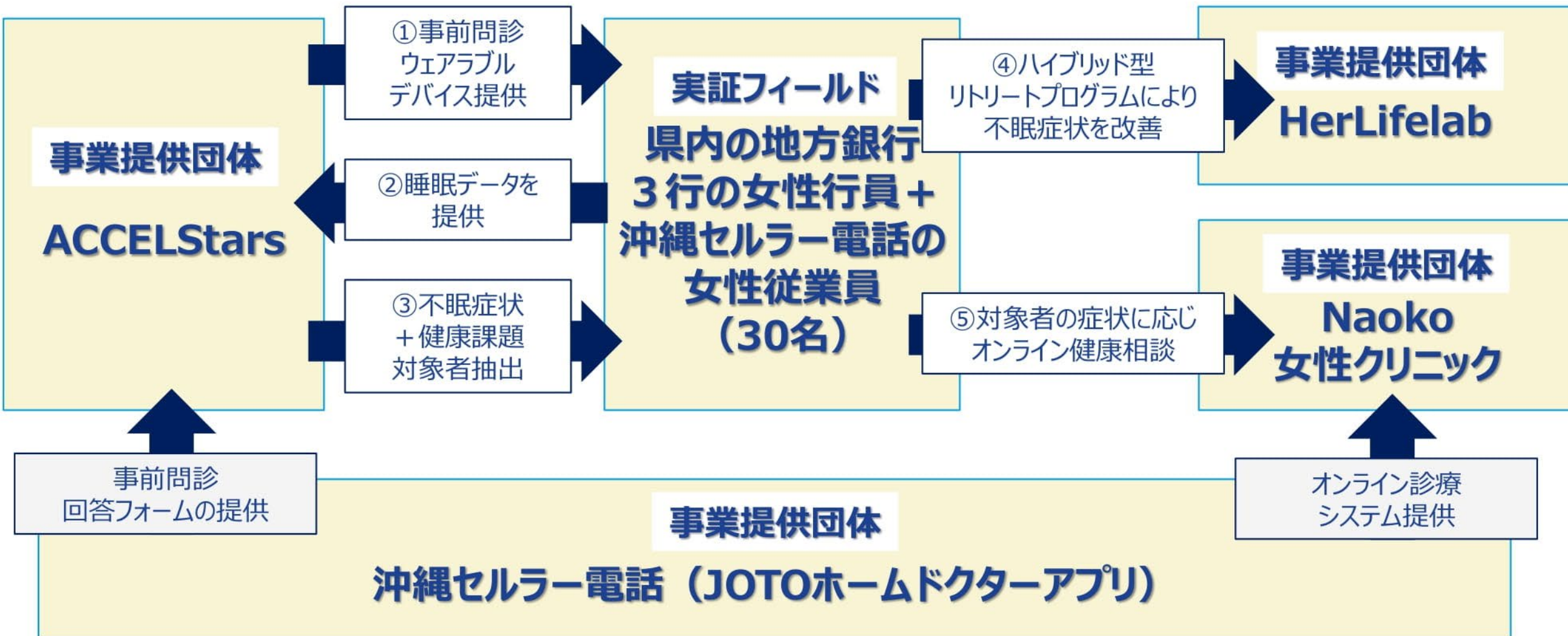
⑪実証結果のご報告

<期間>
2月～3月中



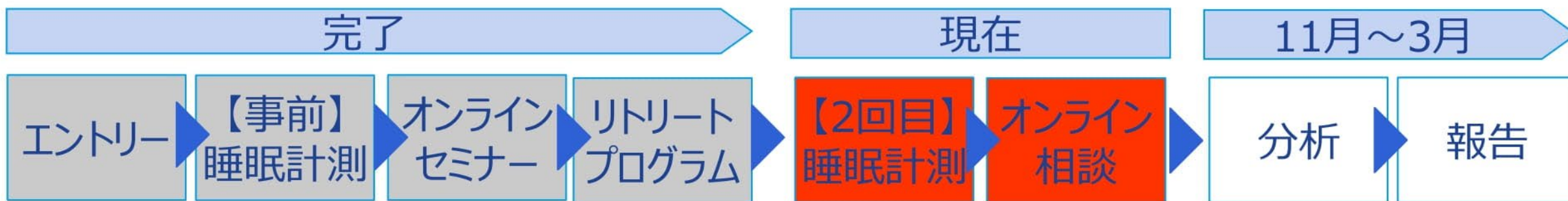
実証事務局にて最終結果を取りまとめ
レポートにてご報告します

事業の全体イメージ



事業進捗状況のご報告

リトリートプログラムの実施が終了し、2度目の睡眠計測を実施中



参加者数のサマリ

項目	目標	結果
エントリー	100名	45名
オンラインセミナー	100名	30名
リトリートプログラム	30名	26名

課題点や良かった点

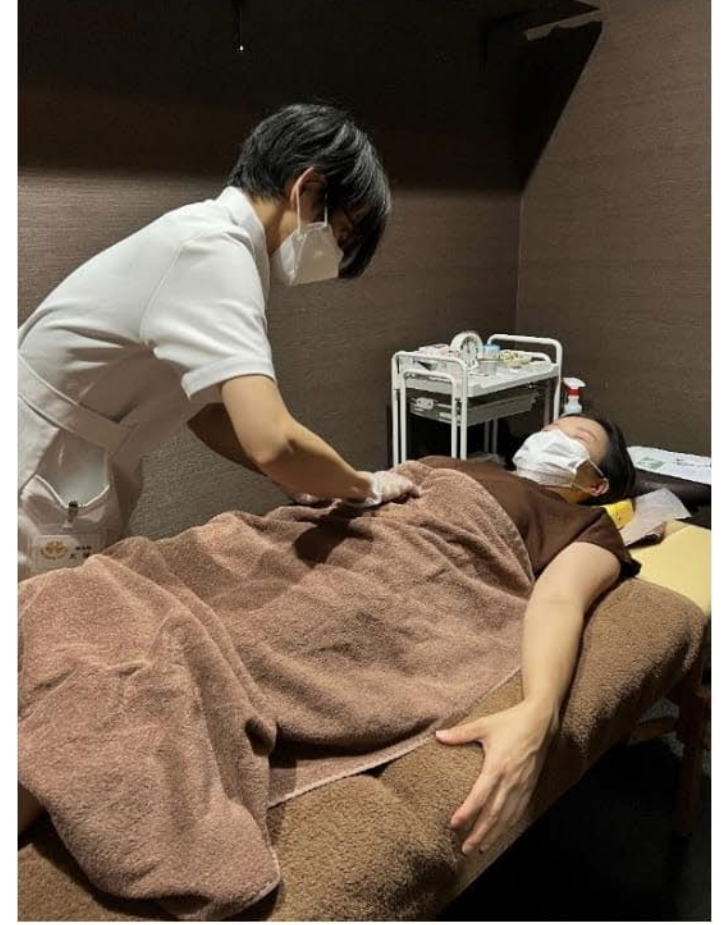
課題点

- ① 事業の応募数が想定よりも少なかった。
- ② ウェアラブルデバイスの発送や回収の手間がかかった。
- ③ リトリートプログラムの日程調整が難航した。

良かった点

- ① 自身の症状を理解されていない方が多かったが、リトリートプログラムにて同様の症状を持たれている方同士でグルーピングすることにより、ストレスや悩みの解消、安心感などが得られたとの感想を頂いた。
- ② そもそも本事業に自ら参加を申し出たこと自体が、自身にとって良い影響があったと参加者からの感想を頂いた。

同様の悩みを持たれている対象者同士でのディスカッション
ヨガやマッサージのセルフケア指導、リラクゼーションなどを体験いただきました



9月7日（水）に共同事業体での合同記者会見を実施

日程：2022年9月7日（水）
場所：沖縄セルラー 本社ビル

- 登壇者：
- ① 沖縄セルラー電話株式会社
代表取締役社長 菅 隆志
 - ② HerLifeLab株式会社
代表取締役 エリセーバ・オリガ
 - ③ 株式会社ACCELStars
代表取締役社長 宮原 禎
 - ④ Naoko女性クリニック
院長 高宮城 直子

<メディア>

新聞：沖縄タイムス・琉球新報
テレビ：OTV、RBC、QAB
ラジオ：ラジオ沖縄

記者会見の登壇者とプレスリリース



News Release

五のワース

2022年9月7日
沖縄セルラー電話株式会社
HerLifeLab株式会社
株式会社ACCELStars
Naoko女性クリニック

「働く女性の睡眠改善プログラム実証事業」を開始 —ウエブアプリによる睡眠データの可視化と睡眠改善プログラムによるQOL向上—

沖縄セルラー電話株式会社（本社：沖縄県那覇市、代表取締役社長：菅 隆志、以下「沖縄セルラー」）とHerLifeLab（ハーライフラブ）株式会社（本社：沖縄県那覇市那覇市、代表取締役社長：EliSereba Olga）との共同出資によるHerLifeLab（ハーライフラブ）株式会社（以下「HerLifeLab」）と株式会社ACCELStars（アセラスターズ）（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：宮原 禎、以下「ACCELStars」）とNaoko 女性クリニック（所在地：沖縄県那覇市、院長：高宮城 直子、以下「Naoko 女性クリニック」）は9月6日（火）より働く女性の睡眠の可視化および睡眠改善プログラムの導入と実証に向けた共同の実証事業を開始します。















働く女性の「睡眠不足」や「睡眠の質の低下」は睡眠時間を短くさせ、働く際の生産性を低下させるだけでなく、心の健康や免疫力の低下による生活習慣病の発症リスクを高めることにつながり、また女性特有の健康課題は「睡眠不足」が原因となるリスクが高まることが明らかになっております。

本実証事業では沖縄セルラーが提供するヘルスケアアプリ「JOTO ホームドクター」を活用し、実証企業の女性従業員を対象に睡眠改善プログラムの実証を開始し、対象者を選定します。選定された対象者はACCELStarsの最先端高精度の睡眠測定技術を活用した睡眠改善プログラムの導入と実証を行います。この睡眠改善プログラムはHerLifeLabが設計し、対象者にプログラムを提供することで睡眠改善の効果を期待します。プログラムはHerLifeLabが設計し、対象者にプログラムを提供することで睡眠改善の効果を期待します。プログラムはHerLifeLabが設計し、対象者にプログラムを提供することで睡眠改善の効果を期待します。プログラムはHerLifeLabが設計し、対象者にプログラムを提供することで睡眠改善の効果を期待します。

さらに、対象者の健康状態は、沖縄県内のNaoko女性クリニックにてオンラインで健康相談を受けたいと考えています。

私たちは本実証事業により、睡眠データを活用した睡眠改善プログラムをサービス設計し、多くの企業に提供できる一環としてプログラムを活用いただくことで、女性の健康課題を改善し、女性が生き生きと活躍する社会を創ります。

実施スケジュール

		2022年						2023年		
実施事項		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 参加者募集	1.1 エントリーの募集									
	1.2 事前問診／アンケートの実施									
2. 対象者抽出	2.1 ウェアラブル端末の着用による睡眠データの抽出									
	2.2 不眠症の対象者抽出									
3. サービスの提供	3.1 オンラインセミナーの実施									
	3.2 リトリートプログラムの実施									
	3.3 オンライン相談の実施									
4. 効果検証(睡眠データの抽出／終了時アンケート)	4.1 睡眠データの計測									
	4.2 アンケート実施									
	4.3 睡眠データ分析									
5. 成果報告纏め										
6. 報告										

Our Mind, Timeless

Our Challenge, Timeless

沖縄セルラー

06.

あらゆるトイレの個室にて生理用品を取得可能にするなど
「生理ライフ」を快適にし、生理になる人のモビリティを向上
(代表団体：オモテテ株式会社)

中間報告会資料

あらゆるトイレの個室にて
生理用品を取得可能にするなど
「生理ライフ」を快適にし、
生理になる人のモビリティを向上

オモテテ株式会社

2022.11



実施概要：3施設（本社ビルやコワーキングスペース）にて実証実験を実施予定

実施時期：2022年11月～2022年12月

実施場所：3施設（本社ビルやコワーキングスペース）

対象者：オフィスで働く女性など生理になる方

事前・事後アンケート

事前アンケートでは、職場環境調査及び共通指標についての調査を行います。

事後アンケートでは、サービス体験及び共通指標について調査を行います。

試作機を用いたサービス体験

施設の個室トイレに試作機を設置して、生理用品を取得してもらう体験をしていただきます。

インタビュー

3施設でサービス体験をいただいた方を対象に、合計20名の方に対してインタビューを実施し、アンケートでは抽出できないユーザーの声をより深く詳細に抽出していきます。

事業計画に基づき実施したこと

実証実験の協力先企業との調整

今回の本事業を通じてご協力いただく企業様とのご協力依頼から実証実験に向けた調整の対応をいたしました。

フィジビリティの設定

3施設での実証実験を通じて事前・事後アンケート及びサービス体験いただく方の目標を100名と設定いたしました。

実証実験について

本社ビル (対象となる入居企業は2社) で2日間の実証実験を実施いたしました。
またコワーキングオフィスにて事前イベントの交流会や各施設と実証実験に向けた事前準備をいたしました。

事業を実施してわかってきたことや課題

実証先企業との連携について

実証実験を実施する際に、協力企業だけでなく、その企業のグループ会社が同じビルに入居して実証に協力いただける場合があったり、実際の施設の運用は別会社様が実施されているなど特有の状況があることがわかりました。

トイレの管轄について

実証実験で使用する際のトイレの管轄(許諾)について、実証先施設と直接調整をする場合や、建物によっては実証先施設の運営会社等と別途調整が発生することがわかりました。

実証実験を通じて

11/14(月)の週にて最初の実証実験を実施するため、実証実験を通じてわかったことや課題につきましては口頭にて補足説明いたします。

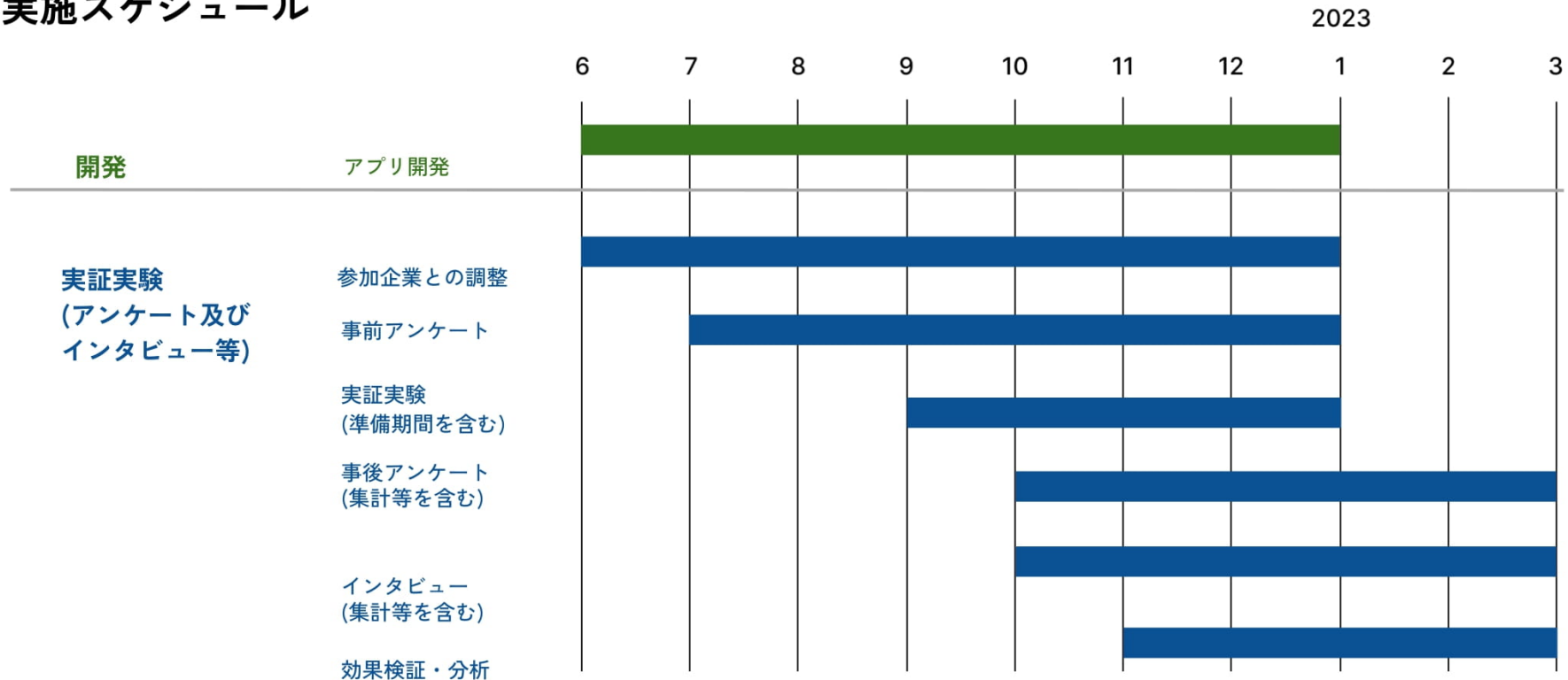


今後実施すること

実施概要

コワーキングスペース2箇所にて、事前・事後アンケート、サービス実験及びインタビューを実施予定です。

実施スケジュール



07.

新入社員向け「女性特有の健康課題に関する
eラーニングプログラム」の開発と検証
(代表団体：株式会社Kids Public)



[産婦人科・小児科オンライン]

令和4年度

フェムテック等サポートサービス実証事業
中間報告

株式会社Kids Public
2022年11月18日

- 1.事業計画（事業目的と実施事項）
- 2.事業計画に基づき実施したこと
- 3.事業を実施して分かってきたことや課題
- 4.今後実施すること



新入社員向け

「女性特有の健康課題に関する eラーニングプログラム」の開発と検証

健康的に働いていく上で、知っておくべき健康情報を
スマホから気軽にどこでも学べるように



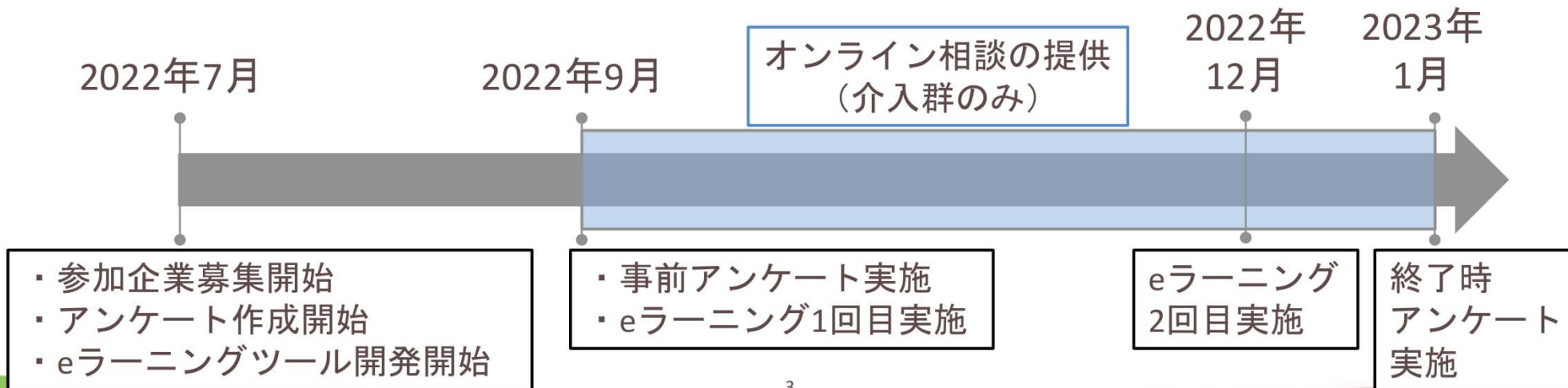
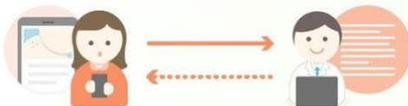
目標参加者数：300名
(対照群含む)

eラーニングツールの開発・提供

- 月経随伴症状、不妊治療、女性特有のがんなど幅広くカバー
- 個別の回答結果に応じて自分に必要な医療・健康情報を取得
- 複数回実施することで知識の定着と行動変容の期待を
- 男性も学ぶことで職場における相互理解の促進に

オンライン相談の自由利用

- 疑問が湧いたら、オンラインで気軽に産婦人科医へ相談可能
- 直接会話できる予約形式 & 24時間送れるメッセージ形式



【eラーニングツールの開発】

- エボラニ株式会社へ開発を委託
- 女性社員用/男性社員用、LINE版/ブラウザ版を用意

【事前アンケートの作成】

- 基本属性、共通項目に加えて独自項目15～18問
- 女性社員用/男性社員用をそれぞれ用意

【参加企業の募集】

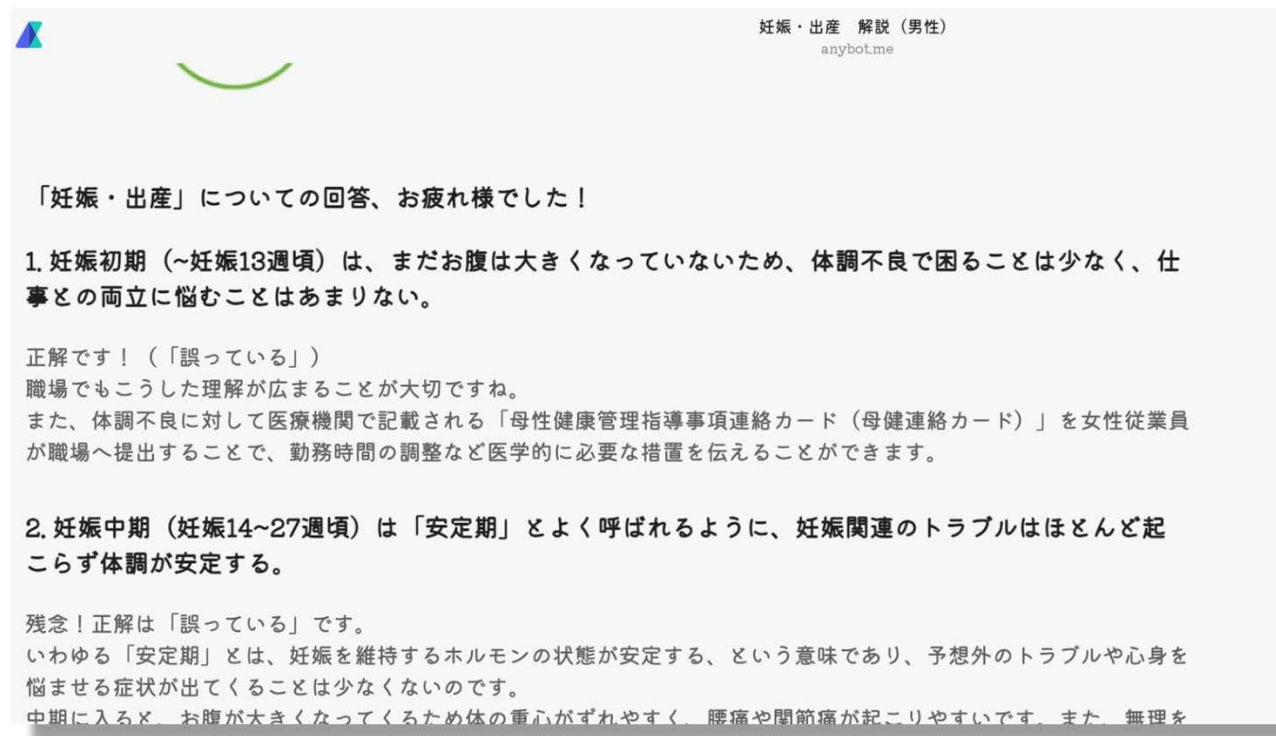
- これまで24社へ提案
- 参加決定：2社（検討中4社、非参加18社）

【eラーニングツールの開発】



女性社員用（月経関連）
LINE版の設問画面（デモ）

男性社員用（妊娠・出産） ブラウザ版の回答画面（デモ）



事業計画に基づき実施したこと

confidential

【eラーニングプログラムの提供】

- 2022年11月から1社に向けて提供開始
- 現在の参加者：8名

【オンライン相談窓口の提供】

- 2022年11月から1社に向けて提供開始
- 現在の利用回数：0回

【eラーニングツールの開発】

- よくある「動画」や「スライド」ではなくテキストベースで作成
 - メリット：簡便に短時間で受講可能、個々にカスタマイズ可能
 - デメリット：「イメージと違う」と参加を辞退された企業も複数あり
- 開発会社に委託
 - 密なコミュニケーションを取ることでほぼイメージ通りに完成
 - 専門知識が必要なコンテンツ部分を社内で完結できることは強み

【参加企業の募集】

- 対象参加者を新入社員（入社3年以内）に限定した
 - メリット：収集データが整いやすい、高い介入効果が期待できる
 - デメリット：事業参加可否にとって最大のハードルとなった（一部のみに導入しにくい、他の社内研修と重なってしまう、など）
- Eラーニングツール開発と参加企業募集を並行した
 - どのようなツールか見せてほしいと言われても対応が難しかった
 - 対応が遅れると「スケジュール的に厳しい」と断られることに

【参加企業の募集を継続】

- 現在検討中の5社へ引き続きアプローチ
- 新規企業の募集をギリギリまで継続

【参加者数を目標値に近づける】

- 対象を拡大して再募集（入社3年目まで→入社5年目までに変更）

【参加者数が少なくなる上での工夫】

- 一部の参加者へデプスインタビューを依頼
- プログラム内容のより詳細な評価ができるよう調整

08.

オンラインコミュニティを使った「女性特有の健康課題や働き方について語り合う」プラットフォームの構築・運用と情報発信事業

(代表団体：株式会社産業経済新聞社)

オンラインコミュニティ「フェムトーク」の 運営およびメディアでの情報発信





事業計画

実施事項		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オンラインコミュニティ「フェムトーク」の構築と運用	企画プランニング	*	*								
	サイトオープン			8/4							
	トークテーマ運用			8/4	9/22「生理」	10/11「更年期」	11/14「妊娠」				
	態度変容調査（アンケート）				*			*			
	定期レポート					*			*		
	データマイニング								*	*	
メトロポリターナでの情報発信	ユーザー獲得施策			8/10 1P	9/10 1P	メルマガ 10/10					
	情報発信			8/10 1P		巻頭特集内	11/10 1P		1P	1P	
	成果測定									*	
産経新聞での情報発信	ユーザー獲得施策			8/5							
	情報発信（知っ得ニュース）							12/16 (金)	1/20 (金)		
	情報発信（記事広告）										3/8予定
セミナーの実施	セミナー実施				事前MTG			募集告知	*		
	成果測定								アンケート	*	



2022.8.4 コミュニティオープン



サークルメンバー
4,275人

45トピック
3,122コメント

2022.11.15現在



2022.8.5 産経新聞 1面社告

女性特有の問題話し合おう
「きっかけ」に新コミュニティ開設

産経新聞社は、インターネット上で会員同士が対話を築きむオンラインコミュニティ「きっかけ」内に、「フェムトークコミュニティ」を開設しました。コミュニティ構築・運営大手のクオンと共同で運営。会員募集しています。

「フェムトークコミュニティ」は、月経・妊娠・出産・更年期など女性が心と体の悩みについて自由に話し合える場をつくり、働く女性の望まない離職を防ぐことを目指します。女性特有の健康課題は、女性の離職の要因の一つになっているにもかかわらず、個人の問題と捉えられがちです。本コミュニティの運営は経済産業省の令和4年度「フェムテック等サポートサービス実証事業」の採択事業の一つに選ばれています。

オープンを記念し、会員登録の上、コミュニティ内でコメントを投稿した人を対象に、抽選で「Amazonギフト券500円分」が100人に当たるキャンペーンを実施します。締め切りは10月14日午後1時。登録・応募はQRコードから。（11面に関連記事）

11面「知っ得News」

働く女性の悩みを気軽に

働く女性がオンライン上でや体の悩みを語り合える「フェムトークコミュニティ」が、産経新聞社がクオンと共同で運営するオンラインコミュニティ「きっかけ」内にオープンした。働く女性が過半数となる中、女性特有の健康問題が理由で仕事や昇進を諦める女性も増えている。コミュニティは、働く女性が健康を長く働き続ける環境づくりの一助となることを目指す。

厚生労働省（令和2年版）によると、元年の女性就業者は前年比44万人増えて過去最高となり、全労働者の44.4%を占めた。ただ、年齢階別の労働力率では、「25〜29歳」85.1%と「45〜49歳」81.4%を左のピークとして、「35〜39歳」76.7%を底とするM字型カーブは解消されつつあるが依然残っている。妊娠や出産が離職原因となっていることがうかがわれる。また、

「きっかけ」内にオープン

労働政策研究・研修機構の周飛客員研究員がNHKなどと同で行った「更年期と仕事に関する調査2021」によると、更年期症状が原因で離職した40〜50代の女性は、約46万人と推計される。

ただ、月経や更年期などの症状は個人差が大きい。順天堂大や症状の出方個人差があるこの西岡英子教授（母性看護学）は、「症状が重い」と仕事のパフォーマンスが下がるとを理解している男性管理職は少なく、同じ女性であったとしても、「甘さ」として学校教育で月経や更年期などについて学ぶ機会が少ないことや、症状の出方個人差があることから、周囲への相談をためらうことがあると話す。

フェムトークコミュニティのトップ画面

フェムトークコミュニティ 検索

「フェムトークコミュニティ」では、働く女性の健康課題をテーマに男女を問わず気軽に語り合える場を創出する。また、企業向けに産業界の派遣や労働アドバイザーをする「さんぎょうい」（東京都新宿区）や西岡教授らの協力を得ながら役立つ情報を発信。ユーザーの投稿を分析し、女性の望まない離職や働きづらさにつながるものが何かを浮き彫りにして、解決の糸口を探る。

「フェムトークコミュニティ」は、産経新聞社が昨年10月から「女性のコロナとカラダのケアを考えよう」という未来につながる「テーマ」に取り組むフェムケアプロジェクトの一環で、登録、参加は無料。詳細はQRコードから。



事業計画に基づき実施したこと②メトロポリターナでの情報発信（フェムトーク）

Fem Care Project フェムトーク

女性のココロとカラダのケアを考え、よりよい未来につなげる「Fem Care Project」。本誌編集長・日下紗代子が、さまざまな人とお話を聞きながら、女性の健康課題や働き方について考えていきます。

text: Sayoko Kusako
photo: Shigeo Kusako edit: Kohai Nishihara (E!Ter)

theme #10

フェムトークコミュニティはじまる！
働くと健康を
みんなで考えよう



メトロポリターナ編集長
日下紗代子

本誌「Fem Care Project」のフェムトーク編集長として、読者の健康課題や働き方について情報発信をしながらかけています。

Fem Care Project
「フェムケアプロジェクト」は、産婦科医が主催する、女性のココロとカラダのケアを考え、よりよい未来につなげる「Fem Care Project」。本誌編集長・日下紗代子が、さまざまな人とお話を聞きながら、女性の健康課題や働き方について情報発信をしながらかけています。

「フェムトークコミュニティ」は年代・性別を問わず広く参加者を募集しています



産婦科医が主催する「フェムトーク」は、産婦科医が主催する、女性のココロとカラダのケアを考え、よりよい未来につなげる「Fem Care Project」。本誌編集長・日下紗代子が、さまざまな人とお話を聞きながら、女性の健康課題や働き方について情報発信をしながらかけています。



本誌編集長
日下紗代子

2020年に産婦科医より編集長として、読者の健康課題や働き方について情報発信をしながらかけています。

2022.8月号P21
フェムトーク1P
さんぎょうい代表
芥川奈津子さん

2022.11月号P27
フェムトーク1P
経済産業省
村山恵子さん

Fem Care Project フェムトーク

女性のココロとカラダのケアを考え、よりよい未来につなげる「Fem Care Project」。本誌編集長・日下紗代子が、さまざまな人とお話を聞きながら、女性の健康課題や働き方について考えていきます。

text: Sayoko Kusako
photo: Shigeo Kusako edit: Kohai Nishihara (E!Ter)

theme #12

「フェムテック」という
ムーブメントが
加速しているワケ



メトロポリターナ編集長
日下紗代子

フェムケアプロジェクト編集長として、読者の健康課題や働き方について情報発信をしながらかけています。

Fem Care Project
「フェムケアプロジェクト」は、産婦科医が主催する、女性のココロとカラダのケアを考え、よりよい未来につなげる「Fem Care Project」。本誌編集長・日下紗代子が、さまざまな人とお話を聞きながら、女性の健康課題や働き方について情報発信をしながらかけています。



経済産業省経済産業政策課
副課長 村山恵子

2020年4月に、経済産業省に入省。2022年より「フェムテック」に関する調査・研究・普及を推進している。

「フェムテック」というムーブメントが加速しているワケ。女性の健康課題や働き方について情報発信をしながらかけています。

「フェムテック」というムーブメントが加速しているワケ。女性の健康課題や働き方について情報発信をしながらかけています。

「フェムテック」というムーブメントが加速しているワケ。女性の健康課題や働き方について情報発信をしながらかけています。

「フェムテック」というムーブメントが加速しているワケ。女性の健康課題や働き方について情報発信をしながらかけています。

「フェムテック」というムーブメントが加速しているワケ。女性の健康課題や働き方について情報発信をしながらかけています。

「フェムテック」というムーブメントが加速しているワケ。女性の健康課題や働き方について情報発信をしながらかけています。



2022.8.4 トークテーマ①「月経」

月経のお悩みやトラブル、我慢している？対処している？

集計期間

2022/9/22～2022/10/6

本企画の狙い

■月経症状や対処の実態を話していただき、他の人の悩みから共感や情報交換を促す。我慢しなくてよいこと、月経トラブルへの適切な対処を知るきっかけを作る。

トピック内での質問

■我慢している人は我慢している理由、対処している人は対処法（婦人科への相談・セルフケアなど）を教えてね。

■お仕事に影響が出ている方は、会社・家族などまわりに相談している？どのように対応している？

■月経トラブルのために退職を考えたことは？または、退職・転職経験はある？

施策反応状況

	投稿数 85件		投稿人数 77名		投票人数 104名
---	------------	---	-------------	---	--------------

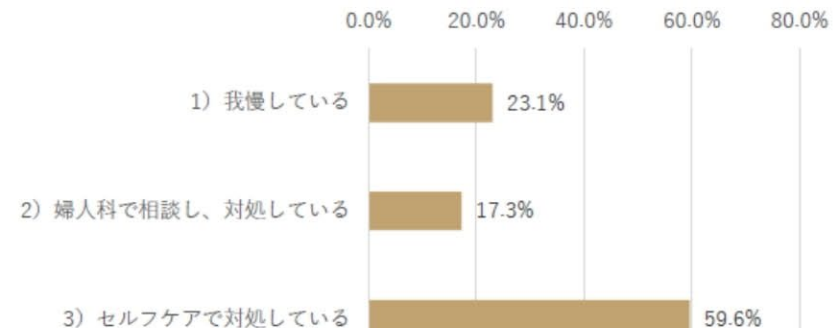
投稿数：本企画実施期間中の発言数

投稿人数：本企画実施期間中の発言人数（UU）

投票人数：本企画実施期間中の投票人数（UU）

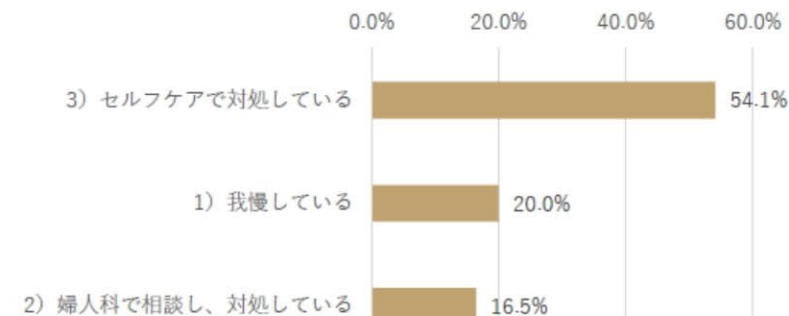
ワンクリックアンケート集計

対処法（n=104）



タグ分類による発言傾向

対処法（n=85）





事業を実施して分かってきたこと：トークテーマの分析

月経のお悩みやトラブル、我慢している？対処している？

セルフケアで対処している

54.1%

市販の**痛み止め**を服用しています。なかなか大きなトラブルがないと、**生理痛だけでは婦人科へ行かない**です。

アイス太郎さん（40代女性）

市販の**鎮痛剤**を飲んで我慢しています。**婦人科へは行きづらい**為

akiakiakimiさん（40代女性）

年々辛くなっている月経痛…今のところはセルフケアしています^^温めると楽になるので、**寒い季節はホッカイロが大活躍**☆

みかさん（30代女性）

ほとんど**我慢してしまいがち**ですが、どうしても痛いときや生理がひどいとあらかじめ分かっている日は**市販薬に頼っています**。

えりさん（30代女性）

我慢している

20.0%

薬を飲んで我慢する。行きつけの婦人科がないし、地元の婦人科はいつも妊婦や不妊治療の人で満員、**病気の確信がないので行きにくい**。

しずくさん（40代女性）

気分の落ち込みやイライラであらかじめ生理中は**そういうものだなあ**とあきらめて仕方ないとしています。**ばななさん（40代女性）**

初日と2日目が痛いのが分かってるので**温めたりしてなるべく我慢**して、痛い波が去るのを待つ。

薬が効かなくなるのでは？といまだに思っていて、**我慢できないくらい酷いときだけ薬を飲んで**います。**はるりさん（30代女性）**

出産して生理が重くなった・・・前までそんなにしんどくなかったから、まだこのしんどさの**対処方法は手探り中**

mamiviolaさん（20代女性）

婦人科で相談し、対処している

16.5%

婦人科で受診しています。**ピルでずいぶん楽**になりました。

みっちゃんさん（40代女性）

婦人科で受診し、**ホルモン補充療法でかなり楽になりました**。併せて身体を冷やさないように心がけているのも良いのかもしれませんが。

みっちゃんさん（40代女性）

ちょっとおかしいと思うと**暫く様子を見て婦人科受診**するようにしています。大体なんともないですが**年齢を重ねてきて不安も多いですから自分の身体を大切にしたい**と思います★

おゆきさん（40代女性）

10代の時はなかなか勇気が出なくて病院に行くのを躊躇っていましたが、**20代になってから婦人科を受診**するようになりました。薬を出してもらえたりして**安心できる**ようになりました。

なっちゃんさん（30代女性）



事業を実施して分かってきたこと：トークテーマの分析

発言ピックアップ：相談してる？

月経のお悩みやトラブル、我慢している？対処している？

している/したことがある
(同僚、家族)

27.1%

仲のいい同僚にしんどい時は相談しています
けいこまりさん (40代女性)

長い友人には理解してもらっている
たみ♪さん (40代女性)

職場には言ったことないです
家族には生理中はイライラしてしまうから、ごめんって言っています
はちゃんさん (30代女性)

家族には相談して家事を手伝ってもらっています。
野菜生活さん (30代女性)

夫には相談し、家事を助けてもらっています。
ナッチさん (50代女性)

していない/したことがない

17.6%

そこまで出てないので話してないです。
人によって重さや感じ方が違うし、男性には理解も
得られにくく難しいですね。
RYOSHIさん (30代女性)

根性で頑張ってる
はいからんさん (50代女性)

恥ずかしいので我慢しています。動きがとろくなりま
す
えりたんさん (20代女性)

薬を飲むタイミングを見誤らなければ影響はほぼな
いです。男性が多い職場なので相談していません。
家族には「しんどいので横になる」ということはあ
ります。
ナヘコさん (40代女性)

している/したことがある
(上司)

10.6%

上司が女性なので話してます。その日は在宅希望だ
してます。
gumgumさん (40代女性)

体調不良まで来ていたら理由を話してます。できな
いことがあります。そうな時は早めに理由とともに説明し
ています。
RYOSHIさん (30代女性)

どうにもならない場合は会社の同僚や上司、家族に
相談している
ゆきしろさん (50代女性)

辛いときは相談して休みます
ことさん (30代女性)



今後実施すること

* 産経新聞での情報発信

トークテーマ②更年期、トークテーマ③妊活のコメントを集計・分析し、順天堂大学の西岡笑子先生に監修いただいた記事を発信する。
産経新聞朝刊12月16日（金）、1月20日（金）予定

* セミナーの実施

さんぎょうい様と協業し、セミナーを実施。
コミュニティの内容を分析し、テーマ・講師を選定。
1月での実施予定。

* 国際女性デーにあわせて 新聞およびメトロポリターナ での紙面特集

3月の国際女性デーにあわせて、実証事業の集大成として
誌面企画を実施する。



2022.8月号 P3 メトロP 1/2枠

09.

就労妊婦等メンタルヘルス向上と離職防止のための、専門家「助産師」とAI(声解析)による継続的なサポート実証事業
(代表団体：株式会社じょさんしGLOBAL Inc.)

就労妊婦等メンタルヘルス向上と離職防止のための、
専門家「助産師」とAI（声解析）による継続的なサポート実証事業



じょさんしONLINE

中間報告資料 2022.11.18

Agenda

1. 当初の事業計画
2. 事業計画に基づき実施したこと
3. 事業を実施して分かってきたことや課題
4. 今後実施すること

当初の事業計画

専門家「助産師」

AI（声解析）



じょさんしONLINE



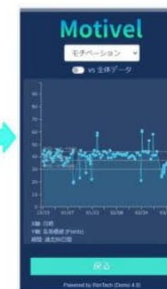
Motivel

声でモチベーションを可視化する
Webアプリケーション

6か国13人の助産師



声だけ、5秒で計測



活動意欲、集中力・注意力、
ヒヤリハットリスクの状態を示す

就労妊産婦のメンタルヘルスに対し、
専門家とAIがリスクの早期発見とうつへの予防効果を発揮
➡ 就労妊婦等のwell-being維持・向上へ（自殺/虐待を防止）

検証事業の4つの柱

就労しながら妊娠・出産・育児する**女性**への **オンライン個人相談**



- 1回30分 × 月に1回程度
- 継続的に専属助産師と

助産師による継続的な関わりで安心を

パートナー向け**セミナー**



- 1回90分
- 参加型のオリジナルセミナー

パートナーの当事者意識の向上を

上司への**1on1ヒアリング**



- 1回30分程度

上司目線から職場環境の実態を明らかに

企業向け **フィードバックセミナー**



- 検証事業内容から得られたことをフィードバック

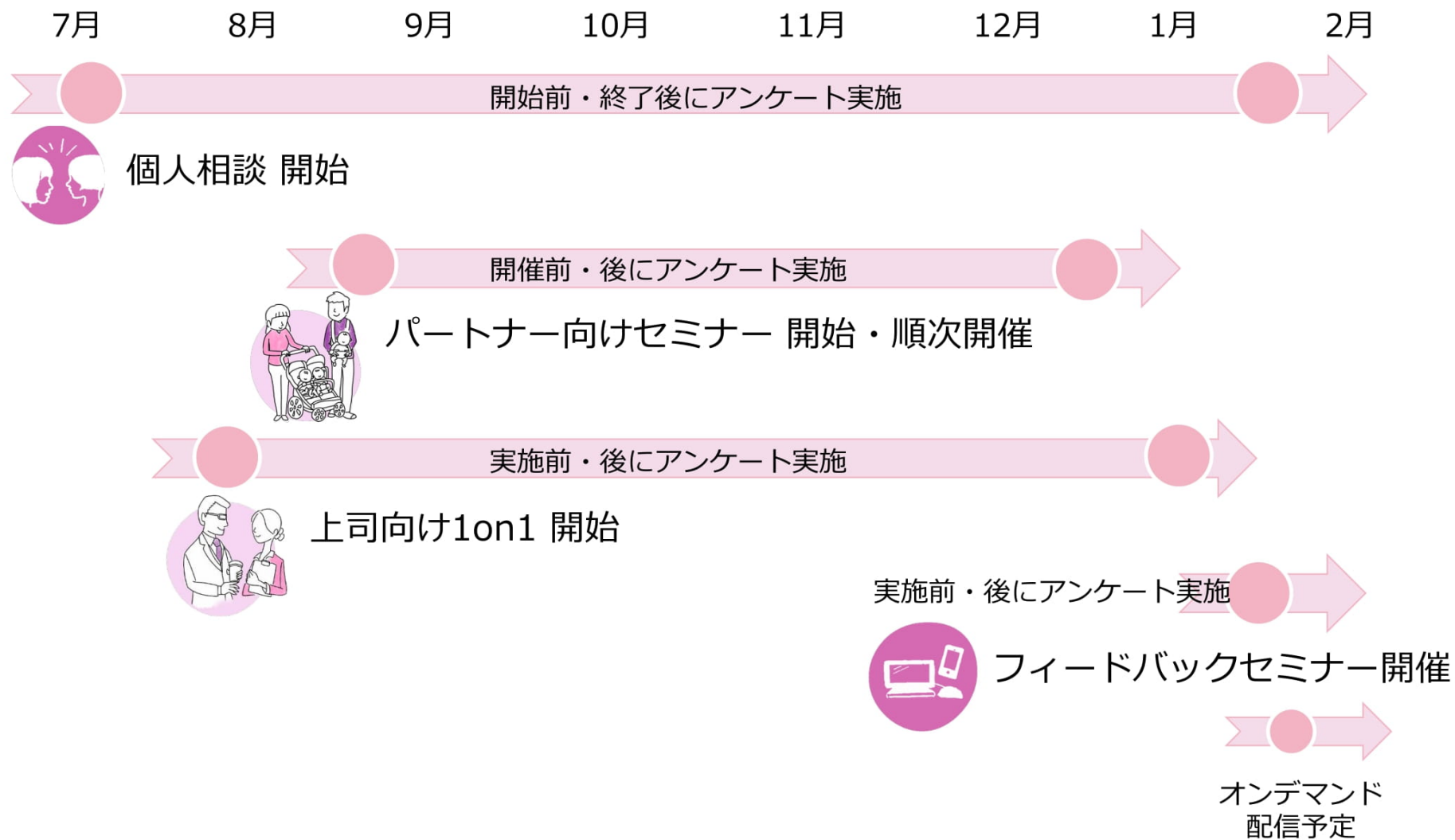
リアルな声を社内の経営層や人事部に

成果 指標

実証事業前後でのアンケートと個別相談毎にAI声解析Motivel数値の検証

- ・ 不安が軽減した参加者の割合
- ・ 声アプリMotive!での感情指数等が維持もしくはプラスに変化した参加者の割合 等

当初の事業スケジュール



実際の実施スケジュール



事業計画に基づき実施したこと



オンライン個人相談

参加目標数：15名 実施計画数：90回

- 8月より順次、継続利用を開始し、現在**21名**の継続利用中
- **延べ50回**の個人相談実施済み
- 音声データをAIにて随時、解析・検証中



パートナー向けセミナー

実施計画数：1回

- 10・11月に妊婦向けセミナー（本事業のために新たに作成）を**2回**開催済み
- 11月以降、産後向けセミナー開催予定



上司1on1

実施目標数：15名

- 9月より順次、アンケート回収・1on1を開始し、現在、**9名**実施済み



フィードバックセミナー

- 2023年1月開催に向け、企業への告知済み
- 各事業の結果をもとにセミナー内容を作成中

実施をして分かってきたこと



オンライン個人相談

- 継続的・定期的な個人相談を実施することで、Motivelのグラフにポジティブな変化（継続利用の効果）が見られてきている。



パートナー向けセミナー

- 「パートナーと改めて話すきっかけになった」や「なんとなく理解しているつもりでも価値観の違いがあることに気付けた」等、“**セミナーを受けて良かった**”との感想が寄せられている。



上司1on1

- 「評価なく聞いてもらえる場があって、心が軽くなった」や「気持ちや考えを口にしたことで、自分の目標を再認識できた」等、“**1on1を行うことの意義**”に繋がる感想が寄せられてる。

実施をして見えてきた課題



オンライン個人相談

- 4つの事業を紐づけていたため、ハードルが高く申し込みに至らない
- 妊婦は、特に悩みや不安がないと感じている人が多い

- 4つの事業の紐づけをやめ、オンライン個人相談のみの利用でも可とした
- 不安ごとがなくても利用によって安心感が得られたという過去データをもとに募集
また、試用できるように単発利用も可とした（結果的に継続利用に移行が80%）



パートナー向けセミナー

- 夫婦ともに就労していることによる、日程調整の難しさ
- 複数回開催。女性のみ参加も可能とした



上司1on1

- 参加女性の直属上司に限定すると、対象がかなり限定されてしまい、協力者が得られない可能性があった。
- 1回30分の1on1では、カタルシス効果を得るのは困難
- 妊産婦・育児中の女性を部下に持ったことのある上司に拡大して実施
- カタルシス効果を得ることを目標とせず、ヒアリングすることに重点を置いた

今後実施すること



オンライン個人相談

- 個人相談の継続（令和5年2月まで）
- 音声解析データの分析と振り返り
- 事前事後アンケートの回収と集計、分析



パートナー向けセミナー

- 産後のパートナー向けセミナーの開催
- 事前事後アンケートの回収と集計、分析
- セミナー内容の振り返り



上司1on1ヒアリング

- 上司1on1ヒアリングの実施
- 事前事後アンケートの回収と集計、分析



フィードバックセミナー

- セミナー内容の作成と実施
- 事前事後アンケートの回収と集計、分析

世界のどこにいても
誰もが自分の心と身体を大切にできる社会の実現を



お問い合わせ



じょさんしONLINE
いろんな出産。さよなら不安。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



弊社の取組にご賛同いただきご参加いただける
自治体様、企業様はこちらにご連絡ください。

Mail: info@josanshi-cafe.com

10.

助産師・保育士が24時間体制で産後の親子をサポートする
産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」ニーズ検証
及び産後ケアの社会認知度向上の実証実験
(代表団体：株式会社水星)

経済産業省フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金中間報告

実証事業の進捗報告

No. 10 産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートの
ニーズ検証及び産後ケアの社会認知度向上の実証実験

テーマ

産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートの ニーズ検証及び産後ケアの社会認知度向上の実証実験

背景

【需要】 時代の変化

- 産～育児において“**他者の支援を頼れない**”女性が増加
- 女性の出産による**キャリアの停止は依然多数**
- パートナーとの知識量や温度感のギャップから**パートナーとの関係性の悪化へと繋がりやすい**

【供給へのアクセス】 供給の不足

- 産後ケア事業が努力義務化されたが、**導入自治体は未だ少数**
- さらに、家族の支援が得られない、経済的援助を必要とする住民の入所を優先するなど対象が絞られ**宿泊型産後ケア施設の利用率はわずか0.88%**

【供給の内容】 必要な支援・ 安全の両立不足

- **行政事業委託型**は、対象が限定的かつ産婦のメンタルケアなど**ソフト面の支援が弱い**
- **民間型**は、高額な費用に加え、民間資格取得者中心の運営など**安全面の課題が存在**

目的

“**専門的知識に基づいた宿泊型産後ケアサービス**”及びその後の**継続的なサポート**の提供が、働く女性の健康課題を解決し、ウェルビーイングの向上、キャリアとライフイベントの両立の実現に有効であることを検証

事業計画内容（実施事項）と進捗

- 実施事項1は、宿泊型産後ケアサービスの利用者、またそのうち継続的なサポートモニター利用者へのアンケート調査で成果を測定。
 - 現在、継続的なサポートのモニター実証開始に向けてアンケート最終調整中
 - 継続的なサポートの準備（体制・システム）は概ね整備完了
- 実施事項2は、オンラインでのアンケート調査及びデスクトップ調査、当該取組の広報活動の結果から成果を測定。
 - SNS発信の内容・キーワードについて検討中
 - 市場ニーズ調査は手法について外注先と調整中

実施事項(大項目)	実施事項(小項目)	実施状況計画値
1. 女性のQOL向上における宿泊型産後ケアサービスおよび継続的なサポートの有用性検証	1.1 宿泊型産後ケアサービスおよびその後の継続的なサポートの有用性調査	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的なサポートモニター利用者数 目標50名 ・アンケート回収数 目標30名
	1.2 顧客満足度調査（NPS）の実施による満足度測定	<ul style="list-style-type: none"> ・NPSスコア9.2以上 (設問及び具体的な数値は今後設定)
2. 業界トップランナーとしての産後ケアの社会認知度向上	2.1 市場ニーズ調査 *在日外国人向け調査含	<ul style="list-style-type: none"> ・利用意向度5pt増 (数値は今後設定、サンプル数は300～500程度を想定)
	2.2 検索キーワードモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・検索ボリューム150%増 (キーワード及び具体的な数値は今後設定)
	2.3 メディア露出・SNS発信による認知拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・インプレッション数100万件 (具体的な数値は今後設定)

事業を実施してきて分かってきたこと

- 継続的なサポートに対するニーズ・期待の高さ
 - 宿泊型産後ケアサービスの入所前アンケートでモニター参加希望を聴取したところ、**80%以上がモニター参加を希望（アンケート対象数48、うちモニター希望が37）**。
 - 宿泊型産後ケアサービスの利用者は、出産後に産後ケアサービスの利用をしていることも踏まえ、帰宅後もサポートを求めている場合が多い可能性が高い。
- 宿泊型産後ケアサービスのニーズの高さ
 - HOTEL CAFUNEは**5月の開業以来、高い稼働率を継続的に維持**。追加の広報施策等をせずとも、サービスの存在を知って利用してくださる方が多数存在。
 - これまで都心からアクセスのよい場所に類似サービスがなかったため比較ができなかったが、宿泊型産後ケアサービスに一定のニーズがあることが判明。

事業を実施して分かってきた課題

- 宿泊型産後ケアサービスの維持・拡大と継続的なモニター実証の並行
 - 宿泊型産後ケアサービスは現在維持・拡大に向けて実証とは別途進行中。
 - 今回実証する継続的なモニターのサービスにおいては、
宿泊型産後ケアサービスの際と同じ助産師・保育士によるサポートが重要なポイント。
 - オンライン相談・面談システムの構築よりも、
現行サービスと並行して実証を行う
体制構築の調整に時間を要した。

事業計画内容（実施事項）と今後の予定

- 実施事項1は、宿泊型産後ケアサービスの利用者、またそのうち継続的なサポートモニター利用者へのアンケート調査で成果を測定。
 - アンケート内容の精査が終了次第（～11月末）、実証開始
 - 1月まで実証を実施、実証前後で参加者にアンケートを行い効果を測定。
- 実施事項2は、オンラインでのアンケート調査及びデスクトップ調査、当該取組の広報活動の結果から成果を測定。
 - SNS発信の内容・キーワードについて検討中
 - 市場ニーズ調査は手法について外注先と調整し、キーワードモニタリングと共に11月中開始を予定。

実施事項(大項目)	実施事項(小項目)	実施状況計画値
1. 女性のQOL向上における宿泊型産後ケアサービスおよび継続的なサポートの有用性検証	1.1 宿泊型産後ケアサービスおよびその後の継続的なサポートの有用性調査	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的なサポートモニター利用者数 目標50名 ・アンケート回収数 目標30名
	1.2 顧客満足度調査（NPS）の実施による満足度測定	<ul style="list-style-type: none"> ・NPSスコア9.2以上 (設問及び具体的な数値は今後設定)
2. 業界トップランナーとしての産後ケアの社会認知度向上	2.1 市場ニーズ調査 *在日外国人向け調査含	<ul style="list-style-type: none"> ・利用意向度5pt増 (数値は今後設定、サンプル数は300～500程度を想定)
	2.2 検索キーワードモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・検索ボリューム150%増 (キーワード及び具体的な数値は今後設定)
	2.3 メディア露出・SNS発信による認知拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・インプレッション数100万件 (具体的な数値は今後設定)

11.

女性特有の出産育児のライフイベントや健康課題を乗り越え
能力を最大限発揮できる新しい時代を実現する
『TOTONOERU®(トトノエル)』を活用したレジリエントな企
業基盤構築支援事業 Ver.1」
(代表団体：株式会社天煌堂)

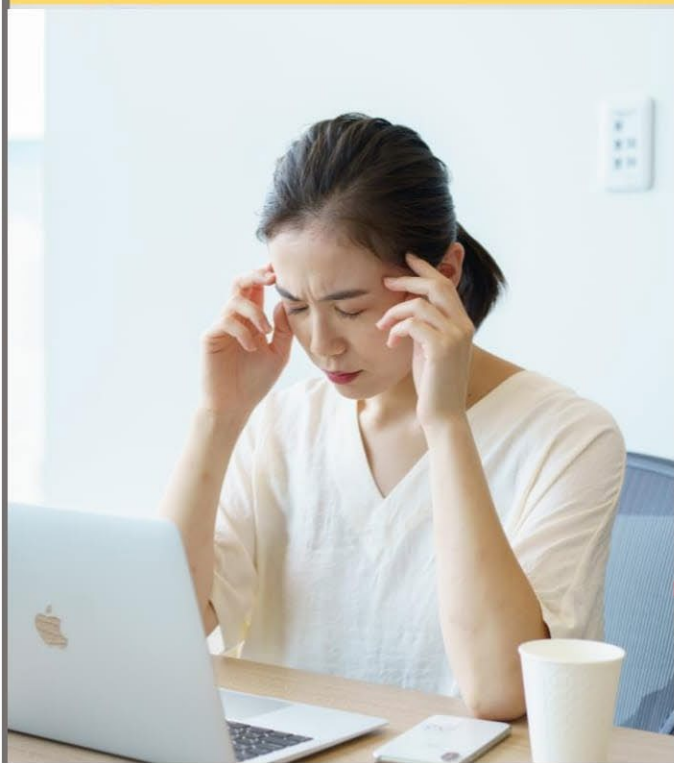
人とチームと企業を 前向きにととのえる

TOTONOERU



個人のコンディションで悩んでいる・不安になっていると後ろ向きな気持ちで時間だけが消費されてしまいます。それはコミュニケーションの悩みやパフォーマンスに影響しお金の悩みにも連鎖していきます。TOTONOERUは個人のコンディションの悩み・コミュニケーションの悩みを“ととのえる”環境を創ります。

個人のコンディションの悩み



コミュニケーションの悩み



連鎖していく

お金の悩み



3か月の短期間で女性特有の健康課題と職場のコミュニケーションを
「着るだけ」「知るだけ」の手間でととのえる
前向きにいきいきと活躍できる環境を創ります

女性特有の健康課題
によるプレゼンティズム

職場のコミュニケーション課題

着ている間にととのえる



起電する機能性衣類
「3e-HARAMAKI」

思考のクセを知りにととのえる

社員の脳と話そう。



脳医科学診断プログラム
「ノウセツ」

個人のコンディションの悩み

女性特有の健康課題による
イマイちな時間
150～300時間/月

手間と時間とリテラシーが
必要な対処方法



着るだけの簡単な方法で
アクティブな時間へ

コミュニケーションの悩み

コミュニケーションを
どうしたら良いか
いつも難しい



自分と相手の思考の癖を
数値で傾向を理解し
円滑なコミュニケーション環境へ

TOTONOERU 実証事業プログラムの全体像（企業及びチームスポーツ）

■プログラム利用前

【アンケート】

- ・ PMS・生理痛症状
- ・ パフォーマンス状況
- ・ 時間の状況

【ノウセツ測定】

- ・ 思考のクセ
- ・ メンタル状況

■実証ターゲット

チーム

18～45歳女性

管理職

PMS・生理痛に
悩んでいる女性

3ヶ月計測

TOTONOERU

3e-HARAMAKI

ノウセツ

■アウトカム

女性のプレゼンティズム改善

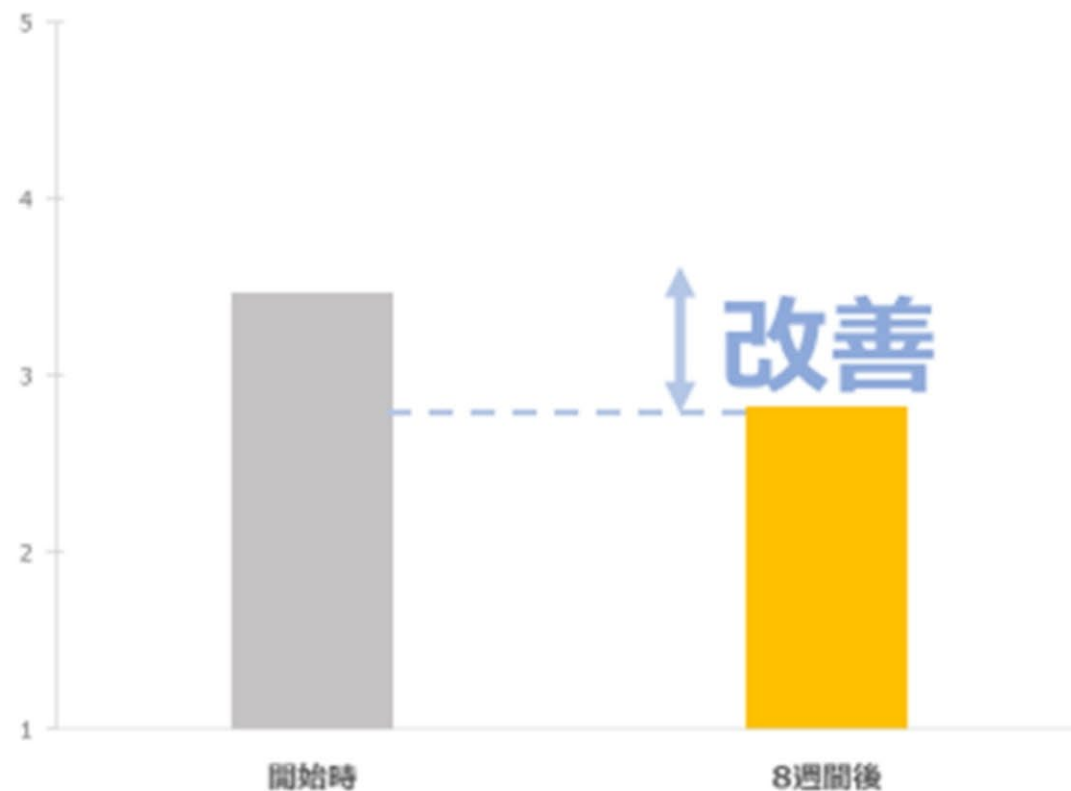
- ・ PMS・生理痛症状の変化
- ・ パフォーマンス状況の変化
- ・ 時間の変化
- ・ 思考のクセの変化
- ・ メンタル状況の変化

実証事業後アウトプットイメージ

イライラ・不安など

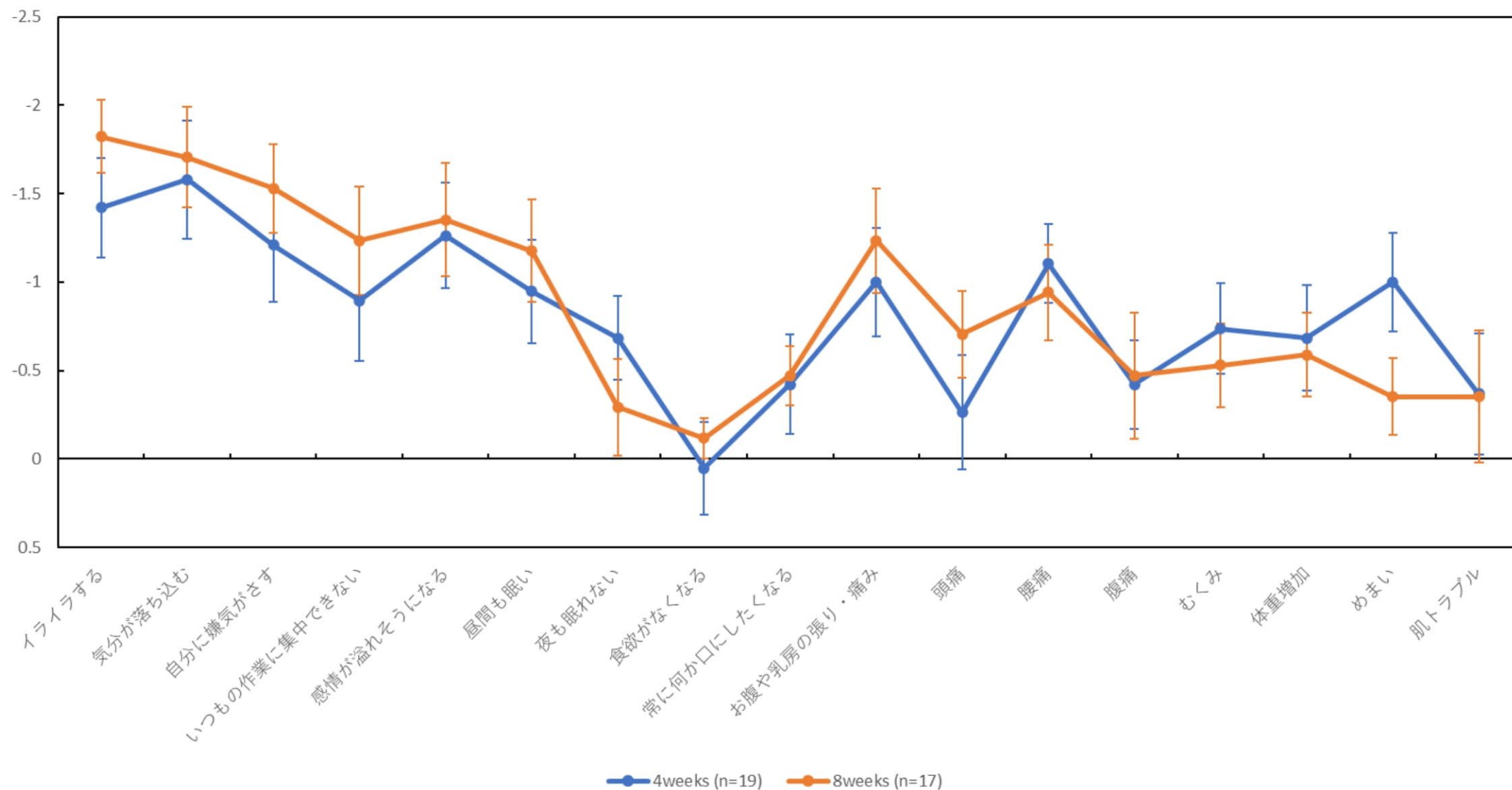


頭痛・腰痛・腹痛



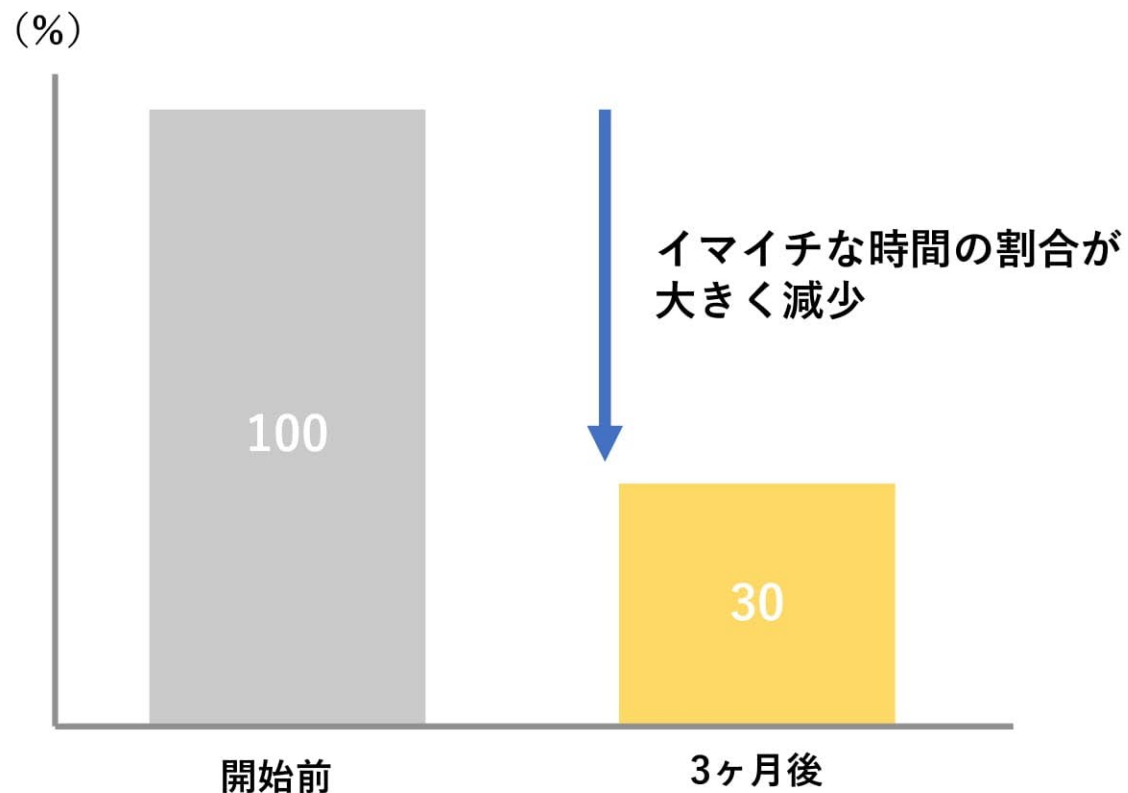
TOTONOERU 症状の変化（全項目）

PMS・生理痛モニター結果

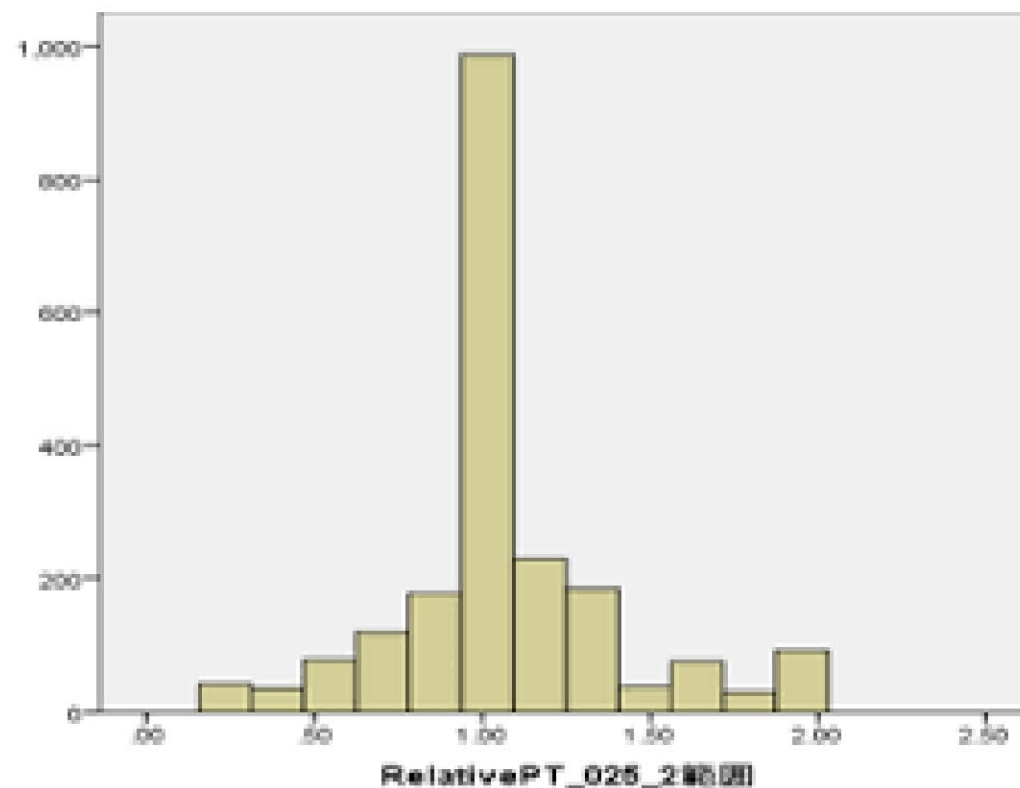


TOTONOERU プレゼンティズム（業務パフォーマンス）

生理・PMSに伴う体の不調が
仕事や日常生活に影響を及ぼす時間



自身の仕事のパフォーマンス（WHO-HPQ）
絶対的プレゼンティズム・相対的プレゼンティズム
分布推移



TOTONOERU 労働損失削減実績（実証実験協力者）

- ✓ 日常生活へ影響が出る時間は1ヶ月あたり、□□時間改善（●●時間→○○時間）
- ✓ 仕事のパフォーマンスは、○○pt改善（○○pt→○○pt）



■対象社員1人あたりの労働損失改善試算額 約○○○万円/年

（前提）

- 45才以下の女性社員：約○○人
- 月経随伴症状の重度社員2%、中度社員17.5%（合計19.5%）と仮定※バイエル薬局調査
- 社員1人あたりの給与を日当○万円と仮定

①1人あたり労働損失試算額（現状）○○万円/年：日当○万円×2.0日×（1-65%）×12か月

②1人あたり労働損失試算額（TOTONOERU利用後）○万円/年：日当○万円×1.07日×（1-85%）×12か月

③1人あたり労働損失試算額計○○万円/年：①-②

④対象社員数想定○○○人：想定女性社員○○○人×月経随伴症状重度/中度社員19.5%

⑤全社の労働損失改善ポテンシャル約○○○○万円/年：③×④

TOTONOERU アウトプットイメージ：思考のクセを知りとのえる（個人）

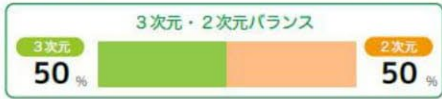
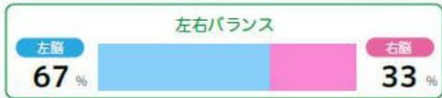
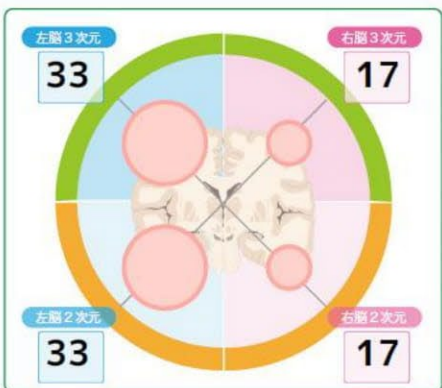
思考のクセ

B-Brain テスト結果表

氏名	201128_3500	日付	2022-06-09	アカウントID	USR37331
----	-------------	----	------------	---------	----------

1 あなたの脳タイプは

左脳全体優位タイプ



あなたの脳タイプ解説

論理思考を持ち、ルールを重視し、計画的に物事を遂行できるタイプです。問題を解決できる能力を持ち、組織のリーダーとなれる人です。反面、新規性にはやや欠け、人脈作りは得意ではありません。

留意：
妥協が苦手、人からのアドバイスは聞き入れない傾向があるので、ご注意ください。また、自分の理想と合理性を重視するあまり、周囲から人間味が無いと敬遠されてしまう可能性があります。

～アドバイス～
喜怒哀楽の内の喜、楽を時にさらけ出すことも人間関係の潤滑剤となることもあるので意識してみましょう。
自分の目的を遂行していく上で協力者は欠かせません。特に人への配慮を心掛けてください。

左脳 言語や論理、計算や時間に関連する大脳の領域

右脳 情緒や感性、視覚や音楽などに関連する大脳の領域

3次元脳 自分を中心に捉え、全体を俯瞰した情報処理を行う

2次元脳 相手を中心に捉え、詳細な情報処理を行う

★4つの基本脳タイプ

左脳 3次元 合理主義派
知識を統合して考え方を導き出す脳の領域
論理力に秀でた性格を特徴とする。本質を捉え、遠景より結果を重視する。

幸せを感じる時
・習熟した知識を生かせる時
・エッセンスとして取り出せる時

苦手とする状況
・習熟を要しない知識の習得
・場当たり的な対応や判断、調整や仕舞い

左脳 2次元 経理主義派
言語の中枢、豊富な知識を蓄える脳の領域
データを詳細に解析し、行動を決定する脳の使い方。細かい作業やルーティンワークが得意。

幸せを感じる時
・ルール通り、スケジュール通りに進んでいる時
・数値で行動を定めてきた時

苦手とする状況
・習熟が不要な知識の習得
・場当たり的な対応や判断、遠景や調整

右脳 3次元 想像主義派
空間認識、注意力に関係し、行動を促す脳の領域
自分の人間関係や環境を把握し、知覚に優れ、人間関係や働きぶりについてパワーを持っている。

幸せを感じる時
・新しいことを始める時
・目標を設定している時

苦手とする状況
・知識の習得や整理などを受けるとき
・古い習慣を押し付けられる時

右脳 2次元 感情主義派
感情、視覚記憶、音楽に関係し、情緒に動く脳の領域
人の気持ちを察することが得意で、深い人間関係を築ける

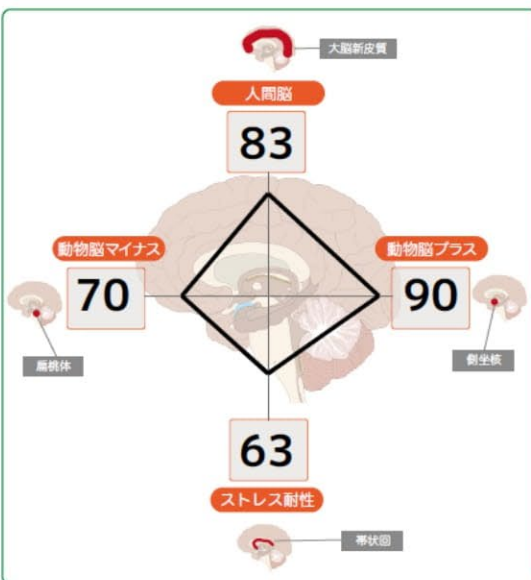
幸せを感じる時
・自分の感情が尊重されている時
・人から愛される時

苦手とする状況
・理解や尊重が得られない時
・相手の言葉が定しめたり、目標を合わせる時

メンタル状態

B-Brain テスト結果表

2 あなたの脳活用度



3 あなたのストレス耐性

中

現在のあなたは標準的なストレス耐性の状態です。多少のストレスには適応できますが、過度のストレスや自身の苦しい状況下では対応に戸惑いや不安や焦り、イライラを感じる可能性が指摘されます。

一日の生活の中に深呼吸（※目を閉じて、特に吐くことに意識を向ける）を繰り返して取り入れましょう。出来事に対してあまり、良い悪いと評価せずに脳タイプの結果を参考に自分の得意な脳の使い方を活かすようにしていきましょう。

ストレス耐性 標準値 70以上
ストレスにどれだけ耐えられるかという指標。ストレスに対する感情のコントロールレベルと変化への適応度を示す。

動物脳プラス 標準値 70-80
情動や食欲、性欲など本能に関わる、本能的な使い方。適切に使われれば、脳の発達を促すとても大事な機能になる。

動物脳マイナス 標準値 30以下
ストレスに対して、攻撃的（イライラ・怒りなど）または逃避的（不安・悲しみなど）になる感情的な反応。プラスに働けば、人に対して協力的になったり思いやりを持ったりできる。

人間脳 標準値 70以上
人や社会の役に立てよう自他を育てる力。人としての生き方、人間性を学び、寛容さ、協調性、ポジティブシンキングなどを意識して身に付けることで脳の「強み」を活かす基盤になる。

上記4項目が理想値になると

- 集中力、発想力、洞察力が増加する。
- 対人関係がより円滑する。
- 自己実現が可能となりやすい。
- 健康な状態が保たれる。
- 仕事のパフォーマンスが向上する。
- 強く、しなやかな精神の持続。
- 困難に打ちあつた力が発揮する。
- など

用語解説

帯状回
大脳辺縁系の各部位を結びつける役割を果たしており、感情の形成と処理、学習と記憶に関与を持つ。
活性すると感情の起伏や過度な本能的欲求を抑制すると報告されている。
機能が低下すると上記と逆作用となる。
瞑想を行うと活性化することが証明され、注目が集まっている。

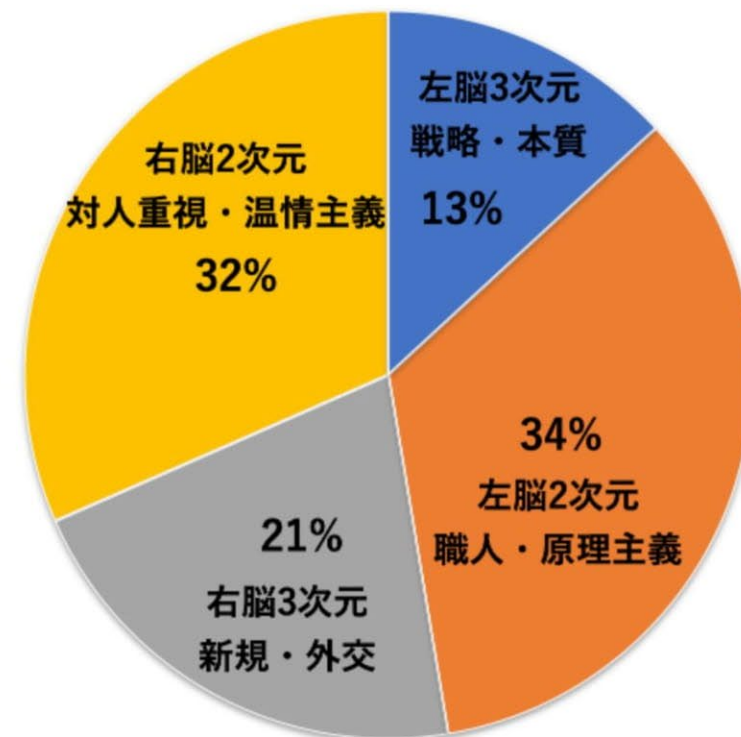
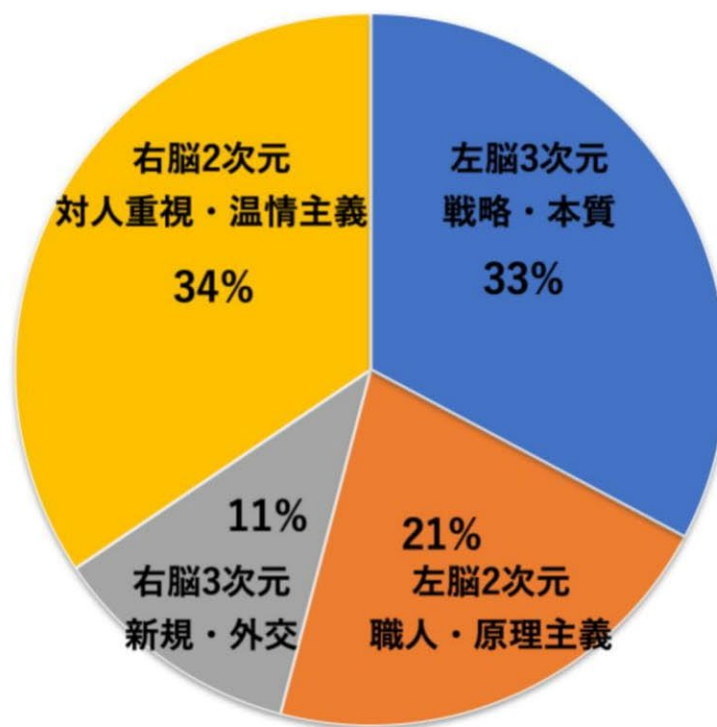
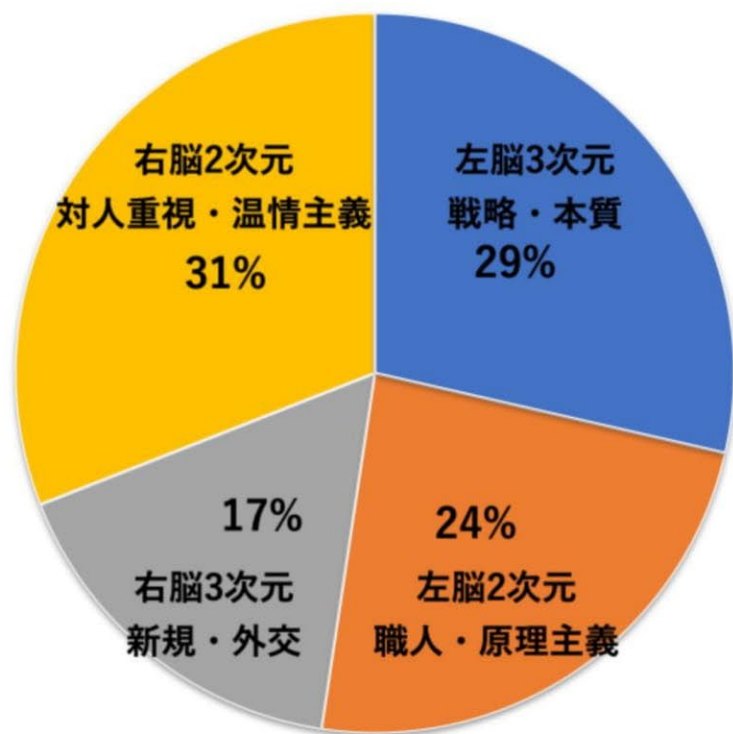
側坐核
前頭連合野を助け 行動意欲に繋げる役割をする。ドーパミンに関連する部位のため一般的には「やる気」を出させることでも有名だが、報酬系、快楽依存、不安などにも関連していて複雑な特性をもつ。

扁桃核
情動的な出来事に関連付けられる記憶の形成と貯蔵における主要な役割を担う。
喜怒哀楽、恐怖、逃避、攻撃など多岐にわたる情動に関連している。

大脳新皮質
高等動物が発達しており、特に人間は顕著に発達している。
言語機能や情報収集・分析、思考、推理など知性を司る領域。

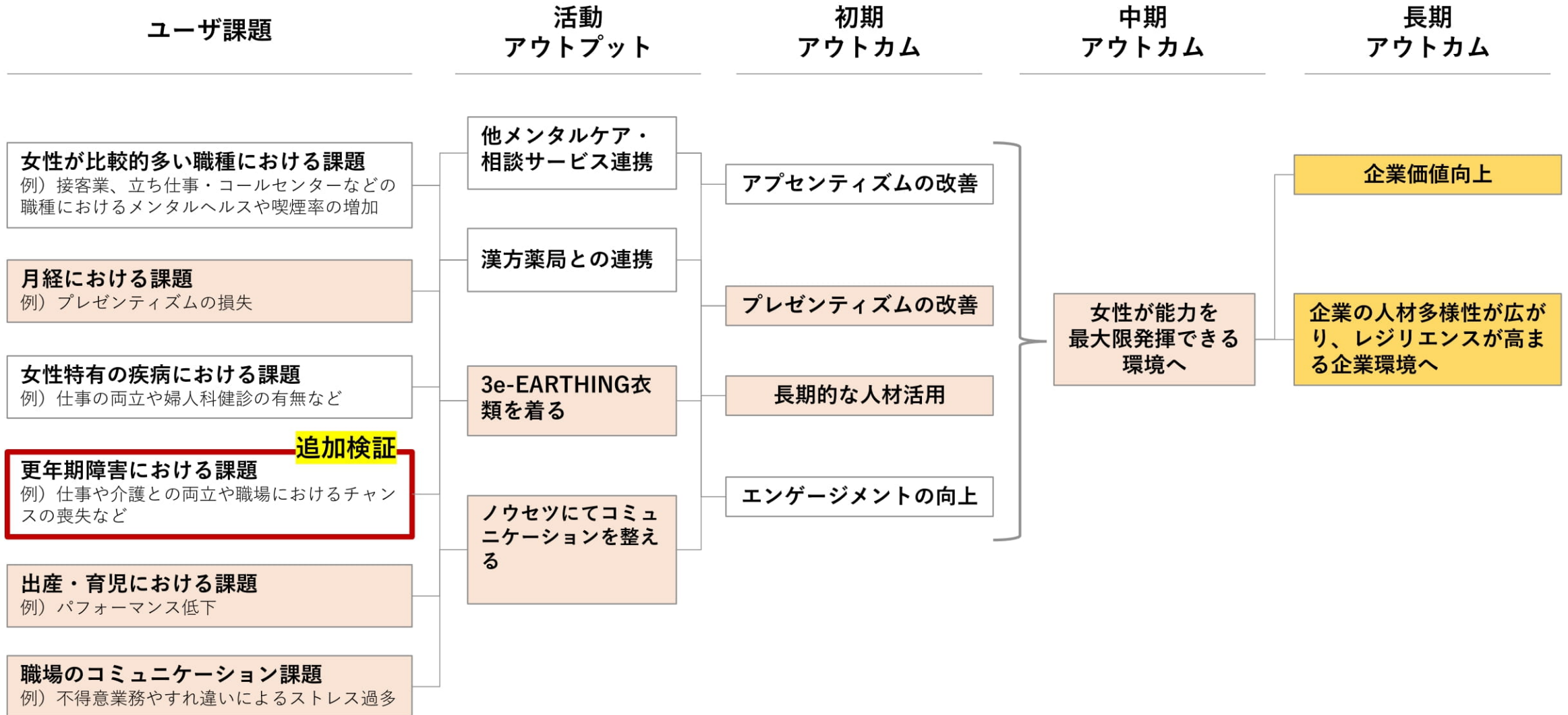
BIOLT 株式会社バイオエルティ
TEL 050-3775-9315
URL http://www.biolt.co.jp

TOTONOERU アウトプットイメージ：思考のクセ（チームメンバー比率）



事業計画に基づき実施した内容について

月経における課題、出産・育児における課題、職場のコミュニケーション課題に対してソリューションを提供。
更年期障害における課題において、3e-HARAMAKI利用ユーザの声と協力企業からの声から追加検証を実施予定。

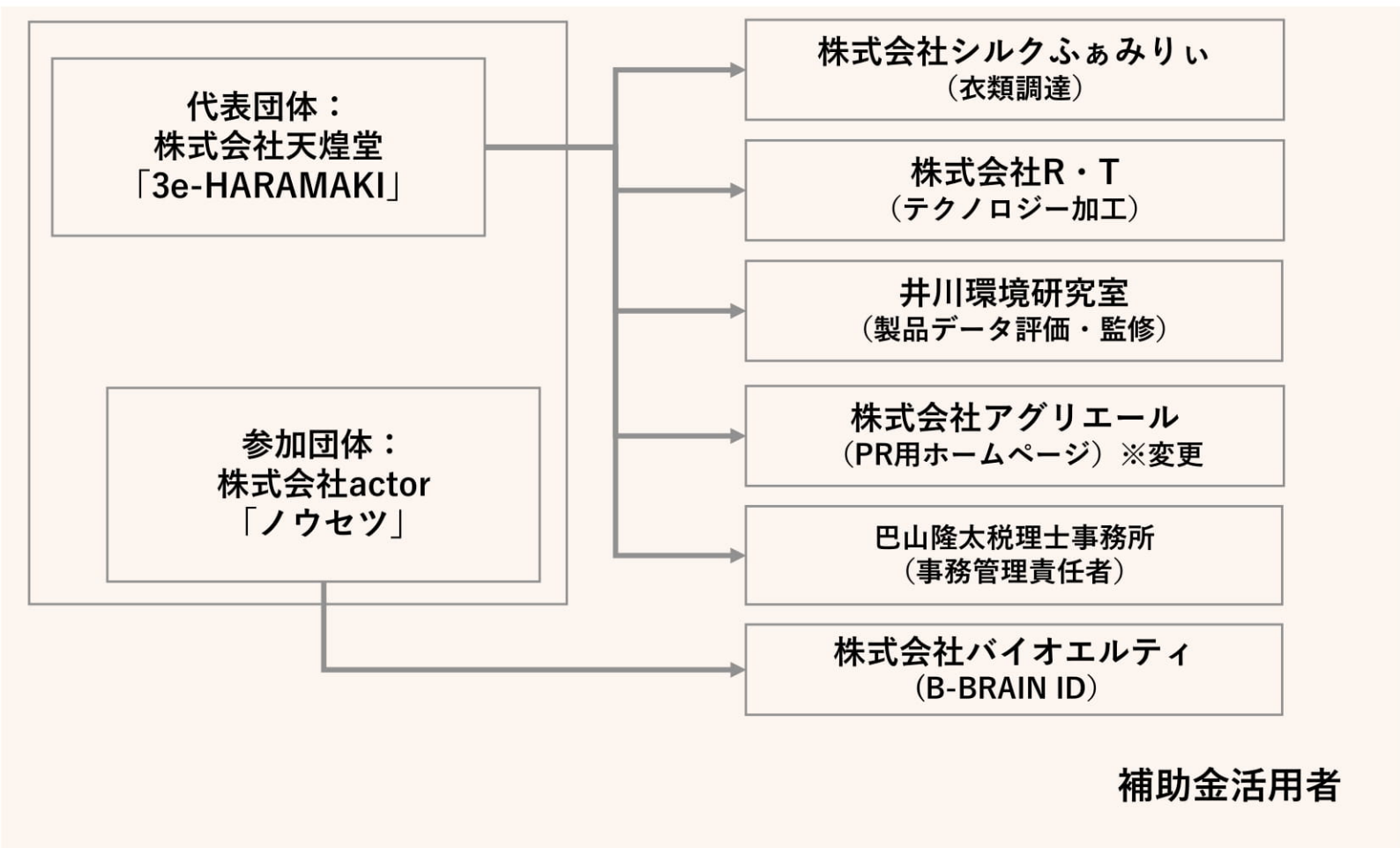


職種・組織体制の多様性を考慮し協力企業の開拓し、営業・接客・運用の対面でのコミュニケーションが必要な企業、コンディション・コミュニケーションがより重要なプロスポーツチームでの実証事業を進めています。

補助事業者（コンソーシアム）

業務委託・外注先

協力企業（実施中） …採択後開拓企業



★CIC Japan合同会社	日本生命保険相互会社
★VentureCafe TOKYO	福岡県飯塚市
bokksu	マックスバリュー ヴィクトリーナ姫路
アストラゼネカ	トラパンツ
coe	ベルシステム24

10団体：N数 125予定

事前調整

- ・ 企業担当者への趣旨説明
- ・ 窓口担当者の設定
- ・ 協力者の調整
- ・ STEP0の日程調整

STEP0

- ・ 協力者向け趣旨説明
- ・ 連絡用公式LINE登録

(オンラインでの説明)

STEP1までに
ノウセツ登録

STEP1 (開始)

- ・ ノウセツセッション
- ・ PMS・生理痛アンケート
- ・ 3e-HARAMAKI配布

(リアルでの集合研修)

STEP2 (3ヶ月後)

- ・ ノウセツ登録
- ・ PMS・生理痛アンケート
- ・ データ集計



協力者募集ポスター

経済産業省
フェムテック
サポートサービス

TOTONOERU

実証事業モニター募集！



■実証事業モニター募集概要

PMS・生理痛によるイマイチな時間を「着るだけ」で前向きな時間に変換する「3e-HARAMAKI」、コミュニケーションを思考のクセを理解することで整える「ノウセツ」この2つで人とチームと企業をととのえることを実証するモニター協力となります。

■モニター実施内容

期間：3ヶ月間（11月末～2月末） 対象：18歳～45歳女性
実施内容：3e-HARAMAKIの着用、ノウセツの実施、各種アンケート

モニター特典（モニター後そのままプレゼント）

01

身につけている間にととのえる
「3e-HARAMAKI」



身につけている間にととのえる
3e-HARAMAKI
(オールシーズン用)
ロングタイプ 2枚
15,800円相当分

02

思考の癖とメンタル状況を数値化し
自分と相手を理解する「ノウセツ」

社員の脳と話そう。



思考のクセを理解する
「ノウセツ」
2回分
10,000円分

リアルでのノウセツセッション・3e-HARAMAKIお渡し



事前調整

- ・ 企業担当者への趣旨説明
- ・ 窓口担当者の設定
- ・ 協力者の調整
- ・ STEP0の日程調整

調整に時間がかかる
 ・ **協力者の調整**
 手を挙げるのにPMS・生理痛がしんどいと周りから思われてしまうのが嫌かも
 ・ **集まる日程の調整**

・ 本商用時はPMS・生理痛だけでなく女性全員へ導入することを提案
 (更年期も検証が必要)

STEP0

- ・ 協力者向け趣旨説明
- ・ 連絡用公式LINE登録

STEP1までに
 ノウセツ登録

・ ノウセツ登録がSTEP1までギリギリにならないとされないケースがある
 (セッションまとめまでの時間が足りなくなる)
 ・ **全員が参加できない**

・ STEP0内でノウセツを実施していただく
 ・ 趣旨の簡易説明動画を作成し欠席者へ展開する

STEP1 (開始)

- ・ ノウセツ全体セッション
- ・ PMS・生理痛アンケート
- ・ 3e-HARAMAKI配布

・ ノウセツセッションにて質問がそれほどでてこない
 ・ 個別質問が後ほどくる
 ・ **全員が参加できない**

・ ノウセツの個別相談会を企画する
 ・ ノウセツの個別相談については有償で検証する

STEP2 (3ヶ月後)

- ・ ノウセツ登録
- ・ PMS・生理痛アンケート
- ・ データ集計

実証実験完了後
 精査

課題

対策実施



起電する機能性衣類
「3e-HARAMAKI」

ユーザーの声は「いつもよりがんばれてる感じです」との声を受けたりポジティブな声を頂いております。サンプル数は少ない状況ですが1ヶ月目の症状アンケートに関してPMS・生理痛が強いと思っている人と症状毎のデータの相関が強い「気分が落ち込む」「頭痛」「腹痛」「めまい」のスコアが減少していることを確認できています。

社員の脳と話そう。



脳医科学診断プログラム
「ノウセツ」

「分析があまりに的を得ており、改めてノウセツの凄さを感じました。この情報は本実証管理者に共有をさせて頂くと同時に人事課にも提供を考えています。」

TOTONOERU 今後実施すること まとめ

サポート範囲の拡大	更年期症状に対する効果検証（3e-HARAMAKI） 検証期間は約1ヶ月程度
協力企業の開拓調整	11月末まで引き続き調整予定
プログラム実施内容	■ノウセツ部分 ・STEP0にてノウセツをそのまま実施 ・個別相談会を企画する ・オンラインでSTEP1（ノウセツセッション）を試行する など
本格導入に向けて	各協力企業へヒアリングを実施していく

12.

未病状態のからだケア

素材～製品・サービス異業種連携でのワークショップを通じた

行動変容プログラムの提供

(代表団体：東レ株式会社)

令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業
中間報告資料（11/18）

未病状態のからだケア

素材～製品・サービス異業種連携での
ワークショップを通じた行動変容プログラムの提供

当初の事業計画

実施事項			2022						2023		
項目	目的	内容	7	8	9	10	11	12	1	2	3
準備	適切な被験者の抽出	アンケート実施	▶								
	生活情報記録開始	キックオフの実施	▶								
ワークショップ ①	セミナー実施	S R H Rとフェムテック		▶							
	座談会実施 各社リソース提供 正しい製品知識の習得	医療D X		▶							
		痛みのコミュニケーション		▶							
		機能性化粧品		▶							
		女性ホルモンと健康		▶							
ワークショップ ②	課題の抽出・体験シェア	アンケート実施			▶						
	製品・サービス体験	希望者に実施			▶						
	顧客生涯価値の評価	アンケート実施			▶						
	全体寄り添う環境づくり	各企業へのフィードバック						▶			
システム	D W Pの要件定義	記録項目の設定		▶							
		課題抽出、価値評価						▶			

事業計画に基づき実施したこと

セミナーと座談会からなるワークショップ①を実施（8月～10月）

担当	区分	対象者	満足度	NPS
ネクイノ	セミナー SRHRとフェムテック	110	8.5	18%
ネクイノ	医療DX	18	8.8	28%
PWS	CBDとは何か	18	8.9	28%
東レ	痛みのコミュニケーション	15	8.2	6%
あすか製薬	ホルモンと女性の健康	18	8.7	49%
(新規協力団体として参加)				
シミック	セルフ検査・行動プラン検討プログラム	10	8.4	37%

Q:ワークショップを受けたことであなたにどんな変化がありましたか？

- CBDは利用の仕方ですら女性の悩みを解決する手段の一つとなりうることを知った。
- 月経について話す機会はなかなかないので、座談会でお話する機会があり、共感を得られることで心が穏やかになった。
- イライラしていると自分が嫌になることが多いけど、ホルモンのせいだと考えて自分に優しくなれそうです。また、多くの方が年代に応じて様々な悩みを抱えていて何か力になりたいし、社会全体の理解が生きていきやすい社会を作っていくと感じました。

事業を実施してわかってきたことや課題

課題

- 業務時間中にセミナー参加時間を取れない。自己啓発的であり優先度が下がる。
- アーカイブ視聴も業務時間には割けないが、セキュリティ上、会社PCから個人PCへアーカイブリンク先を転送することができない。
- 徐々にリアルタイム参加者が減少、受け身型の印象
- 自身の職場環境・適合性を狭い視野で考えがち
- 社内での「フェムテック」普及・浸透度がまだ低い

対策

参加率アップ

- せめてランチ時間での開催が良いか
- 上司の理解も必要であり、前半の振り返りと後半の予定を上司へも共有（東レ実施⇒各社へ結果共有・展開）

コンパス表示

- 各取り組みの目的を明確に参加者に伝える（準備中）

普及・浸透

- 労務主導による、フェムケアに対する全社啓もう活動（月曜朝の定例会で、PWS担当者よりフェムケアの重要性についてプレゼン）
- 上記を受け、労務で今後社内福利厚生の一環としてフェムケアを導入するか検討を開始（PWS）
- 既にあるコンプライアンスや人権啓発教育へ組み込み、フェムテック関連を普及・浸透（東レ）
- 1期生である今年度の参加者からどう次へ広げていくか、参加者からキーパーソンを選定し、広い目線を20代から気づける仕組みづくりの検討を開始する

今後、実施すること

- ワークショップ②（製品・サービス体験）、DWP要件定義

実施事項			2022				2023		
項目	目的	担当	9	10	11	12	1	2	3
ワークショップ②	自分を知る（ストレス:コルチゾール）	あすか製薬メディカル		▼毛髪採取 1回目			▼毛髪採取 2回目		
	自分を知る（エストロゲン/プロゲステロン）	あすか製薬メディカル		←→			黄体期 での2回の唾液採取	月経期	
	相談する（オンライン健康相談）	ネクイノ		←→					
	体験する（ピル処方）	ネクイノ		←→					
	体験する（CBD）	PWS		←→					
	行動する（自己採取HPV検査）（仮）	シミックソリューションズ		←→					
システム	DWP要件定義（記録項目等）	東レ	現状把握▼	←→					
医療監修	安全性確保・本質課題抽出	MFC、滋賀医大		※要協議					

- 行動変容を促す交流イベント（新規）

日時：2022年12月22日 オンサイト開催

本事業の医療監修担当の一般社団法人メディカル・フェムテック・コンソーシアム
松本玲央奈先生（産婦人科専門医）と参加者同士のリアル交流会

13.

データ収集プラットフォームを通じた
企業のフェムテック導入促進事業
(代表団体：株式会社nanoni)



経済産業省 令和4年度
フェムテック等サポートサービス実証事業

「データ収集プラットフォームを通じた企業のフェムテック導入促進事業」

フェムテック利用動向調査2022

目次

1. carefull事業概要（再掲）
2. 本実証事業の目的・狙い（再掲）
3. 7～9月の主な活動状況
4. セールス&マーケティング結果概要
5. セールス&マーケティング結果詳細
6. 3カ月間の活動を通じたの考察・課題
7. 残り実証期間の活動指針・スケジュール

carefull事業概要

carefullのご紹介

企業の女性活躍推進を3つのアプローチで支援



セミナー

管理職向けや男性・女性当事者向けなど
多種多様なトピックを用意



匿名コミュニティ

プライバシーを守りながら、
当事者同士が繋がれる仕組みを提供



福利厚生

働く上で必要なヘルスケア
サービスの割引特典・費用補助

本実証事業の目的・狙い

実証事業の背景

企業の悩み



女性活躍推進について、何から手をつけたらいいか分からない



女性の健康課題支援の管轄が、D&Iなのか健康経営なのか社内整理が必要

女性活躍推進の全体像が整理できていないので施策化に至らない

フェムテック事業者の悩み



どんな企業にアプローチしたらいいか分からない



どんな導入メリットを訴求したらいいか分からない

経営課題のどこに紐づくかが曖昧な状態で営業活動を行うので、導入検討の優先度を上げることができない

このギャップを埋めるのが本事業

実証事業のゴール

現状

- 企業側の女性活躍推進の全体像整理ができていないのでフェムテック活用に至らない
- フェムテック事業者が営業をしても、導入検討の優先度を上げることができない

企業のフェムテック導入が進まない

実証事業

事業後

- どういう事業フェーズ（ビジネス規模、組織風土、予算）になればフェムテックの導入を現実的に検討できるのか可視化
- フェムテック導入を検討する企業にとっての参考情報の提供

他社の状況を踏まえて検討可能に

あらゆる企業が適切なタイミングにフェムテックを導入できるようにすることで、
フェムテック市場全体の拡大に寄与する

実証事業の効果検証

1 企業1,000社へのヒアリング実施

- フェムテック関連サービスの導入率
- 企業属性：業界、従業員規模
- 導入理由：採用、健康経営の加点、コーポレートガバナンスコードへの対応 など

2 carefullを通じた プレゼンティーズムの改善

carefullの導入前と導入後に、11問の共通指標でアンケートを実施

共通指標①：仕事ぶりについて

共通指標②：健康課題とキャリアについて

中間報告の位置づけ

実証事業開始から9月末時点迄、「女性の健康課題」に対する企業の取組について、電話などの手段で1,000社以上の企業にヒアリングを試みた。本中間報告はヒアリング結果を基に、企業がサービス導入を検討する際の状況についてデータ化した。

尚、最終報告では、国内のフェムテック企業がより多くの「導入意欲の高い」法人を探し出し、導入をしてもらうための営業活動に参考となる情報を中心に作成予定。

7～9月の主な活動状況

電話ヒアリング実施方法

アプローチ企業選定基準

今回アプローチした企業はオンライン上に公開されている情報を基に、過去に女性活躍推進に関して政府等から公的な認証（えるぼし認定、なでしこ銘柄、健康経営銘柄など）を受けている企業を約33,000社ほど選定し、そこから電話でのヒアリングに応じていただける可能性の高い企業群を1,000社抽出。

※ヒアリング可能性の高そうな企業の抽出基準（一部）

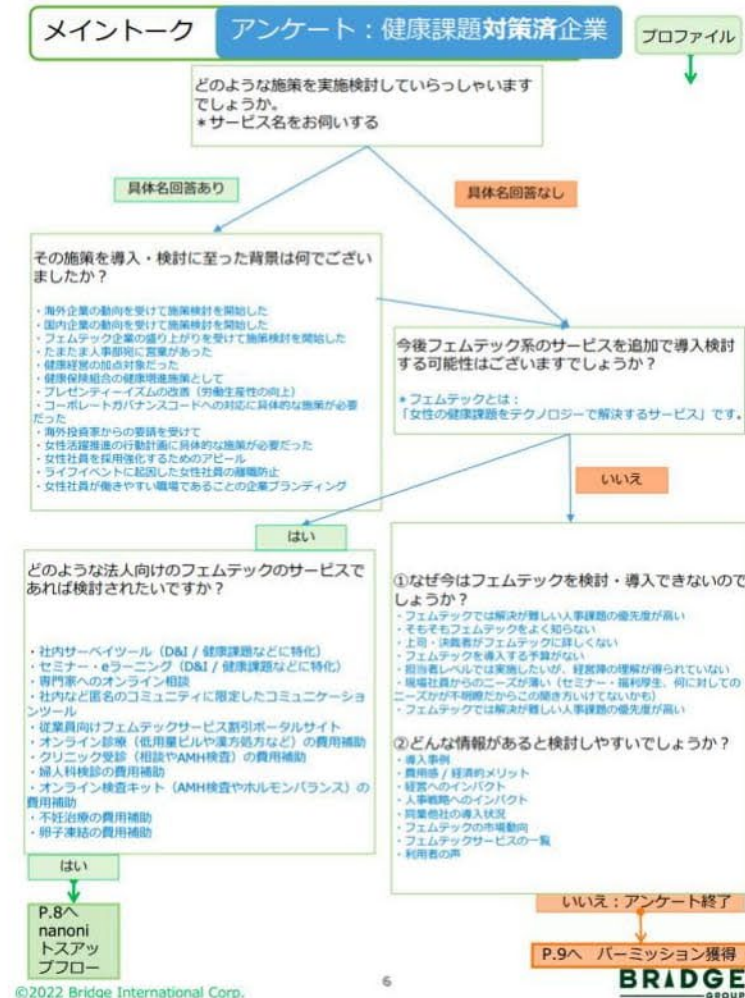
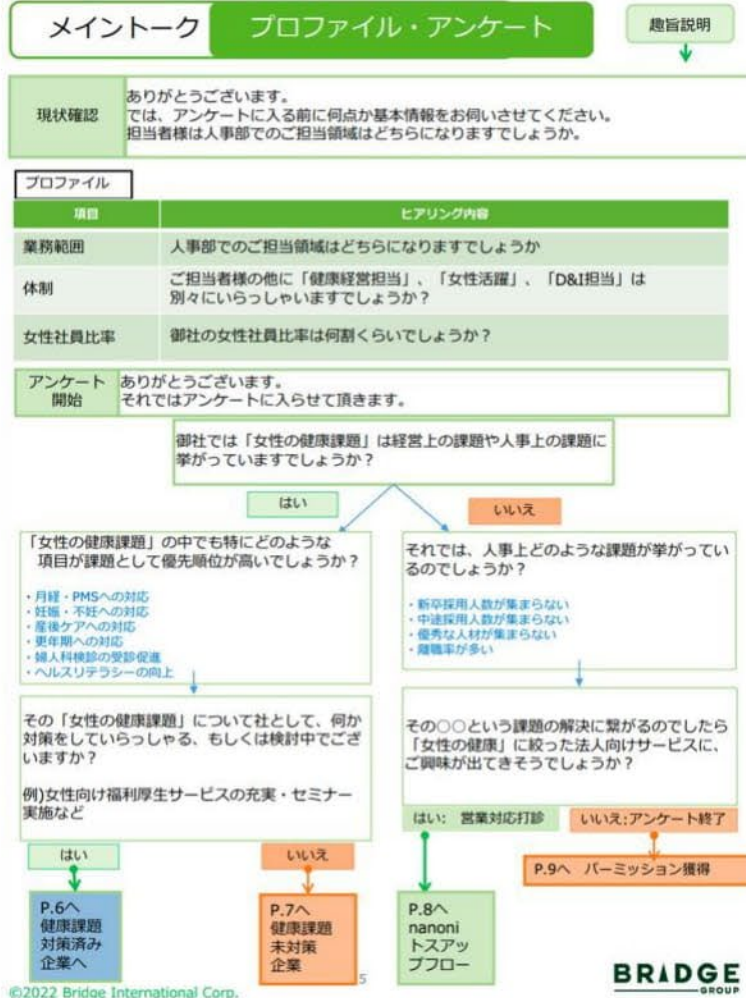
- 企業規模は中規模（小規模はFintech導入の余力なし / 大規模は営業電話が多数）
- 代表電話以外の可能性の高い連絡先を当社が把握できている
- 可能な限り郊外の企業を選定（都市部の企業は営業電話を多数受けており担当者への到達率が低い）

アプローチ方法

ブリッジインターナショナル株式会社を通じて、1,000社に架電を行い、経産省の委託事業であることを説明の上、事前に用意したトークスクリプト通りにヒアリングを実施。その場でヒアリングが難しい企業のご担当者様には、ワンシーターを送付しメール経由でヒアリングを回収。

その後、ヒアリングとは別に当社のサービス紹介を希望される企業に営業活動を行う。

使用したトークスクリプト (一部抜粋)



Poin

企業様の返答内容を想定し、11ページほどのトークスクリプトを作成し、実際の架電担当者に共有。

架電担当者には事前に説明会も実施し、業界への理解度も高めた状態で架電をしていただくことで、ヒアリング率の向上を図った。

ヒアリング結果概要①接触社数



- 電話経由でヒアリングも完了し、今後継続的な情報交換を希望する企業は200社以上あり、インサイドセールスも潜在顧客層を確保する手段としては有用であることが判明した。
- 当然ではあるが、紹介経由など直接連絡先を知っている企業の方が、すぐに提案まで進める割合は大幅に高く、インサイドセールスは中長期的なナーチャリングが必要となりそうである。

ヒアリング結果概要②電話ヒアリングでヒアリング回収率の高い企業規模

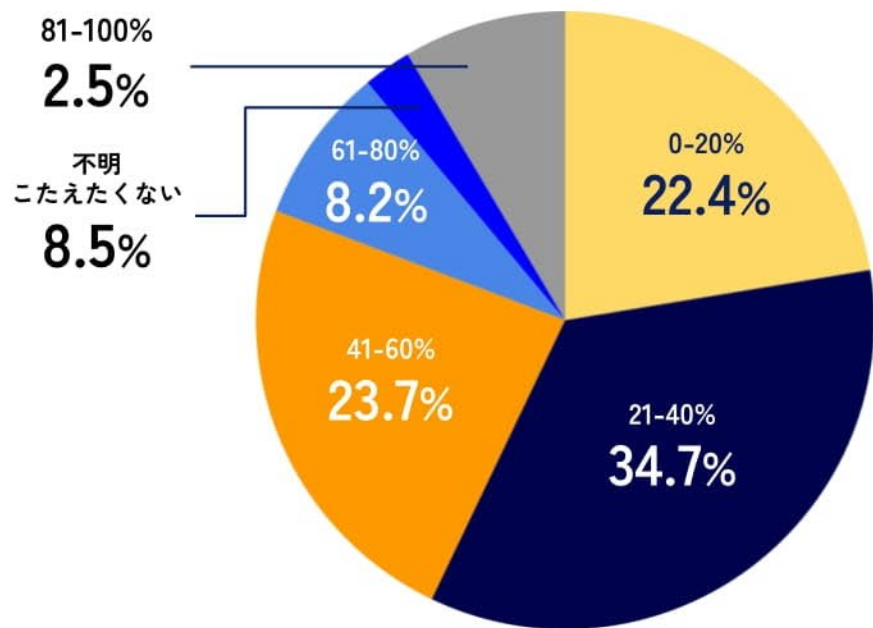
ヒアリング回収率

順位	企業規模	回収率
1	301 ～ 500 人	30.8 %
2	501 ～ 1,000 人	28.6 %
3	101 ～ 300 人	23.9 %
4	1,001 ～ 5,000 人	22.5 %
5	5,001人以上	13.9 %

- フェムテックの導入相性が良いのは、大企業だと思うが、企業規模が中小規模であるほうが、電話経由でのヒアリングに応じてくれる可能性は高い。

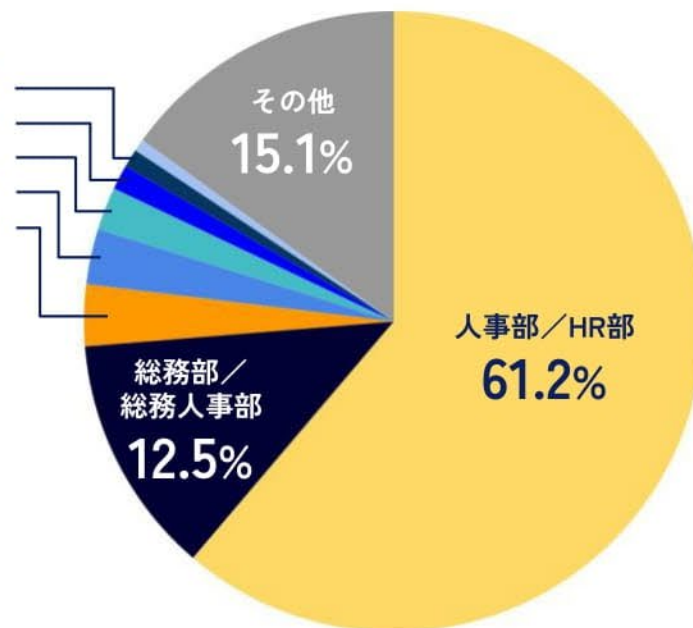
ヒアリング結果詳細①ヒアリングできた企業の属性

女性社員割合 (n=317)



フェムテック担当部署 (n=317)

女性活躍推進部 0.6%
 企画開発営業部 1.0%
 人事開発部 1.3%
 ダイバーシティ推進部 2.2%
 経営管理部 2.9%
 管理部 3.2%

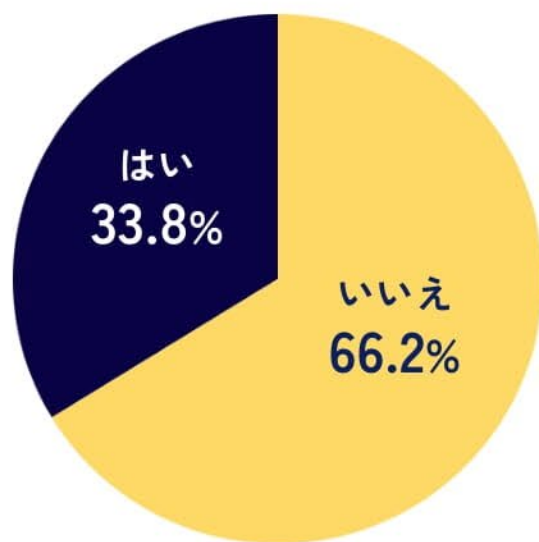


- 社員比率は男女比がそこまで大きくない企業がボリュームゾーンである
- フェムテックの担当部署は、大半は人事部配下の管轄である。ただし企業によっては「女性活躍推進」「D&I推進室」「新規事業室」「社長室」「健康経営室」など企業毎にオリジナルの部署が役割を持っており、一概にひとくくりにするのは難しい。

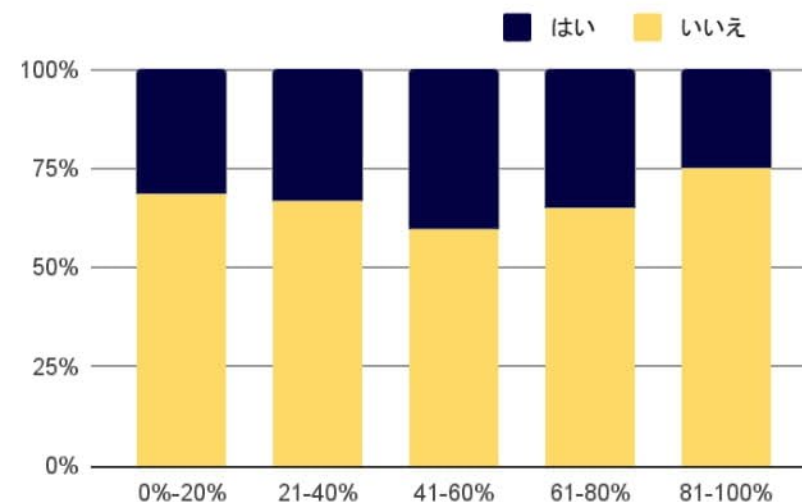
ヒアリング結果詳細②女性の健康に関する課題意識

問1：貴社では月経や妊活、更年期などライフイベントに起因した女性の健康課題は経営・人事上の課題に挙がっていますでしょうか？

回答全体 (n=317)



女性社員比率別の回答内容

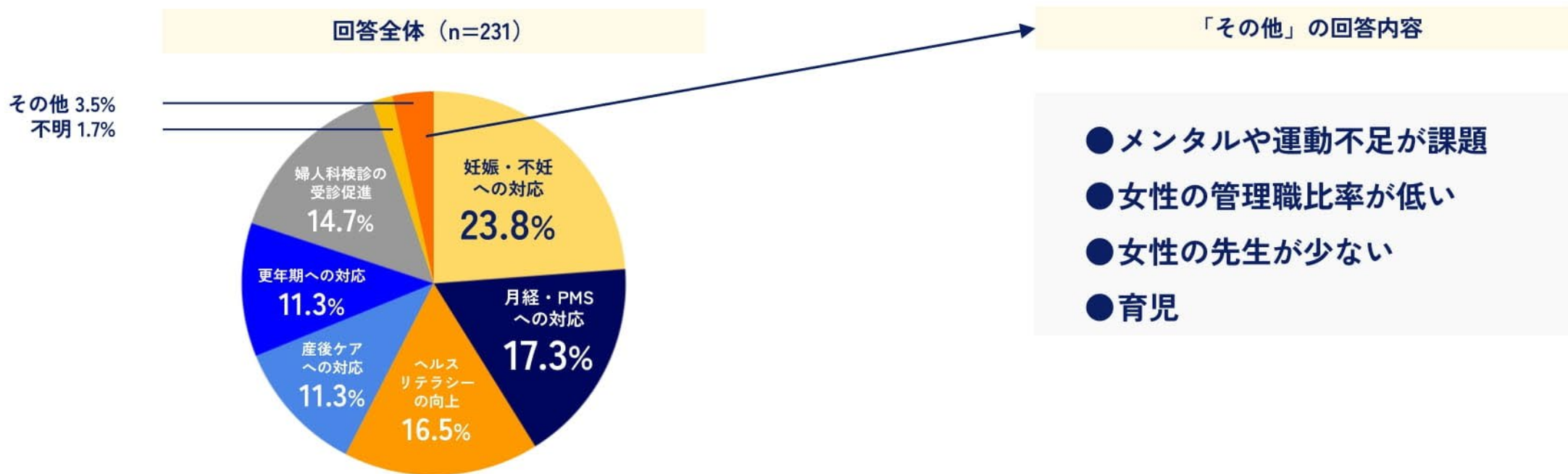


- 6割以上の企業は、女性活躍推進に関して国から認証を受けているにも関わらず、一切の課題を感じていない。
- 課題感は男女比がちょうど半々の企業群が最も多いが、あまり大きな差はない。逆に女性社員比率が高ければ高いほど、課題が昔から顕在化しており既に対策済みの可能性が高い。

ヒアリング結果詳細③優先度の高い「女性の健康課題」

問1に「はい」と答えた企業のみ追加質問

問2：「女性の健康課題」の中でも特に優先順位が高い項目を以下の項目からお選びください。（複数回答可）

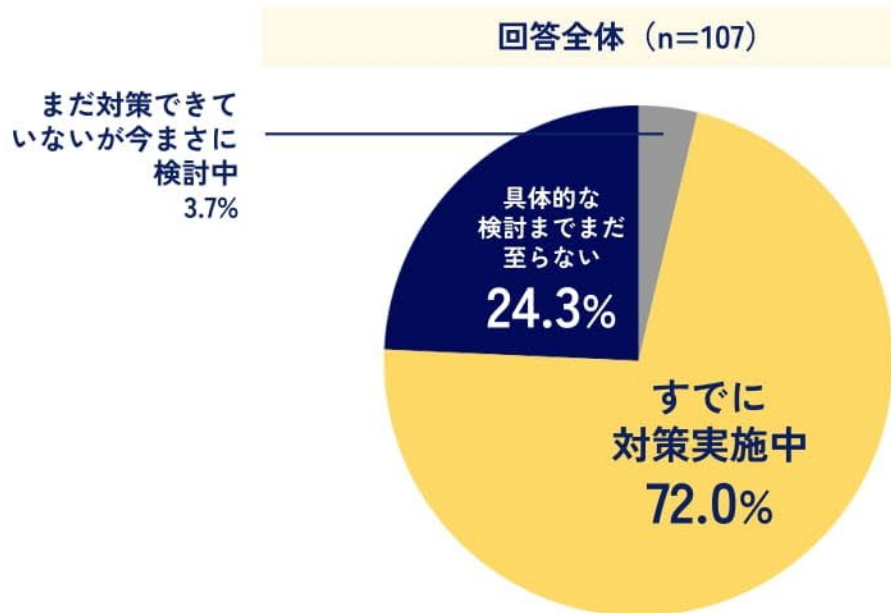


- 既に女性の健康課題に対して課題意識の高い企業では、比較的「妊娠」「不妊」関係の対策への関心が高いものの、おしなべて女性の健康課題全般についてそれぞれの企業が課題意識を持っており、女性の健康課題に対するあらゆる方面でのフェムテックサービスが求められている事がわかる。
- 「その他」の回答の中では、「女性の管理職比率」に対する課題感が最も多かった。

ヒアリング結果詳細④ 「女性の健康課題」への対策

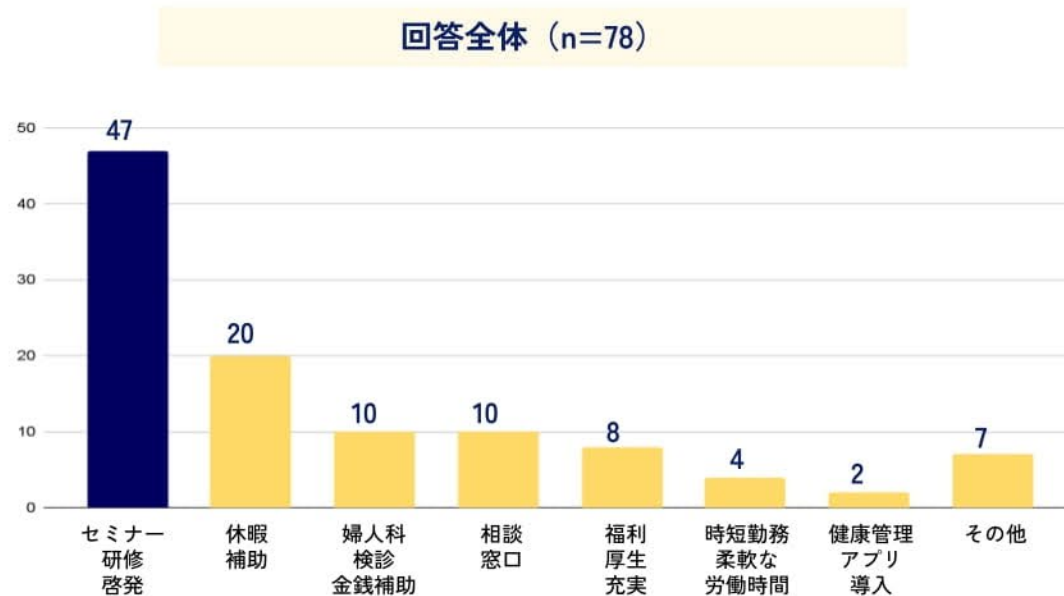
問1に「はい」と答えた企業のみ追加質問

問3：上記で回答いただいた「女性の健康課題」について、貴社では既に対策中でしょうか？例)福利厚生サービスの充実・セミナー実施など



問3に「対策実施中」もしくは「検討中」と回答した企業のみ追加質問

問4：どのような施策を既にもしくは検討していますでしょうか？



- 課題感を抱えている企業の7割以上は既に対策を実施済み。
- 対策としては半分以上の企業がセミナーや社内研修、情報発信などの啓発活動を行っており、休暇や金銭的な補助、低用量ピルなどの福利厚生にまで踏み込んでいる企業は、全体の数%という状況。

ヒアリング結果詳細⑤対策を取り始めた契機と主導部署

問3に「対策実施中」もしくは「検討中」と回答した企業のみ追加質問

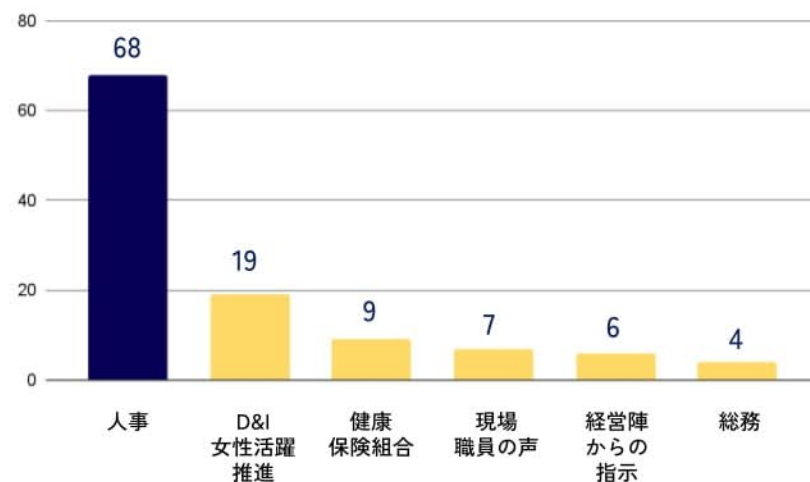
問5：その施策を検討に至った背景は何でしょうか？（複数回答可）

問6：どの部署が主導でその施策を検討開始されましたか？（複数回答可）

回答全体 (n=175)



女性社員比率別の回答内容



- 大半の理由が「企業ブランディング」「労働生産性向上」「離職率低下」であり、「人事や経営目線の課題に対して、経営層や社内の声を聞いて人事部主導で対応」というストーリーが想定される。
- ゼロベースで手当たり次第に営業をかけても受注は難しく、現状はいかに顕在化しつつある人事課題を持った企業に、いち早く提案できるかが鍵となっている。

ヒアリング結果詳細⑥フェムテックの導入可能性

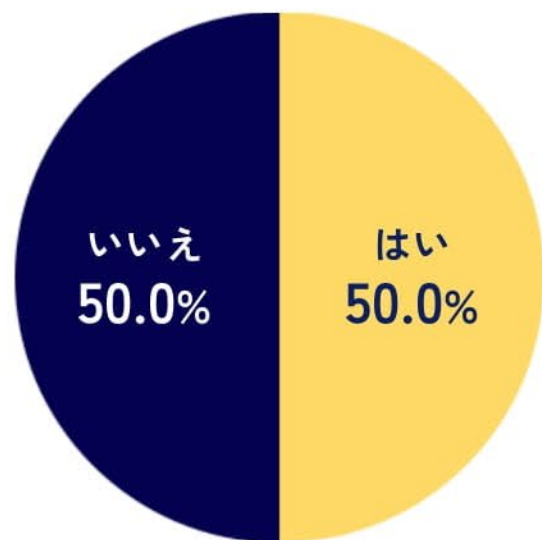
問3に「対策実施中」もしくは「検討中」と回答した企業のみ追加質問

問7：今後フェムテック系のサービスを追加で導入検討する可能性はございますでしょうか？

問7に「はい」と回答いただいた企業のみ追加質問

問8：どのような法人向けのフェムテックのサービスであれば検討されたいですか？（複数回答可）

回答全体 (n=84)



回答全体 (n=137)



- 既に対策済みの企業であってもフェムテックに対する関心は半分ほどしか無く、業界そのものに対する認知、理解や関心がまだまだ低い状況は見て取れる。
- 逆にフェムテックに関心を持っている企業はセミナーからオンライン相談・診療、費用補助など様々な領域に対して関心が高いことが分かったが、カジュアルに導入できそうなものほど相対的に需要が大きいことが見て取れる。

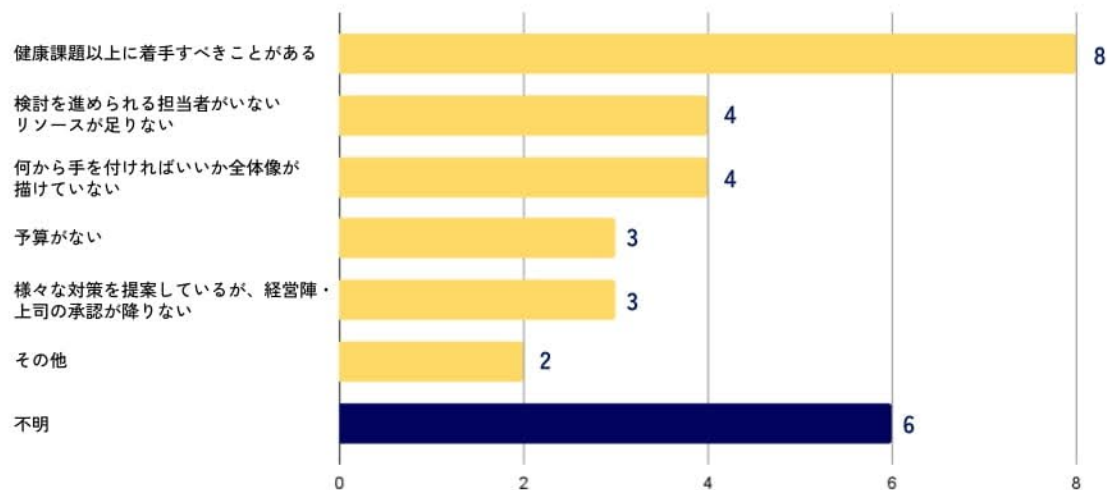
ヒアリング結果詳細⑦女性の健康課題に対策ができない理由

問3で「具体的な検討まで至らない」と回答した企業のみ追加質問

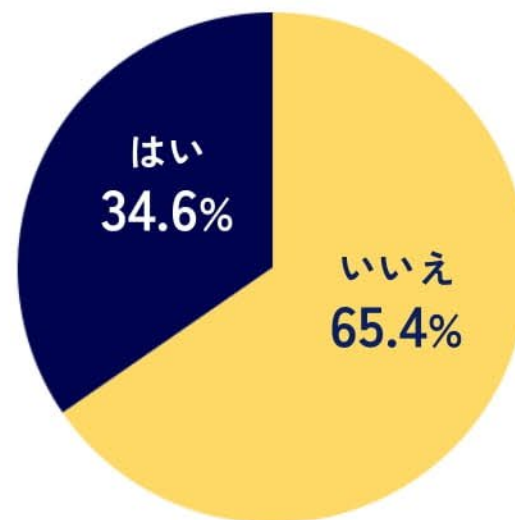
問9：女性の健康課題が経営・人事課題に挙がっているが、対策を講じることができていないのはどのような理由からでしょうか？（複数回答可）

問10：もし左の課題が解決した際に、フェムテック関連サービスを新規に導入検討する可能性がありますでしょうか？

回答全体 (n=30)



回答全体 (n=26)



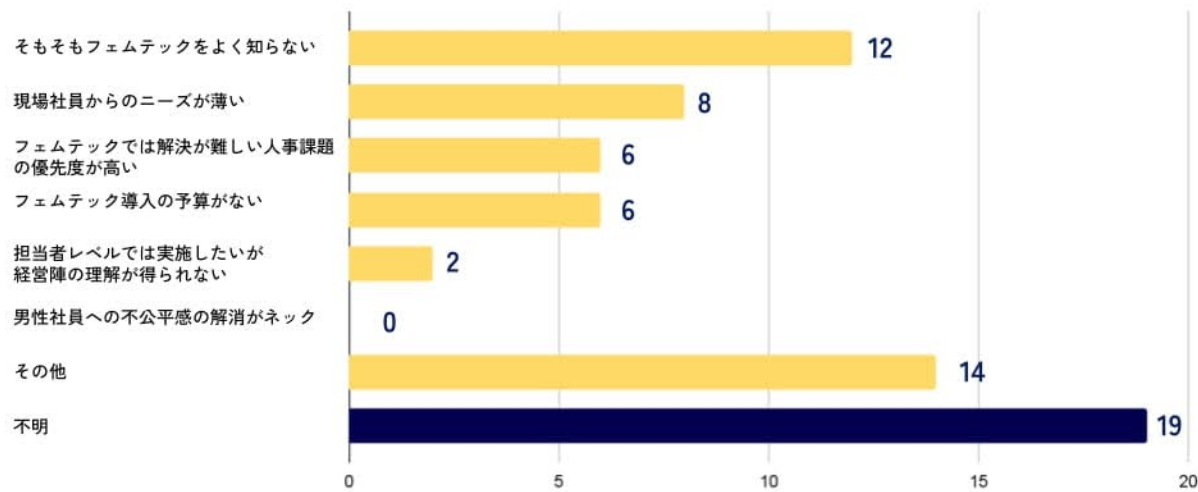
- 課題認識をしても、「女性の健康課題」に対して企業としての優先度が低い（結果、予算も人的リソースも割かれていない）ケースが大半だと想定される。
- このように「女性の健康課題」が後回しにされている企業では、3社に2社が、仮にこれらの課題が解決した後でもフェムテックが検討できないと回答。理由は次のページに詳述。

ヒアリング結果詳細⑧フェムテックが導入されない理由と対策

問7で「いいえ」と回答した企業のみ追加質問

問11：なぜ法人向けのフェムテックを検討・導入できないのでしょうか？
(複数回答可)

回答全体 (n=67)



問12：どんな情報があると貴社で検討しやすいでしょうか？ (複数回答可)

回答全体 (n=100)



- フェムテックを導入できない理由として「そもそも知らない」が多数派であり、だからこそ事例を中心に導入した後の姿がイメージしやすいように営業活動を工夫しなければいけない事がわかる。
- 同時に「現場のニーズが無い」「他の優先度が高い」というのは、ひとえに社員側からフェムテック導入希望の声が上がっていないため優先度も上がっていないと想定される。感度の高い担当部署だけでなく、あらゆる人に「フェムテック」が概念として浸透していくことが重要とわかる。

ヒアリング結果詳細⑨ 「女性の健康課題」以外の人事課題

問1で「いいえ」と回答した企業のみ追加質問

問13：「女性の健康課題の解決」以外に、人事上どのようなご課題の優先度が高いのでしょうか？（自由記述）

読み取れる課題点①

ワード：女性社員・育成・定年

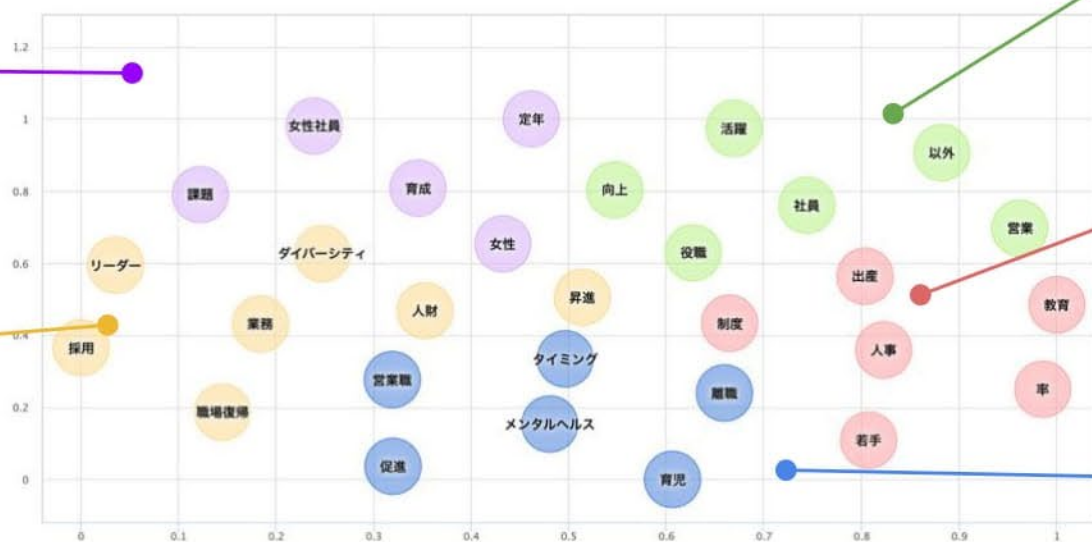
女性社員の育成
女性社員が定年までいないなど

読み取れる課題点②

ワード：リーダー・ダイバーシティ

女性だけでなくダイバーシティ強化
多様な人材の登用など

回答全体 (n=26) ※キーワードをグルーピング



読み取れる課題点③

ワード：社員・活躍・営業

社員の活躍
役職への登用など

読み取れる課題点④

ワード：出産・教育・若手

育児休暇などの人事制度
若手育成など

読み取れる課題点⑤

ワード：離職・メンタルヘルス

育児での離職や営業職の精神面の対応
など

- 「女性の健康課題解決」以外とした上で、それでも人事上で挙げられる課題は「女性の〇〇」に関することが多い。すなわち「女性の健康課題」を「女性活躍推進」の課題に結びつけることができていない。
- 結果的に、人事上の課題を精査できないまま、ロードマップを描けず些末な施策を繰り返すだけになっている。
- 今回の回答、200社以上は空欄で提出。まだまだ人事課題を具現化できない傾向がある。

ヒアリング内容のサマリ

1

60%以上の企業が「女性の健康課題」に対して課題意識をしていない。

「健康経営銘柄」「なでしこ銘柄」といった国から認定を受けた企業ですら、「女性の健康課題」に対しては60%以上の企業が課題認識をしていない。すなわちいかに健康に配慮する宣言をしても会社として現場レベルまで対策や課題意識が浸透している企業は、まだ多くはない事がわかる。

2

「フェムテック」を検討できている企業はごくわずか。

現場まで課題意識が浸透している企業は、既に70%以上の企業が何らかの対策を取り始めており、女性の健康課題全般に対しての有効策を検討しているが、「フェムテック」を検討できている企業はその半分にすぎない。すなわち国から認定されている企業ですら、その10%ほどしか検討には至っておらず、国やフェムテック事業者が能動的にフェムテックの導入価値を定義し発信していかなければ、市場全体が発展していくことはないだろう。

3

「女性活躍推進・離職率・ダイバーシティ」問題は「女性の健康課題」と別認識。

ヒアリングできた企業の大半は「女性の健康課題」以外の優先課題を抱えていると回答しているが、内容を聞く限り「女性活躍推進」「女性の離職率・職場復帰」「ダイバーシティ」といった課題が並んでおり、女性の健康課題とこれらの課題を別々に捉えてしまっていることは大きな課題といえる。「女性の〇〇」といった事象を一つ一つ潰していくのではなく、そもそも根幹となる課題の特定と、その課題を解決できる人事戦略のグランドデザインを立てるのに苦労している企業が多く、ここを解決できるフェムテックサービス（というよりHRサービス）が最もニーズが高そうである。個別課題の解決のためのフェムテックサービスのニーズが高まるのは、その次のフェイズではないか。

残り検証期間の活動指針・スケジュール

フェムテック 導入動機分析

ヒアリングサンプル数の増加

- 11月：展示会出展後のフォローアップ
- 12月：ダイレクトメールの実施・フォローアップ

carefull 導入効果分析

実施企業数・実施回数の増加

- フェムテック導入動機分析で関心を示した企業への導入を目指す
- 既にお取り組み実績のある企業様内での実施回数・アンケート回答者数増加を目指す

**女性の健康課題が認知され、
ケアできる世の中にしていくために。**

**まずは、何かを「やってみた」という取り組み
実績を増やすことが大事だと考えています。
ぜひ、一緒に「企業」×「女性活躍推進」の領域の
先駆者となって盛り上げていきましょう！**

- 1 ヒアリング調査
- 2 carefullとの実証
への協力企業様募集

お問い合わせ先：hello@xxnanoni.com

14.

不妊治療当事者のウェルビーイング向上のための
心理ケア事業
(代表団体：株式会社ninpath)

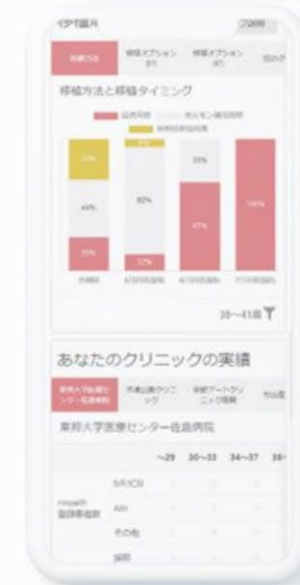
子どもを望む、
ひとりひとりの道しるべ

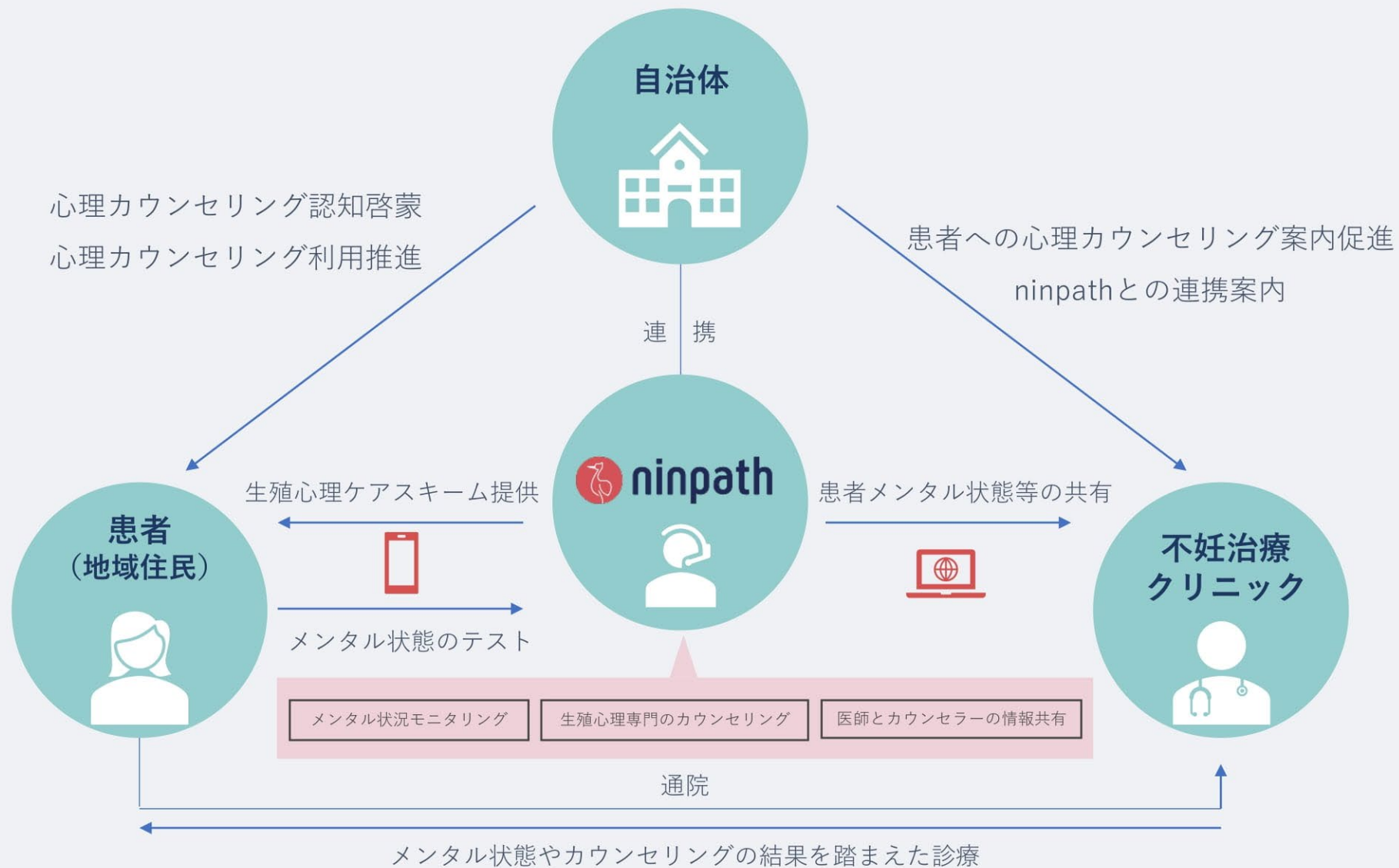
ninpath

株式会社ninpath

採択事業名

不妊治療当事者のウェルビーイング 向上のための心理ケア事業





<p>自治体連携</p>	<ul style="list-style-type: none">協力自治体の開拓（目標の3自治体からの協力を実現） <div data-bbox="810 335 1228 511"><p>宮城県仙台市 人口108万人</p></div> <div data-bbox="1268 335 1686 511"><p>富山県 人口104万人</p></div> <div data-bbox="1727 335 2145 511"><p>神奈川県藤沢市 人口42万人</p></div>
<p>医療機関連携</p>	<ul style="list-style-type: none">連携医療機関の開拓説明会の実施患者さん情報連携のサイト構築 等
<p>住民向け心理ケアサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none">告知フライヤー、LP等の作成一般向けウェビナーの開催連携自治体内の医療機関へのフライヤー設置 等

	学び		課題
自治体連携	入口を妊活・不妊に限定せず、なるべく広くした方が良い	⇔	妊活・不妊治療だけを切り出すと対象が狭いと見られてしまう
	担当者（担当課）に当事者・理解者がいると協力が得られやすい	⇔	担当者の熱量や自治体としての課題への取り組み姿勢に左右されてしまう
	経済産業省の実証事業であることを前面にして協力が得られた	⇔	イチ企業が単独でサービスを提供する厳しさがある
医療機関連携	自治体が関与すると、圧倒的に協力が得られやすい	⇔	
地域住民への啓発	SNS = 「いいな」「東京でもやってほしい」などの反応にとどまる	⇔	特定の自治体住民向けとして認知頂く難しさがある

実施事項			準備フェーズ完了					実行フェーズ実施中				
			2022年									
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 医療機関向け心理ケア連携システム構築	1.1 実証先の開拓	ロングリスト作成・アプローチ実施	████████████████████									
	1.2 連携管理WEBサイトの構築	デザイン・コーディング		████████████████████								
	1.3 医療機関への説明会の実施	資料作成・準備		████████								
説明会実施					████████							
2. 住民向け不妊治療中の心理ケアサービス提供	2.1 カウンセリング予約サイト構築	デザイン・コーディング		████████████████████								
	2.2 告知・啓発活動	LP・フライヤー作成		████████████████████								
		住民への利用啓発						████████████████████				
	2.3 カウンセリングの提供	予約・実施管理					████████████████████					
2.4 成果測定	事前アンケート					████████████████████						
	事後アンケート						████████████████████					

仙台市・富山県・藤沢市の住民の皆様への訴求にご協力いただけるメディア様、サービス様、企業様にご連携いただけると幸いです！



子どもを望む、ひとりひとりの道しるべ

- 会社名 株式会社 ninpath
- 代表者 代表取締役 神田 大輔
- 住所 東京都港区新橋 1-12-9 7F
- 設立 2020年3月
- 沿革 2019 年より ninpath を開発
2020 年 3 月 株式会社 ninpath 創業、Web アプリ版を提供開始
2020 年 12 月 Android 版、iOS 版を提供開始
- サービス 『不妊治療可視化アプリ』 - 不妊治療の治療記録・管理・比較
『キャリア両立支援』 - 不妊治療と両立を支援するHRサービス

【お問い合わせ窓口】 ninpath運営事務局 info@ninpath.co.jp

15.

フェムテックを活用した企業・自治体の行動変容を促す
「伴走型アクティブラーニング・プログラム」実証事業
～gender learning innovation～
(代表団体：株式会社陽と人)

フェムテックを活用した企業・自治体の行動変容を促す
「伴走型アクティブラーニング・プログラム」実証事業

～gender learning innovation～

株式会社陽と人（ひとびと）【福島県国見町】
（デリケートゾーンケアブランド『明日 わたしは柿の木にのぼる』）

株式会社ライフサカス【群馬県前橋市】
（フェムケアメディア『UMU（ウム）』）

【参考】 株式会社陽と人（代表団体）について

株式会社 陽と人が 目指す社会

しあわせ・笑顔・
豊かさの循環



【参考】 『明日 わたしは柿の木にのぼる』 について

柿にまつわる古来の知恵に着目した、デリケートゾーンのケアブランド



心も、カラダも、生き方も、これまで歩んできた道のりが、今のわたしを構成している。わたしが選んだものすべてが、未来のわたしをつくっていく。

人生は選択が続くけれど、いつも「正解」なんてだせるわけがない。失敗だって受皿。つまずいたら、立ち上げればいい。疲れてしまったら、休めばいい。

どんな時も、わたしらしく。わたしはわたしを、愛しつづけていたい。自然体でいられれば、毎日を笑顔で過ごせるから、前を向いて、空を見上げて、木にのぼる自由が、わたしにはある。

「明日 わたしは柿の木にのぼる」は、柿にまつわる古来の知恵に着目したデリケートゾーンケアブランドです。福島県国見町のおんぼ柿製造工程で廃棄されていた柿の皮から抽出した成分を活用することで、地域の持続的な発展も目指しています。

寝不足、不規則な食生活、疲労、免疫力の低下など、私たちの生活の乱れによって、デリケートゾーンの菌のバランスが崩れ、それがおりものの異常やかゆみなど、デリケートゾーンに症状としてあらわれます。そのため、デリケートゾーンは「自分の心とカラダを知るバロメーター」になります。

1日10秒でもデリケートゾーンケアを通して、全ての女性のご自身をいたわるきっかけになりますように。



Sustainable
あんぼ柿の生産過程で廃棄されていた資源（柿の皮）を製品の主原料に使用。そして生き生きと輝く女性をエンパワメントする製品をつくることで、社会へ還元します。循環する社会の実現へ向けた活動を止めません。

Policy
わたしたちのポリシー

healthy
月経、妊娠、出産、更年期、閉経、そしてニオイや乾燥といったデリケートゾーンのトラブルなど、女性特有のさまざまな悩みに寄り添います。

high quality
石油系界面活性剤をはじめ、防腐剤や鉱物油も無添加。厳選した植物由来成分*を用いたシンプルな処方にとこだわり、国内工場にて製造を行っています。

【参考】 昨年度の実証事業について（一部抜粋）

【はたらく女性の心と身体FACT BOOK】

主な目次

- ・常にゆらぐ、女性のライフサイクル
- ・生理と排卵のしくみって？
- ・生理の負担を軽減するためにできること
- ・生理前にイライラ。PMSかも？
- COLUMN：「未病」にアプローチする、漢方って？
- ・生理がつらい！ 月経困難症とは？
- ・男女ともに他人事じゃない。不妊症って？
- ・仕事との両立が困難な不妊治療
- ・心身が変化する妊娠中の過ごし方
- COLUMN：妊娠中はがんばらなくていい。
- ・珍しくはない、流産・死産のはなし
- ・どうなっているの？日本の出産
- ・出産による会陰の傷を予防するために
- COLUMN：「オキシトシンで産む」とは？
- ・予備軍も多い。産後うつとは？
- ・尿漏れが気になる……
- ・予防はできる！子宮頸がんのこと
- ・身近な病気、女性特有のがんを知る
- ・誰にでもやってくる、更年期とは？
- ・なかなか人に話せない、デリケートゾーンのこと

【企業・自治体での研修・講演】

講座対象者	講座内容（例）
役員向け講座 ※役員はほぼ男性だが従業員は女性が多いため、福利厚生の充実や企業価値向上、イノベーションの創出のために講座を実施	はたらく女性の心と身体のFACTを知って企業のあり方を考える 女性活躍とイノベーション・企業経営上の必要性を説明した上で、女性特有の健康課題がなぜそこに関わるのかを理解するための講座
女性従業員向け講座 ※美容系の女性従業員が多い会社であり、女性特有の健康課題を踏まえたライフキャリアの支援が会社として求められるために講座を実施	働く女性のこころとからだ講座～女性が自身の身体のしくみを知って、ライフキャリアを選択できるようになる～ 女性特有の健康課題を深く知り、セルフケアやフェムテックの活用などでより快適なライフキャリアを送ることができるようになるための講座（女性の健康課題とセルフケアに特化）
顧客向け講座 ※女性の顧客が多いため、集客の一環として女性特有の健康課題に関する講座を開催	生理から更年期まで。はたらく女性の身体のこと 女性のライフサイクルや代表的な健康課題についての基本と「明日 わたしは柿の木にのぼる」を使ったセルフケアについて理解する講座
地域住民や地元企業向けの女性活躍講座	女性活躍推進 ～自分らしく働くために～ 住民や地元企業が本当の女性活躍を考えるきっかけにするための講座



【参考】 株式会社ライフサカス（参加団体）について



ライフサカスは
「働く人のライフステージと健康」を支える会社です。

当社は、「働く人がライフステージで抱える生きづらさ」に向き合い、「みんながヘルスケアの正しい知識を持てる環境づくり」を進めることで、社会全体のウェルビーイング向上に資する事業を展開しています。以下3つの領域で、全国各地の企業・行政・学校などに伴走し、ご一緒に活動しています。



Lecture

研修・講演事業



Consulting

コンサルティング・
アドバイザー事業



Media

Webメディア・オンライン
コミュニティ事業

- 【関連実績】
- 令和3年度・群馬県男女共同参画センター主催「エンパワメント・ユースカレッジ」にて、アクティブラーニング・プログラムの開発、ファシリテーション
 - 令和1年度～現在（独）中小企業基盤整備機構にて、ヘルスケア人材育成プログラムの開発と伴走支援
 - 平成31年度 デジタルビジネスイノベーションセンター「働く女性の健康問題PJ」にアドバイザー伴走支援
 - 中小機構・中小企業アドバイザー、NPO女性医療ネットワーク理事、群馬県行財政改革・評価推進委員 など

1 事業テーマ・背景・目的について

- 女性の健康課題に問題意識が薄い場合、無理にセミナー等で啓発しても具体的な能力向上や行動変容には繋がらないことが多い。女性の健康課題に問題意識が薄いことについては、時代背景や社会背景が異なる世代・地域で認識にギャップが生じるのは当然であろう。
- このような中、社会を分断せず、対立構造を生み出さない形で「問題を自ら発見し」、「問題を個人ではなく組織・社会の問題として昇華させ」、「みんなで解決する問題として行動する」というサイクルをつくっていきたいと考えている。
- そのためには、単にセミナーにとどまらないアクティブラーニングの手法を導入した「新しい学び方」を取り入れ、個人・地域の課題や状況に対応する形で改善を行なっていく伴走型のプログラム開発が必要である。これにより、能力向上や行動変容につながる成果を適切に把握し、当該成果を広く社会へ発表していくことが必要だと考えている。

以上より、本事業では、最新のアクティブラーニングの手法を取り入れ、
フェムテックを活用して、企業・自治体の
行動変容を促す「伴走型アクティブラーニング・プログラム」を
複数パターン開発・実証する。

本事業では、
女性の健康課題について「個人の能力向上」と「組織の行動変容」
そして「社会の変化の兆し」へ繋げることを目的とする。

2 プログラム3つのポイント

1 組織で誰も 取り残さない

施策効果の高い4属性に向けた、
3つのオリジナルプログラム。
「面」で実証、
包括的に成果測定。

2 楽しく体験、 相互理解

「どうせわかりあえない」を
越えて行くために。
「体感型」重視の設計でみんなの
自分ごと、共通課題へ。

3 「守り」だけで なく「攻め」も

組織のインナー施策に止まらず、
女性の健康を事業開発に接続、
「イノベーション人材」創出の
取り組みも。

① 組織（支援者）の 「行動変容」

経営・管理職 編

□女性の健康課題を
自分ごと化し、ボ
ードメンバーのダ
イバーシティ確保、
企業経営視点で女
性活躍を捉え直す

人事・福利厚生 編

□女性の健康課題の
実態把握、重要性
再確認。
より効果的な複利
厚生の検討、ルール
メイキング機会に

※当事者外（男性等）従業員はここに参加を想定

② 個人（当事者）の 「能力向上」

女性従業員 編

□従業員が自らの健康
課題を捉え直し、
医療アクセスやセル
フケアを個人にあっ
た形で改善する

③ 事業の 「アイデア発見」

イノベーション 編

□女性の健康やフェム
テックを自社・地域
資源と掛け合わせた
事業創出について、
越境学習で考える

3 全体像と骨子（実施してきたこと）

窓口

アクティブラーニング編
プログラム
事後

① 組織（支援者※男性従業員含む）

経営・管理職編 人事・福利厚生編

② 個人（当事者）

従業員編

③ 事業

イノベーション編

- 人事労務・総務
 - 女性活躍・D&I推進
 - 健康経営
- 等、担当部署

- 地方創生
 - 事業開発
 - 経営企画
- 等、担当部署

①視点&事例提供
「自組織」と女性の健康、フェムテック

↓

②アンコンシャスバイアスに気づくワーク
生理・妊娠・更年期等題材に

↓

③ディスカッション&アクションプラン策定
組織の現状と障壁、支援推進の取り組みと、
制度施策の改良などをテーマに

※経営&人事編は合体して実施を想定

①視点&事例提供
「わたし」と健康管理、
フェムテック

↓

②実践ワーク
生理・妊娠・更年期等題材に

↓

③ディスカッション&アクションプラン策定
個人の改善行動をテーマに

①視点&事例提供
「自組織や地域」と
ジェンダーイノベーション

↓

②商品開発ワーク
フェム周りの事例を題材に

↓

③ディスカッション&アクションプラン策定
現状ソースを洗い出し、
実践計画テーマに

④フォローアップ&個別コンサルティング
(全プログラム共通)

↑ 対面・集合型
約3時間半
↓

↑ オンライン
適宜
↓

4 実施体制と実証先について（実施してきたこと）



- 富山県
 - 浜松いわた信用金庫
 - カゴメ株式会社
 - 群馬県安中市（2プログラム）
 - 福島県鮫川村
 - 長野県佐久市
 - zホールディングス株式会社
 - ライオン株式会社
- （12～2月に実証プログラムを実施）

アンコンシャスバイアスに気づくための映像制作

朴基浩 (ぱく・きほ) さん

映画監督

2020年に『LOOKING FOR THATーアレを探してー』（※）を制作。

（※）発達障害の女性、セックスワーカー、PMSに悩む女性とそのパートナー、病気で子宮を摘出した女性、閉経した女性……15人の生理にまつわる証言をとらえた約60分のドキュメンタリー。



協力

協力

Zホールディングス株式会社 (LODGE)

映像撮影協力

Zホールディングス株式会社のLODGEにてアンコンシャスバイアスに気づくための映像を撮影



協力

群馬大学大学院保健学研究科 恩幣宏美准教授

実証の効果測定に研究として介入

（実証の第三者評価を実施）



2022年11月2日 東京大学生産技術研究所主催フォーラムへ参加

「もしかする価値観」との出会い STEAMとD&I から広がる地平線
～STEAM 教育活動およびD&I活動を行うに当って、組織が異なる価値観に触れ続けることの重要性を社会発信することを目的としたもの～



5 今後実施すること

12～2月にかけて、
プログラムの実証と効果測定を行っていきます

女性の健康をみんなで支える組織・社会をつくる フェムテックでD&I体感型研修

月経・PMS・更年期などの「女性の健康課題」をテーマに、組織や個人の中にあるアンコンシャスバイアスに気づき、企業内でのD&I促進へつなげることを目的とした体感型企業研修を実施します。

*本プログラムは、経済産業省令和4年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」により実施するものです。

フェムテックとは...

FemTech (フェムテック) とは、Female (女性) とTechnology (テクノロジー) をかけあわせた造語。女性が抱える健康の課題をテクノロジーで解決できる商品 (製品) やサービスのことを指す。

ジェンダーダイバーシティとは...

これまで男性を対象に研究されてきた医療や製品・技術開発を、性差 (生物学的・社会的) に着目して捉え直し、イノベーションにつなげる。

所要時間: 3時間半程度

01 講義

「自組織とフェムテック・ジェンダーダイバーシティ」の相関を学び、女性の健康支援の有効性を再認識します。



講師・ファシリテーター

株式会社 ライフリカス
代表 西部沙緒里



株式会社 隔と人
代表 小林味愛

02 グループワーク

とあるオフィスを舞台にした映像を視聴し、登場人物の背景や状況を想像、気づき・違和感を共有するワークをおこないます。

03 ディスカッション

「もし私が〇〇な社員だったら…」という仮定のもと、参加者がそれぞれの立場に立ち、自組織の現状・障壁を捉え直し、今後あるべき施策を考えます。

お問い合わせ先 株式会社隔と人 info@hito-bito.jp

参加費 無料

鮫川村 *本プログラムは、経済産業省令和4年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」により実施するものです。

女性の健康をみんなで支える組織・社会をつくる
大豆×フェムテック

月経・PMS・更年期などの「女性の健康課題」をテーマに、地域の中にあるアンコンシャスバイアスに気づき、地域でのD&I促進へつなげることを目的とした体感型地域研修を実施します。

2023. 2.3 (金) 13:00-16:00

会場 鮫川村役場
対象 鮫川村の役場職員、大豆産業に携わる方
定員 20名 参加費 無料

フェムテックとは...
FemTech (フェムテック) とは、Female (女性) とTechnology (テクノロジー) をかけあわせた造語。女性が抱える健康の課題をテクノロジーで解決できる商品 (製品) やサービスのことを指す。
ジェンダーダイバーシティとは...
これまで男性を対象に研究されてきた医療や製品・技術開発を、性差 (生物学的・社会的) に着目して捉え直し、イノベーションにつなげる。

講師・ファシリテーター
株式会社 ライフリカス
代表 西部沙緒里
株式会社 隔と人
代表 小林味愛

01 講義
「自組織とフェムテック・ジェンダーダイバーシティ」の相関を学び、女性の健康支援の有効性を再認識します。

02 グループワーク
とあるオフィスを舞台にした映像を視聴し、登場人物の背景や状況を想像、気づき・違和感を共有するワークをおこないます。

03 ディスカッション
「もし私が〇〇な社員だったら…」という仮定のもと、参加者がそれぞれの立場に立ち、自組織の現状・障壁を捉え直し、新視点での商品開発を考えます。

申込先 <https://forms.gle/XasxvCtw7XMCpvc4>
申込期限: 1月20日 (金)
*お申込受付は先着順とし、定員になり次第、締め切ります。同一団体から複数名ご参加の場合は、お一人ずつお申し込みください。

問い合わせ先 info@hito-bito.jp
<*確認>
鮫川村役場

お気軽にお問い合わせください

株式会社陽と人

 info@hito-bito.jp

16.

アバターを活用した専門家による働く女性の
ウェルビーイング向上のためのサポート実証事業
(代表団体：株式会社BRING)

アバターを活用した専門家による
働く女性のウェルビーイング向上のための
サポート実証事業

— 中間報告書 —

事業概要

“アバター”というテクノロジーを活用し、
働く女性が助産師に
“フラット”に相談ができる環境を提供する

目指す個人の変容

- ・働く女性達が自身の身体に関心を持ち続け、健康課題に大きく悩まされることなく、長く働き続ける
- ・自分自身で本当に必要な情報やケアを取捨選択できる力をつける

目指す社会の変容

- ・自身でライフイベントとキャリアの両立を計画・実現し適切に対処できる女性を増やす



flat.

アバターで気軽に相談！

flat.は助産師による女性のためのサービスです。

女性特有の健康課題にはさまざまなものがあり
そしてそれはライフステージに応じて変化していきます。

頑張る皆さんが、より健康で楽しい毎日を送れるよう
助産師が味方となり、サポートしていきます。

● セミナー・アーカイブ

知る

YouTubeやzoomなどで匿名参加可能な形式でセミナーを開催。
助産師がアバターの姿で登壇し、
普段聞きづらい悩みや質問などをコメントできるような
オンラインイベントを主に開催。

● 助産師へのアバターカウンセリング

向き合う

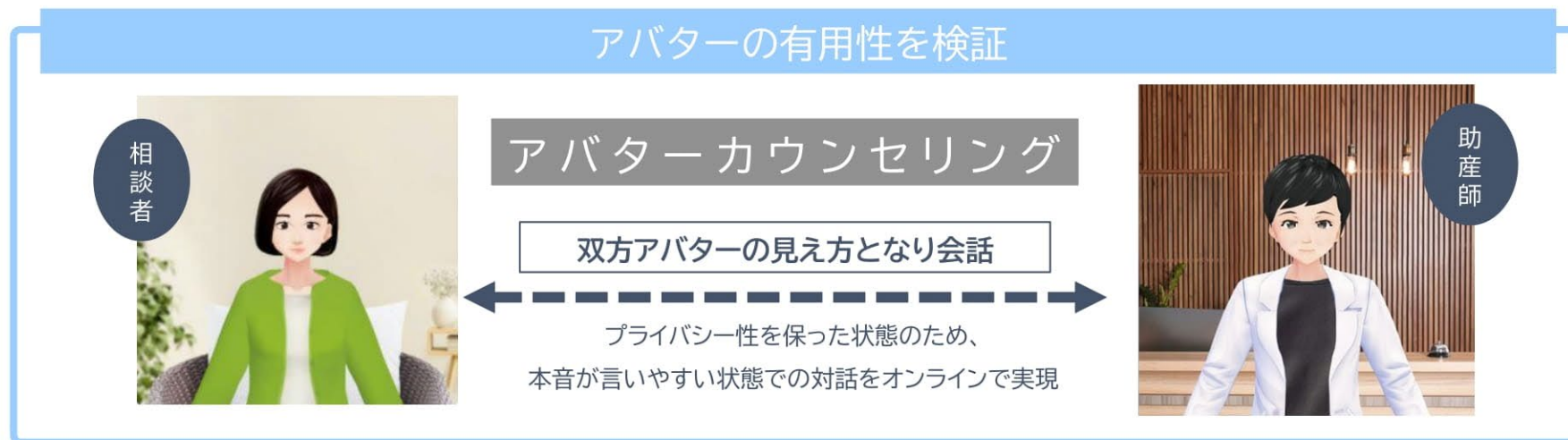
アバターの姿で素顔を見せずに、気軽に、助産師に相談ができます。
オンラインで直接悩みを相談することで
より深いパーソナルなアドバイスが可能となります。

● 助産師監修の個人向け改善ワーク

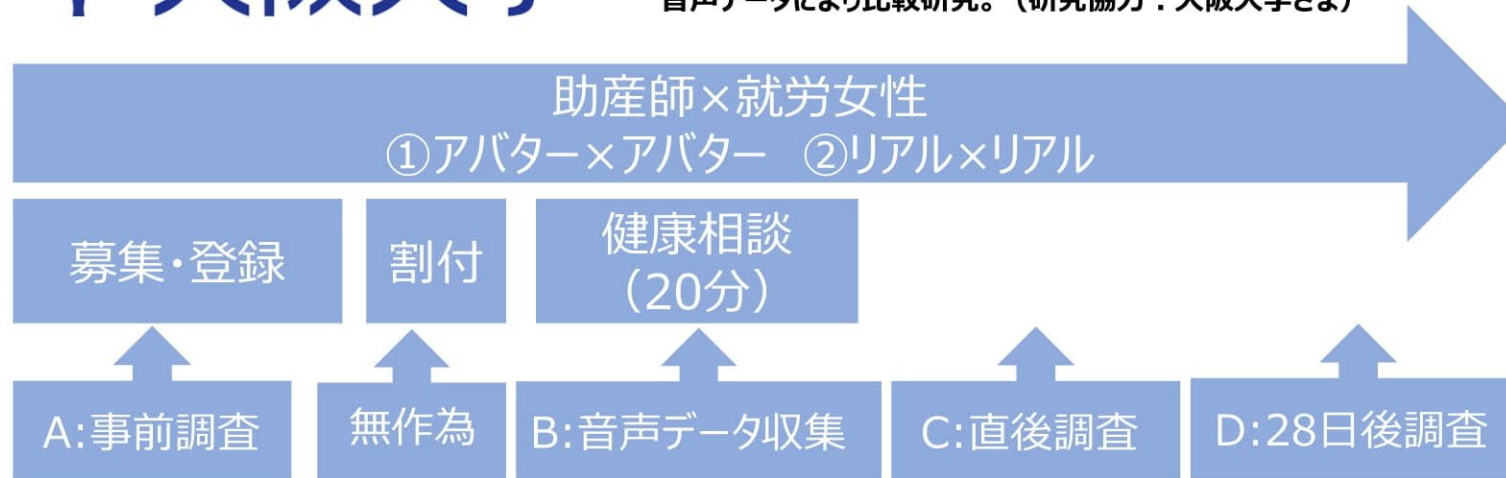
整える

オンライン相談で受けた相談内容、症状を元に
その人の悩みの改善に役立つワークの動画コンテンツをお送りします。
手軽にできる体操やストレッチ、マッサージなどを中心とし、
習慣化のお手伝いをいたします。

★ 習慣化や健康意識の向上…ウェルビーイング



助産師×就労女性を ①リアル×リアル ②アバター×アバター
2パターンで無作為割付し20分の相談。
音声データにより比較研究。(研究協力：大阪大学さま)



実施事項		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
告知・集客	メトロポリターナ等 記事掲載			コラム	コラム					
オンラインセミナー	ライブ大規模配信 (100名規模)			9月		11月				
	ライブ配信 (50名規模)		月1回*2回		月2回*3回					
	アーカイブ							分析 報告書 作成		
アバターカウンセリング										
改善ワーク										

計画に基づき実施したこと①

システム 体制構築

- ランディングページ及び予約サイトの構築
ニーズ調査のうえ要件定義・システム構築を行うとしてまずは無料作成
- コンテンツ配信用のPFとして公式LINE構築
- 企業人事担当者さま向けのチラシ作成



告知・集客

- メトロポリターナへのコラム掲載・産経新聞社への記事掲載
(産経新聞社様によるご協力により)



- オンライン展示会への出展や取引先企業様への営業アプローチ

セミナー

●オンラインセミナーの開催（計2回）

参加人数:計82名

- 1) 08/26 : 個人向け セミナー
- 2) 10/19 : 企業従業員向け 株式会社ビゼル様との共催セミナー

テーマ「働く女性が知っておきたい”ころとからだ”のこと
～働く女性のライフステージにおける健康課題と対処について～」



▶講師である助産師がアバターで登壇

投票やクイズなども盛り込み
間延びしないような形式で実施

ライブ配信 コンテンツ

●YouTubeライブの開催(計2回)

視聴数:107回
(11/11時点)

- 1) 09/21 : 生理にトラブルがある人あつまれ!
- 2) 10/13 : 更年期を幸年期にしたい人あつまれ!

●ライブのアーカイブ公開

個人向けワーク

ピルビスワークに加え、呼吸法・ツボ押し・ピル等の薬の使い方など
相談ニーズに合わせて、専門家監修のワークコンテンツを拡充

オンライン相談

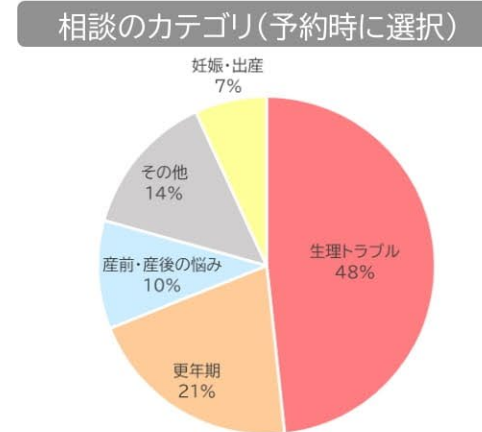
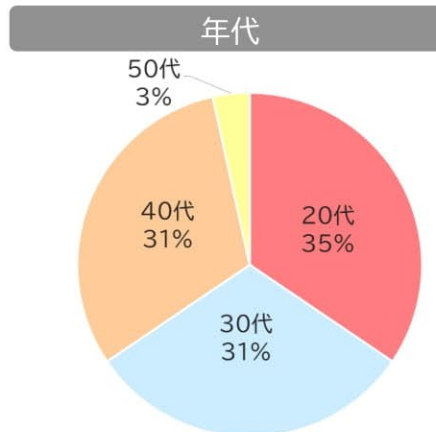
<オンライン相談>

相談時間1枠20分 予約サイトよりニックネーム(匿名)で予約
 アバター同士か生映像同時の2パターンでランダムで割り当て

- 7~8月 準備・助産師へのオリエン
- 9月~ テスト稼働
- 10月~ 本稼働

➔29名へのカウンセリングを実施(※11/11時点)

カウンセリング実施数	
9月	5名
10月	14名
11月	10名
計	29名



<p>生理トラブル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PMSで気分の浮き沈みがある ・イライラがひどく周囲にあたってしまう ・ピルを内服しているがうまくコントロールできない ・生理不順により病気を疑っている ・生理前の体調不良・生理痛 ・月経量が多い方なのか ・生理周期は正常か
<p>産前・産後</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーや自分の年齢と妊娠時期について ・妊活と仕事の両立 ・赤ちゃんの授乳量が気になる、体重が伸び悩んでいる ・2人目出産にあたっての子供との向き合い方 ・初めての子育てで赤ちゃんとの遊び方が分からない ・子供の発達が気になる
<p>更年期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・閉経に向かっているかどうかを知りたい ・抱えている症状が更年期症状・障害にあたるのか知りたい ・更年期症状への懸念があり、対策を知りたい ・ホットフラッシュへの対処法
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事のストレス、肌荒れ ・緊張してしまう、パニックになる ・デスクワークによる肩こり ・むくみ、冷え ・フェムゾーンのトラブル ・尿意、頻尿 ・婦人科検診について ・乳がんチェックについて

相談者のマインド

相談内容や相談前アンケート「相談に期待することは何ですか？」への回答より

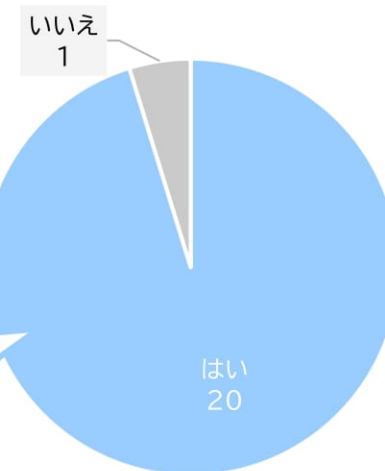
- 悩み・課題の解決 / 明確な症状があり生活や周囲に支障が出ていると感じている
- 心理的な負担の軽減 / 不安があり共感・安心感が欲しい、前向きになりたい
- 新しい打ち手の模索 / 現状のケアでは効かないと感じている
- 正しい情報を得たい / 様々な情報があるなかで専門家による確かな情報を得たい
- ボーダーラインの確認 / 気にする必要があるか、受診すべきかどうかを知りたい

相談満足度

事後アンケート「また相談したいと思いますか？」への回答割合➡

- ・3か月～半年ぐらい定期的に
- ・新たな問題が出た時に
- ・症状がひどくなった時に
- ・また疑問が出た時に
- ・もっと聞きたいことがあるので近いうちに
- ・すぐにでも
- ・不調が出た時
- ・月1ぐらい定期的に

相談時にも、時間を延ばしたり定期相談を求めるコメントが寄せられた



「専門家にいつでも相談ができる場所・環境」へのニーズはありと再整理

アバター相談への声

初対面の人と顔を合わせるのが苦手な人や、外出したくない人はリモートで気軽に相談できる事はとても良いと思いました

アバターは本音が話せそう
(※生映像で相談した方のコメント)

育児中のため、メイクの時間が省けるのはありがたい。

アバターなので、こちらの身なりを気にする必要がないのは良い

顔を覗かなくていいのが思ったより楽だった。
電話よりは集中できる

生映像で相談しましたが、人見知りなのでリアクションやコメントのときに緊張してしまう。その点はアバターの方が初めから気が楽で良いと思いました。
(※生映像で相談した方のコメント)

現状、一定数のニーズには対応できており
より気軽な環境の提供には貢献できそうな見込み
(継続してサンプル獲得のうえ、最終的に有用性を検証)

- 「アバターカウンセリング」自体が浸透していないため、イメージを持ちづらい人の方が多い
 - 引き続き取り組み自体の周知、メディア戦略
 - セミナーでの紹介やイメージ動画などサービス自体のコンテンツの拡充
- Zoom等の多くの人を使い慣れたWEB会議ツールとは異なる部分があり手こずることがある
 - カウンセラー側と相談者側の両者のユーザビリティ向上
- 企業メリットや相談者のマインドを考えた時に、「相談」だけのサービスではなく、
普段から助産師と繋がるコミュニケーション手法を取り入れることも検討必要あり
 - 企業セミナーの開催
 - 相談へのきっかけとなるようなコンテンツ配信(いつでも情報を得られるコンテンツサイトなど)
 - 定期相談や時間延長へのニーズへの対応検討

- オンライン相談のモニター・テストベッド先の開拓(継続)
- 企業(3,000人規模)の健康保険組合さまとの共催セミナー実施(11月末)
- アバターと生映像2パターンでのカウンセリング実施
- 音声データを用いたアバターの有用性の研究
- ワークやコンテンツの拡充



BRINGはアイデアをテクノロジーで具現化し、
世の中の巡りを次々と良くする、循環テクノロジー集団です



株式会社BRING
循環テクノロジー開発本部
坂 美咲 / SAKA MISAKI

Mail) vataraku@bring-corp.jp

Tel) 03-6260-6916

17.

身体症状と音声の分析を用いたヘルスケアと
キャリア支援を繋ぐ仕組みづくり

(代表団体：一般社団法人ヘルスサポーターズイノベーション)



一般社団法人
ヘルスサポーターズイノベーション

身体症状と音声の分析を用いた ヘルスケアとキャリア支援を繋ぐ 仕組みづくり

経済産業省 令和4年度
フェムテック等サポートサービス実証事業
中間発表資料



CHILWEL

いつでも専門家に聞ける安心を

内容

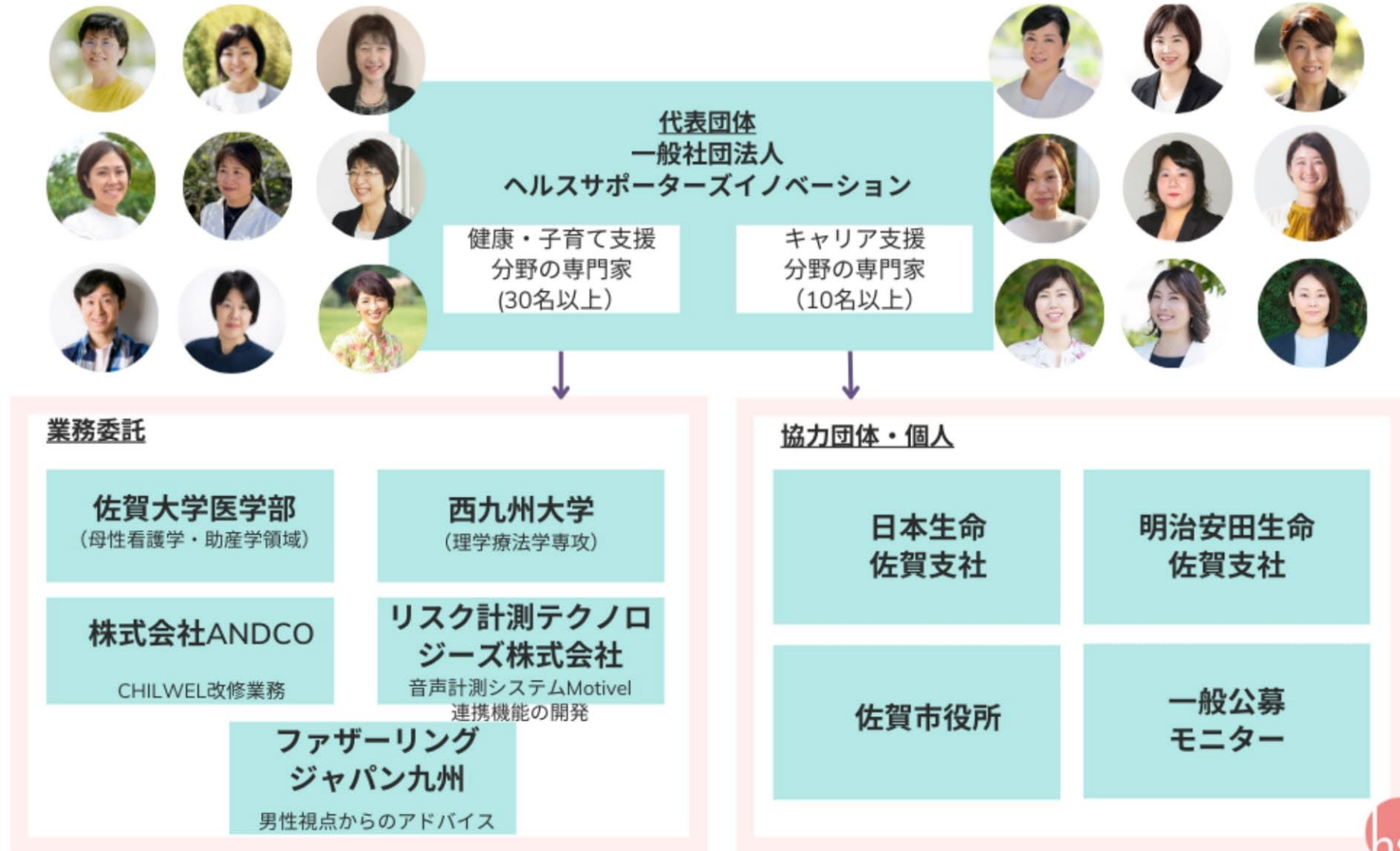
17 身体症状と音声の分析を用いたヘルスケアとキャリア支援を繋ぐ仕組みづくり							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●	●	●	●
実施体制	代表団体	一般社団法人ヘルスサポーターズイノベーション					
	参加団体	-					
	協力団体	日本生命 佐賀支社 明治安田生命 佐賀支社 佐賀市役所					
実証先	・日本生命(佐賀県) ・明治安田生命(佐賀県) ・佐賀市役所 (佐賀県)						
対象者	女性従業員	実施概要	・音声計測によるその日の心の状態を見える化するツール実装 ・健康・妊娠や働き方に関するランチtimeウェビナー開催 ・ヨガやマインドフルネス、心身の不調をケアするオンラインレッスン開催 ・健康・子育てやキャリアに関する専門家へのチャット・オンライン相談提供				



既存のオンラインサービス**CHILWEL**を活用



実施体制



目指すもの

健康支援とキャリア支援
を一体的に提供

メンタル不調に
早期に気づき
予防的行動をとる

ライフステージ
ごとに必要な知識
を得る

心&身体
セルフケアを
身に付ける

専門家と
気軽に
1 on 1

働く女性のライフとキャリアの両立

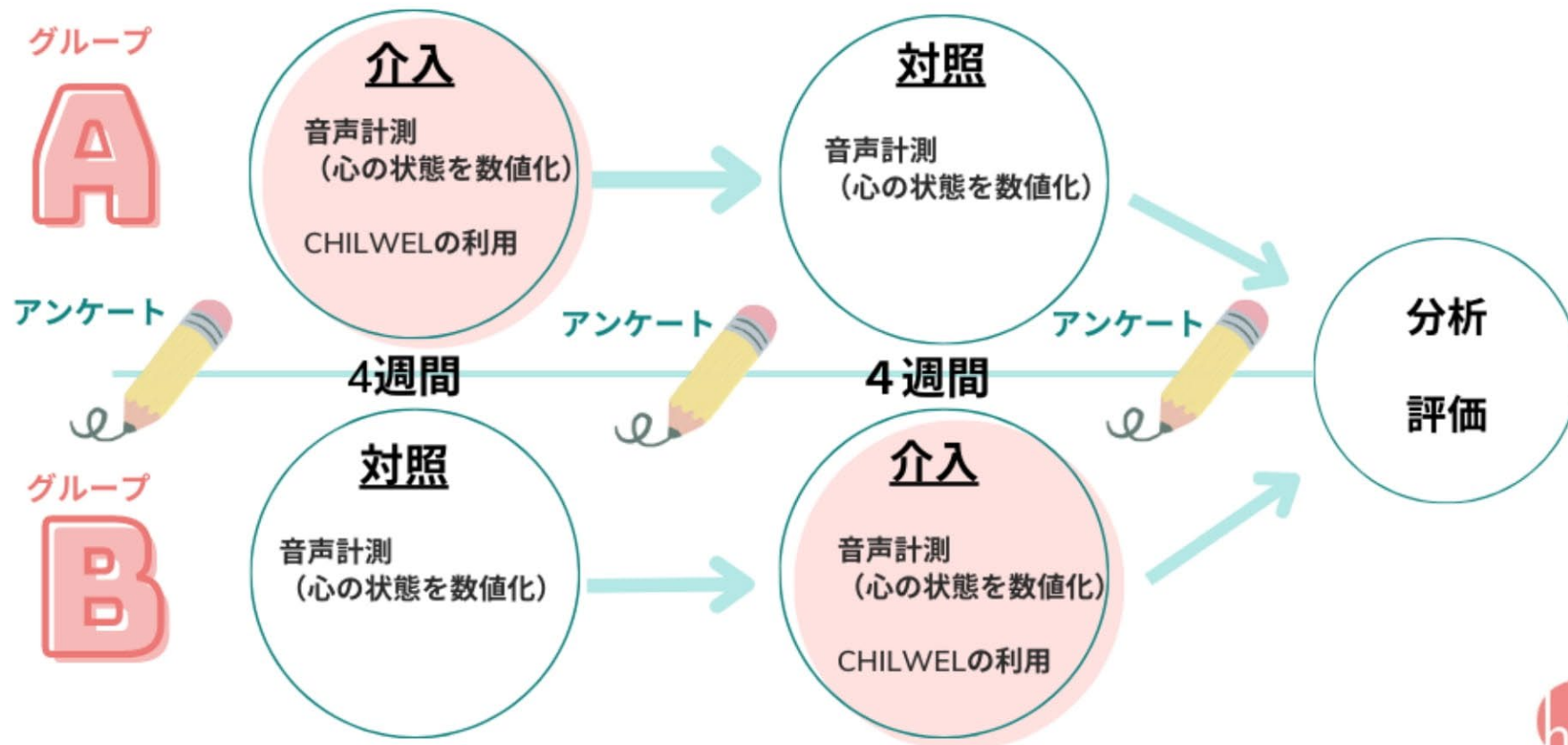


Well-being の実現

検証方法

方法：クロスオーバー比較試験

対象者を介入と対照グループに分け、介入を行った後、一旦介入を中止し、介入の有無を交換して経過を見る



実施したこと

	月				
	7	8	9	10	11
1. システム改修	■				
2. ヘルスケア専門家向け研修 【仕事との両立支援制度を知る】		●			
3. 記者発表会を実施			●		
4. モニター向け 事前アンケートの実施			■		
5. CHILWEの利用（グループA）				■	
6. モニター向け 中間アンケートの実施					■



↑
テレビニュース

9/21 記者発表会
@佐賀県庁

→
新聞



リニューアルしたCHILWELの7つの機能



公認心理師／保育士
助産師／保健師
理学療法士／管理栄養士
キャリアコンサルタント
社会保険労務士
先輩パパ etc.

1

気付く

5秒でこころチャート
その日の心の状態を見える化

2

ライフステージごとに
必要な知識を得る

オンラインサロン【ランチタイム配信】
昼休みに気軽に耳だけ視聴

3

動画ライブラリ
人気サロン・動画を紹介

4

お役立ち情報
専門家コラム

5

セルフケア

オンラインサロン
双方向の参加型

6

専門家と1on1

気軽に専門家チャット
チャットボタンから24時間受付

7

じっくりオンライン(zoom)相談
そのもやもや、そのままお話しください



CHILEWL
NEWカテゴリ

からだケア 心ころケア

ライフデザイン 子育て

<p>まあ、ごはん食べよう♪ 貧血を防ぐ おかず選びのポイント</p> <p>10/4 火曜日 12:15 - 12:50</p> <p>山下 尚子 栄養士 NPO法人 食育推進センター</p>	<p>親から伝える子どものマナー その言い方 ちゃんと伝わってますか？</p> <p>10/7 金曜日 12:15 - 12:50</p> <p>丸山 美穂子 臨床心理士 NPO法人 食育推進センター</p>	<p>骨盤底筋群を守るガスケアアプローチ 呼吸&動作のポイント</p> <p>10/11 火曜日 12:15 - 12:50</p> <p>山崎 聖文 理学療法士 NPO法人 食育推進センター</p>	<p>身体は食べたものでできている 健康・美容の最強の味方 タンパク質</p> <p>10/12 水曜日 12:15 - 12:50</p> <p>渡辺 佳江 栄養士 NPO法人 食育推進センター</p>
<p>キャリアビジョン入門 キャリアビジョンを考える 「なりたい自分になるために」</p> <p>10/13 木曜日 12:15 - 12:50</p> <p>渡辺 舞子 キャリアコンサルタント NPO法人 食育推進センター</p>	<p>女性のからだのお話 生理前・生理中の症状 注意したい病気とケア</p> <p>10/17 月曜日 12:15 - 12:50</p> <p>清口 明美 医師 NPO法人 食育推進センター</p>	<p>かいぼーのマインドフルネス生活 眠りについて</p> <p>10/18 火曜日 12:15 - 12:50</p> <p>日野 弘典 心理士 NPO法人 食育推進センター</p>	<p>子育てと仕事のハーモニーを築よう 育休復帰後のモチベーション</p> <p>10/20 木曜日 12:15 - 12:50</p> <p>岩橋 真由 キャリアコンサルタント NPO法人 食育推進センター</p>
<p>古賀文雄先生に聞く 保険適用が始まった 不妊治療の“いま”</p> <p>10/26 水曜日 12:15 - 12:50</p> <p>古賀 文雄 医師 NPO法人 食育推進センター</p>	<p>キャリアビジョン入門 自分の価値を高める Will・Can・Must</p> <p>10/27 木曜日 12:15 - 12:50</p> <p>渡辺 舞子 キャリアコンサルタント NPO法人 食育推進センター</p>	<p>妊娠期のパパとママへ 気持ちをひとつに 出産を迎えるためのお話</p> <p>10/28 金曜日 12:15 - 12:50</p> <p>丸山 美穂子 臨床心理士 NPO法人 食育推進センター</p>	<p>デザイン？素材？ロコモ？ 後悔しない 抱っこひも選びのポイント</p> <p>10/31 月曜日 12:15 - 12:50</p> <p>中川 由樹 デザイナー NPO法人 食育推進センター</p>
<p>聞くだけでもOK 心が整う呼吸と瞑想</p> <p>11/1 火曜日 12:15 - 12:50</p> <p>中川 由樹 デザイナー NPO法人 食育推進センター</p>	<p>多彩な ランチタイム配信 配信時間 12:15 ~ 12:50</p>		<p>更年期は万華鏡 そもそもの話を少しだけ</p> <p>11/2 水曜日 12:15 - 12:50</p> <p>岩橋 真由 キャリアコンサルタント NPO法人 食育推進センター</p>



ライフデ...

2022年10月法改正

扶養の壁が変わる？
扶養内で働くメリットとデメリット

#キャリア

#社会保険労務士

#扶養



ライフデ...

仕事と治療の両立支援

がんになっても仕事を続ける
ための支援制度

#社会保険労務士

#がん

#キャリア

#両立

仕事と暮らしの両立と関りが深い
社会保障制度についても動画を配信

分かったこと

1. ヘルスケアの専門家に
「仕事との両立支援制度」の情報提供は
ニーズが高いことが分かった
2. モニターAグループのうち、セミナーを視聴し
た人の9割以上がCHILEWLを継続して使いたいと回答
※視聴していない人は約半数が継続希望

課題

1. メールが届かないor迷惑メールに

2. STEP数が多すぎる?

① 申し込み

①と比較した割合

② アンケート (Google フォーム) → 71%





③ CHILWEL 登録 → 44%

3. 専門家との1on1の利用率が低い

忙しい、そこまで深刻ではない

今後の取り組み

月

	11	12	1	2	3
1. モニター向け 中間アンケートの実施					
2. CHILWEの利用 (グループB)					
3. モニター向け 事後アンケートの実施					
4. 分析・評価					
5. 企業等へのアプローチ					

お問い合わせ先



一般社団法人
ヘルスサポーターズイノベーション

Mail contact@healthsupporters-i.com

Tel 0952-60-2152 (寺野)



CHILWEL

いつでも専門家に聞ける安心を

18.

運動後の爽快感が味わえる「次世代EMS」を活用した、
働く女性のメンタルヘルス・パフォーマンス向上事業
(代表団体：株式会社ポーラ・オルビスホールディングス)

令和4年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」

2022/11/18 中間報告会

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス



運動後の爽快感が味わえる
「次世代EMS」を活用した、働く女性の
メンタルヘルス・パフォーマンス向上事業

C

mirco frco

発見の先にこそ、ワクワクする謎がある。

POLA ORBIS GROUP

「働く女性のメンタルヘルス」は危機的状況

精神疾患の増加

2002年～2017年で約1.6倍
(厚生労働省による調査)

PMSや更年期障害

女性特有のメンタル不調

コロナウイルスの影響

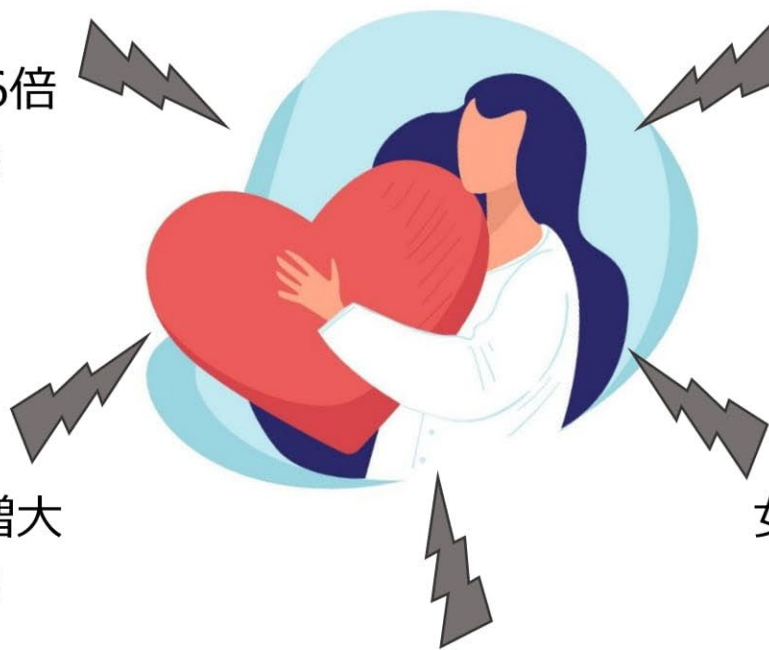
自粛生活で不安やストレス増大
(厚生労働省による調査)

女性の不安・うつ特性

女性の患者数は男性の約2倍

女性活躍推進に伴う負荷増

仕事の負荷や責任の増大
家事・育児・仕事のマルチタスク化





**PMS、更年期障害、ストレス、不安障害、うつ症状など
幅広いメンタルヘルス課題 に 高い改善効果**



脳作用物質の生成

脳のメンタルを司る部位に
作用する生体因子生成



ポジティブ記憶の上書き

脳血流の増加による
神経回路の新生



体から脳への

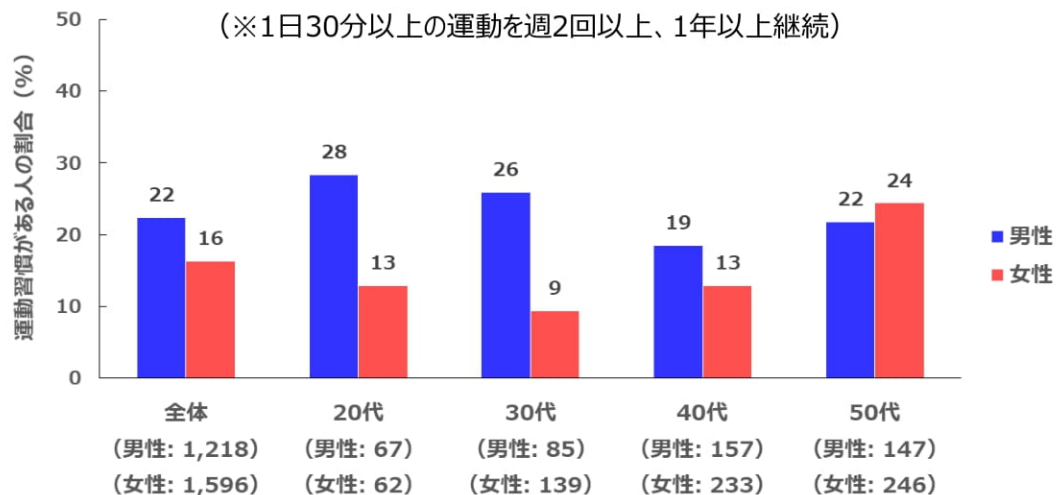
負のフィードバック遮断

筋肉の緊張緩和による体から
脳への負のフィードバック遮断

働き世代の女性が最も運動できていない

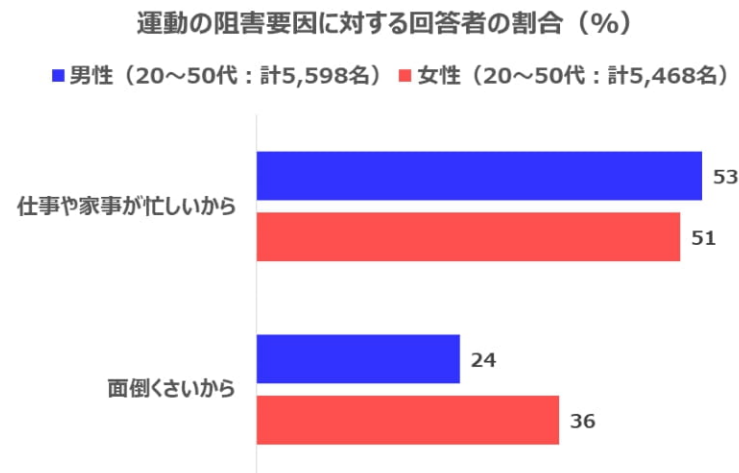


働き世代の運動習慣※



厚生労働省「令和元年 国民健康・栄養調査結果」より作成

働き世代の運動阻害要因TOP2



スポーツ庁「令和2年度 スポーツの実施状況等に関する世論調査」より作成

忙しく時間のない働く女性 でも

気軽に、効果的に、継続的に

運動のメンタルヘルス改善効果 が得られ

well-being を高めるソリューションの提供

「次世代EMS」

独自波形 × 低刺激電極

自宅 で、たった 15分

電気刺激特有の 不快な痛みもなく

まるで 十分に運動した後のような感覚

が味わえる次世代のEMS



株式会社おせっかい倶楽部 代表取締役
京都大学名誉教授 森谷敏夫
Ph.D., FACSM, FISEK

働く女性 に対する「次世代EMS」の

(1) 科学的効果検証 及び (2) 受容性検証


臨床試験


デプスインタビュー

長期介入試験

(ランダム化比較試験)

<評価項目>

PMS、更年期、ストレス関連のメンタル症状
及びパフォーマンス・well-being指標



実施中 入試験

(クロスオーバー比較試験)

<評価項目>

脳波計測・主観評価による各種感情
(爽快感、ストレス、集中、覚醒など)

長期介入試験の実施期間が若干後ろ倒しになった（赤矢印）が、全体に影響なし

実施事項		2022年						2023年		
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 長期介入試験	1.1 試験の詳細な実施内容の策定	→								
	1.2 試験計画書の作成		→							
	1.3 倫理委員会の開催・承認取得			→						
	1.4 被験者募集・スクリーニング				→					
	1.5 介入前測定・評価					→				
	1.6 長期介入試験実施						→			
	1.7 介入後測定・評価							→		
	1.8 データ解析							→		
2. デプスインタビュー	2.1 インタビュー実施						→			
	2.2 インタビュー結果まとめ・考察							→		
3. 単回介入試験	3.1 試験計画書の作成					→				
	3.2 倫理委員会の開催・承認取得						→			
	3.3 単回介入試験実施							→		
	3.1 データ解析								→	

今ココ



コンソーシアム

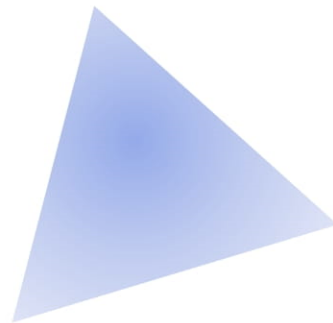


POLA ORBIS
HOLDINGS

- 全体統括・運営
- 臨床試験

おせっかい倶楽部[®]
人生100年時代の健康資産づくり

- 次世代EMS技術提供



POLA R&M
POLA CHEMICAL INDUSTRIES, INC.

- 臨床試験
- 測定機器提供

江川美保 産婦人科医師
(京都大学医学部 婦人科学産科学教室 女性健康医学研究室)

- 女性医療観点のアドバイザー

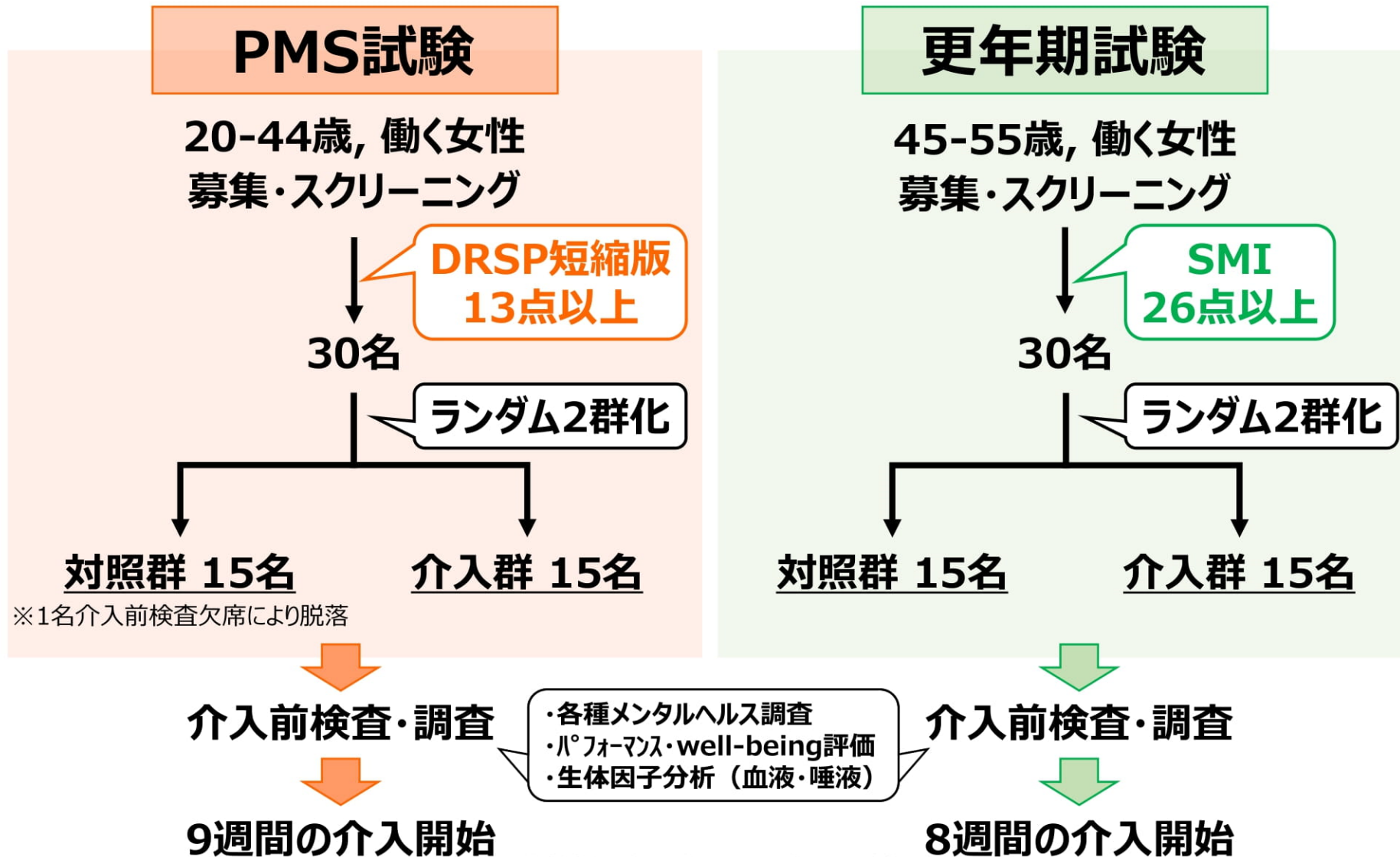
**上馬整形外科
クリニック**

- 医療サポート



新たにご参画いただきました

計59名の働く女性を対象に、長期介入試験スタート (10/22～)



PMS試験

	対照群 (n=14)	介入群 (n=15)	p-value
年齢	34.8	33.1	0.49
DRSP短縮版スコア	26.1	25.6	0.96
BMI	21.4	20.9	0.27
結婚有 (無)	7 (7)	7 (8)	0.86
出産有 (無)	4 (10)	3 (12)	0.59
正社員数 (率)	11 (79%)	11 (73%)	0.74
契約社員数 (率)	0 (0%)	2 (13%)	0.16
自営業数 (率)	1 (7%)	1 (7%)	0.96
パート数 (率)	2 (14%)	1 (7%)	0.50

更年期試験

	対照群 (n=15)	介入群 (n=15)	p-value
年齢	50.8	50.8	1.00
SMIスコア	42.9	45.7	0.67
BMI	22.8	21.8	0.31
結婚有 (無)	8 (7)	11 (4)	0.26
出産有 (無)	7 (8)	8 (7)	0.72
正社員数 (率)	7 (47%)	6 (40%)	0.71
契約社員数 (率)	2 (13%)	6 (40%)	0.10
自営業数 (率)	0 (0%)	0 (0%)	-
パート数 (率)	6 (40%)	3 (20%)	0.23

実施事項		2022年						2023年		
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 長期介入試験	1.1 試験の詳細な実施内容の策定	→								
	1.2 試験計画書の作成		→							
	1.3 倫理委員会の開催・承認取得			→						
	1.4 被験者募集・スクリーニング				→					
	1.5 介入前測定・評価					→				
	1.6 長期介入試験実施					→				
	1.7 介入後測定・評価							→		
	1.8 データ解析							→		
2. デプスインタビュー	2.1 インタビュー実施						→			
	2.2 インタビュー結果まとめ・考察							→		
3. 単回介入試験	3.1 試験計画書の作成					→				
	3.2 倫理委員会の開催・承認取得						→			
	3.3 単回介入試験実施							→		
	3.1 データ解析								→	

お問い合わせはこちら →



ありがとうございました。
ご興味ある人もない人も大歓迎です♪

C

mirC ? frC !

発見の先にこそ、ワクワクする謎がある。

POLA ORBIS GROUP

19.

女性活躍を推進するための生理用品設備設置と
コミュニケーションをデザインする教育事業
(代表団体：わたしの暮らし研究所株式会社)

女性活躍を推進するための生理用品設備設置と コミュニケーションをデザインする教育事業

2022. 11. 18



LAQDA
PROJECT

Powered by わたしの暮らし研究所株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-22-11 銀座大竹ビジデンス 2F

2F Ginza Otake Residence, 1-22-11 Ginza, Chuo-ku, Tokyo 104-0061

実施事項一覧



実施事項	サービス 購入者	ユーザ
1. ヘルスリテラシを上げ、当事者と 同僚、管理職のコミュニケーションを 活性化させる女性活躍推進セミナー	企業	・従業員（男女問わず） ・管理職 ・生理用品設備設置導入者
2. 生理用品をはじめとするトイレ の必要物品導入の設備設置コンサル ティング・調査・分析サービス	企業	・従業員（男女問わず） ・管理職 ・生理用品設備設置導入者
3. 生理用品導入企業 コミュニティ運営	企業	企業内生理用品設置担当者 (人事・総務および有志)
4. 青少年教育で活用できる教育ツ ール作成	教育機関	・小学生 ・中学生 ・高校生 ・大学生

実施内容と課題

▼企業内セミナーでの「コミュニケーションデザイン」の検証

生理用品の設置に男性の関与が必要なことは、過去の実証実験で検証済。男性社員と女性社員それぞれに、想定セミナー内容や実施内容について、クローズドな場での事前ヒアリングを行い、受容性を検証。

▼その結果、「課題」が浮き彫りに

想像以上に、一般社員においては、生理にまつわるコミュニケーションにハードルが高い。個人差はあるが、**女性からは生理に関する話を自分ごととして話づらく**、男性には**情報の「受け入れ」に課題がある**。また、現場が望んでも、ビル事業者・オーナーから生理用品の設置を断られるケースがある（トイレがビルの共有部であるため）。

▼セミナー・実証実験の「受け入れ」をコミュニティで考える

どう生理用品の設置を社会全体で考えていくかを最終ゴールとして、実証実験実施企業の担当者とともに、安心安全な場所を設け、対話を深めるコミュニティを作成。企業内への働きかけや社員ひとりひとりへの理解をどう楽しく無理なく行うか検討する。

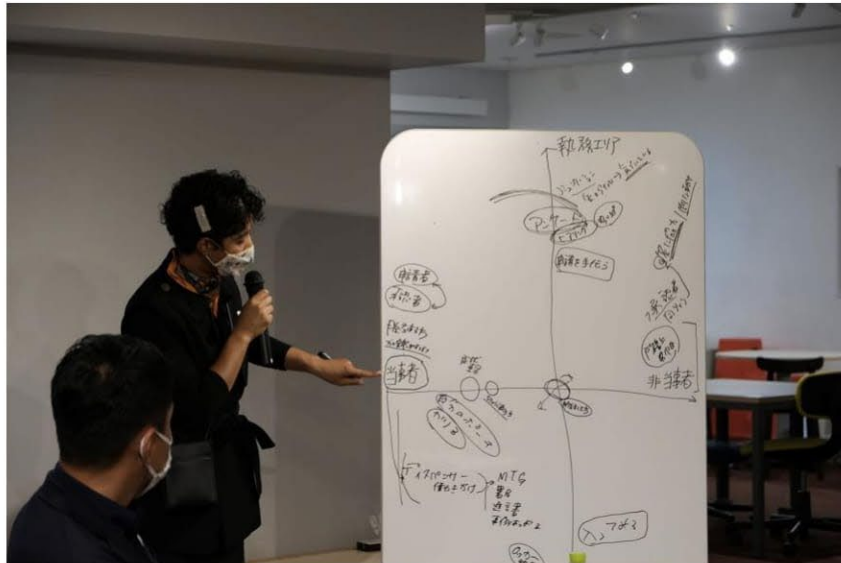
生理用品設置の承認ステップを乗り越えるコミュニティ

現在は、過去に実証実験を行なった企業を含め、18の企業・団体に横断したコミュニティを運営し、月1イベントでディスカッションを実施。レポートを追って公開していく。

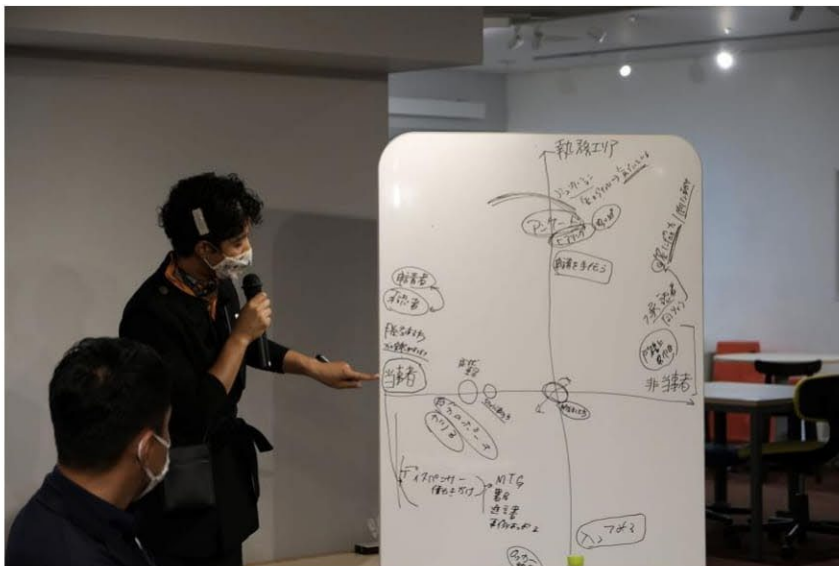
- 「誰かの”困った”にどう寄り添うか」 vol.1 -

なぜ働く環境は、生理を考えた
設計になっていないんだろう？

* 実施風景



* 実施風景 → 週明けにレポート公開予定です。



* 11/6 | サイエンスアゴラ オープンセミナー

2022年11月6日（日）は、サイエンスアゴラで登壇。生理用品をトイレに設置する実証実験を行なったコミュニティメンバーや協力企業である躯体製造メーカーと共に、生理用品設置への多様な関わり方をパネル対談交え、講演。



まぜて、こえて、
つくりだそう

サイエンスアゴラオンライン
10月20日(木)～22日(土)

サイエンスアゴラ実地開催
11月4日(金)～6日(日)

SCIENCE AGORA
2022

The graphic features a central illustration of a glowing, wireframe globe with several stylized human figures interacting with it. One figure is sitting on top, another is standing on a cloud-like base, and others are positioned around the globe. In the bottom right corner, there is a figure in a wheelchair and a robot. The background is a solid yellow color. The text is in white and black, providing event details and the Science Agora 2022 logo.

* 実施風景

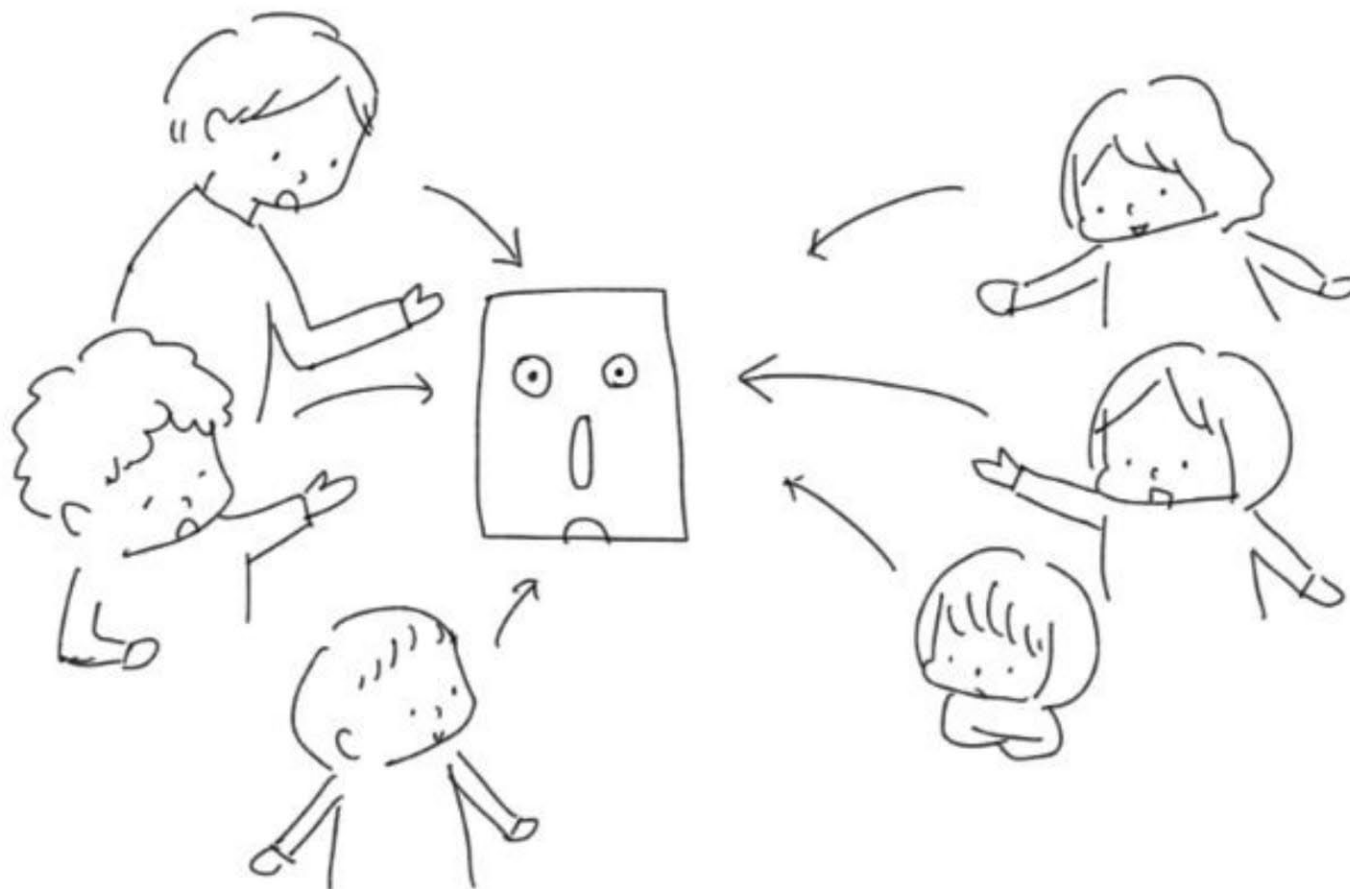


* 実施風景 → 今後、レポート公開予定です。



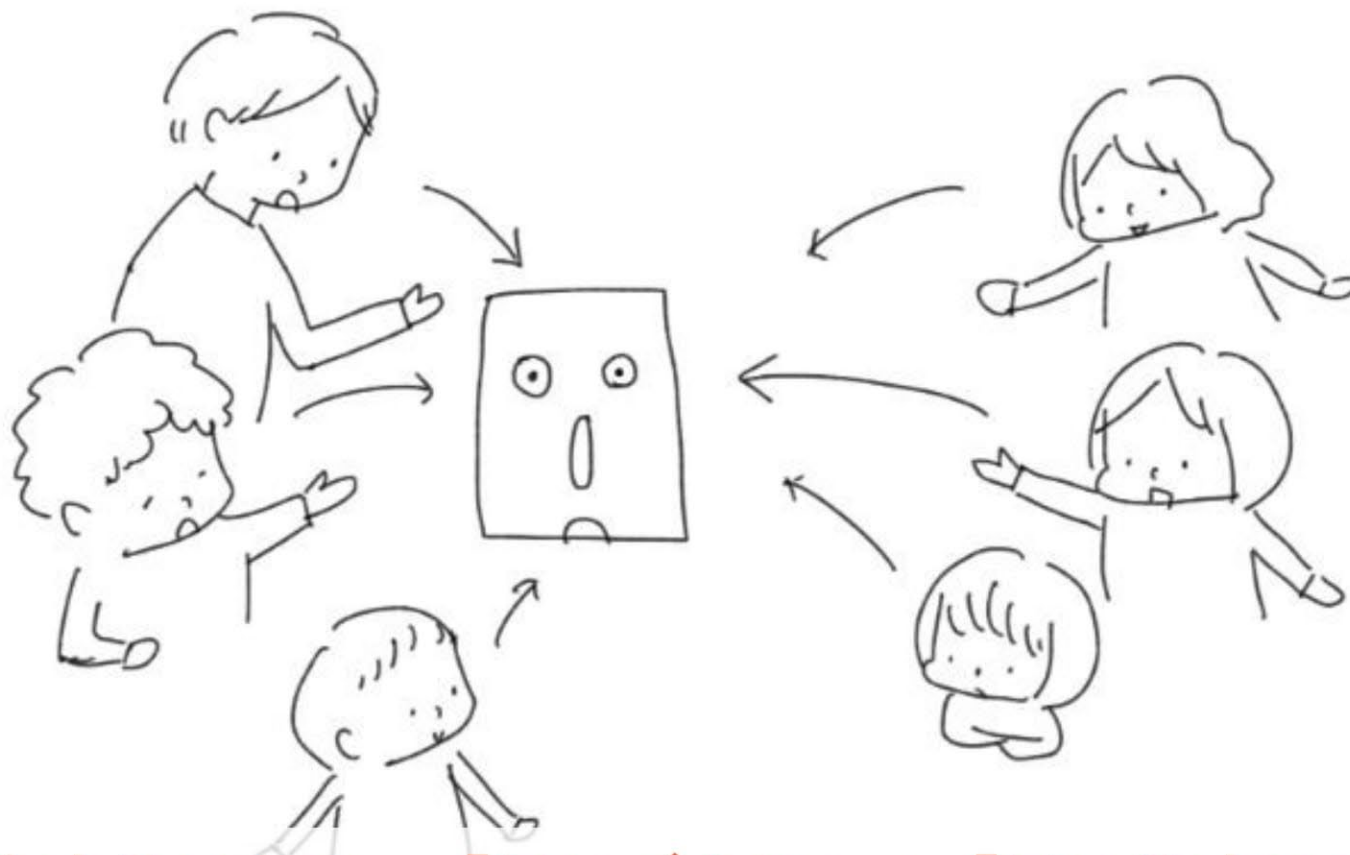
生理用品がトイレに必要な人がいる。どう合意形成をとるか

日本では、生理についての話題が長らくされてきていないため、生理にまつわる**情報やその受け入れ度に個人差が大きい**。女性からも男性からも語りにくい実情がある。



生理用品がトイレに必要な人がいる。どう合意形成をとるか

日本では、生理についての話題が長らくされてきていないため、生理にまつわる**情報やその受け入れ度に個人差が大きい**。女性からも男性からも語りにくい実情がある。



モノを介することで、「言いづらい」→「言いやすい」に

軽くて安価。使いやすいPOPなケースを大量に配布！

経済産業省の採択事業である「生理用品設置をきっかけにしたコミュニケーションデザイン事業」における実証実験・教育プログラムを共同で実施いただける企業を募集いたします。

わたしの暮らし研究所株式会社

🕒 2022年11月4日 16時51分



※リリースしたことで、更に実証実験先をお声かけ中

軽くて安価。使いやすいPOPなケースを大量に配布！

経済産業省の採択事業である「生理用品設置をきっかけにしたコミュニケーションデザイン事業」における実証実験・教育プログラムを共同で実施いただける企業を募集いたします。

わたしの暮らし研究所株式会社

🕒 2022年11月4日 16時51分



塩ビでできているので、水濡れOK
アルコール除菌もOK。折り畳み可能。
平置き・壁掛けできて、1枚ずつ取り出せます！

* トイレに設置、実証実験予定。



(撮影協力：株式会社スペースマーケット)

* 設置企業でメディアを呼んだ体感イベントも！



(撮影協力：株式会社スペースマーケット)

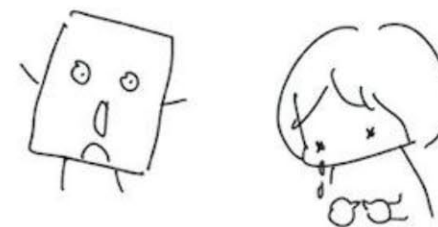
*コミュニケーションキットセットをより届け、機会提供

生理用品の設置をきっかけに、どう企業・学校・組織内で考えてもらうか――。
セミナーのほか、生理用品設置に興味を持った人の理解を醸成するために実証実験結果をまとめたセットとして配布し、ゆっくり読んでもらうことで個人の理解スピードに合わせたサポートも必要と思われる。



ケースイメージ

どうして
生理用品がトイレに
必要なんだろう？



わたしの暮らし研究所

資料イメージ

* 11/20 | TEDxKioichoで登壇



TED^xKioicho
x = independently organized TED event

沢田 直美

Naomi Sawada

社会起業家、発明家、
わたしの暮らし研究所株式会社 代表取締役
Social Entrepreneur, Inventor,
President of Research Institution of My Life

生理用品から見えてきた、
言いづらい悩みを
共に考える仕掛けづくり

ハッカソンでの優勝をきっかけに、先進技術活用による豊かな社会を目指す。しかしテクノロジーでは解決出来ない問題が往々にあることに気づく。例えば生理用品の収納管理箱。海外では100年前から無料でトイレに設置されているのに日本には今も殆どない。なぜ日本では出来ないのか、女性達は声を上げないのか。問題の本質は物ではなく、人と人のコミュニケーションのあり方だと気付く。どのようにこの問題を乗り越えようとしているのか、そのアイデアを語る。

Theme of 2022 Art

* 11/23 | 人工知能学会（第10回市民共創知研究会）で研究発表

第10回市民共創知研究会

人工知能学会 合同研究会2022に参加する形で、第10回研究会を2022年11月23日(水・祝)に慶應義塾大学矢上キャンパスにてハイブリッド開催致します。市民の共創・協働により創発される集合知や、そのような共創的プロセスの支援技術、AIやデータ活用による社会課題解決（シビックテック）、研究者・技術者と市民の協働（シチズンサイエンス）、地方創生、合意形成、社会シミュレーション、その他共創的な活動報告等の発表を募集します。

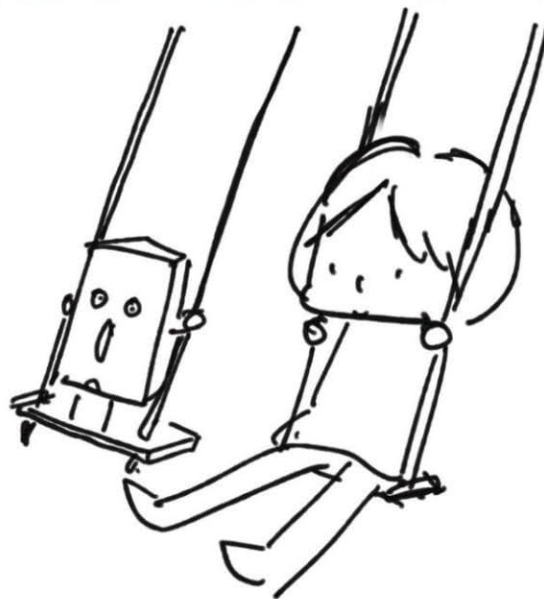
11:10-11:35 企業を巻き込み、IoTケースで生理用品設置を実施した結果 ～“みんな”の力の借り方の検討～

○沢田直美, 佐々木成代 (わたしの暮らし研究所株式会社)

- 11:10-11:22 発表
- 11:22-11:34 対話

2021-2022年に実施したスマホ制御のIoTケースでの生理用品設置を利用した実証実験での研究について発表。会場の方々と対話予定。

みんなで「新しい当たり前」をつくっていきましょう！
ご静聴ありがとうございました。



わたしの暮らし研究所

info@wk-k.com

本事業に関して、お問い合わせ等ございましたら、下記までご連絡ください。

<お問い合わせ先>

PwCコンサルティング合同会社 公共事業部
フェムテック等サポートサービス実証事業事務局

・ jp_cons_femtech@pwc.com

(受付時間 9 : 1 5 ~ 1 7 : 1 5 / 月 ~ 金 (祝日除く))

▼ 経済産業省HP



▼ 本事業のHP



▼ 本事業SNS



中間報告会の記録動画は
こちらからご視聴いただけます

こちらからアクセス下さい



<https://youtu.be/7VGUemLCVLk>

© 2022 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.